

法 学 部

履 修 要 項

昭 和 61 年 度

駒 澤 大 學

学 年 曆

前 期

- 4月8日(火) 入学式(学部・短大)
- 7日(月) } 新入生オリエンテーション
- 11日(金) }
- 9日(水) } 在校生成績発表(学部・短大)
- 10日(木) }
- 9日(水) } 在校生身分登録(学部・短大)
- 19日(土) }
- 10日(木) } 体育実技Ⅱ種目選択届受付
(学部2年次生)
- 11日(金) }
- 12日(土) 前期授業開始
- 12日(土) } 成績質疑応答
- 19日(土) }
- 21日(月) } 履修届受付(学部・短大)
(学部により受付日が異なる)
- 24日(木) }
- 5月13日(火) } 春季健康診断
(2・3・4年次生対象)
- 22日(木) }
- 26日(月) } 卒業論文論題受付
(締切日は正午まで)
- 6月10日(火) }
- 7月5日(土) } 外国語指定届受付(仏教・文(除英
米文)・法学部・短大国文・英文の
1年次生及び経済学部の2年次生)
- 11日(金) }
- 7月10日(木) } 中間試験(授業平常通り)
- 16日(水) }
- 16日(水) 前期授業最終日
- 17日(木) } 前期定期試験(前期終了科目)
(授業休講)
- 18日(金) }
- 19日(土) 夏季休暇第1日
- 19日(土) } 体育実技Ⅱ集中授業・シーズンコース
(テニスA)
- 23日(水) } (学部2年次生)
- 24日(木) } 体育実技Ⅱシーズンコース
(テニスB)
- 28日(月) } (学部2年次生)

後 期

- 9月8日(月) } 補講期間
- 13日(土) }
- 12日(金) 前期定期試験欠試届(追試申込)
受付締切

- 16日(火) 後期授業開始
- 17日(水) } 前期定期試験成績発表及び
再試験申込受付
- 18日(木) }
- 25日(木) } 前期追・再試験(授業平常通り)
- 30日(火) }
- 10月1日(水) } 秋季健康診断(1年次生対象)
- 3日(金) }
- 3日(金) } 専攻コース指定届受付
(歴史・社会学科1年次生)
- 4日(土) }
- 13日(月) } 前期追・再試験成績発表
- 14日(火) }
- 15日(水) 第104回開校記念日(全学休業)
- 11月12日(水) } 転部科試験願書受付
- 14日(金) }
- 28日(金) 転部科試験
- 12月4日(木) } 編入学試験願書受付
- 12日(金) }
- 10日(水) 卒業論文受付締切(正午)
- 19日(金) 冬季休暇第1日
- 19日(金) } 体育実技Ⅱ集中授業コース
(学部2年次生)
- 23日(火) }
- 22日(月) 編入学試験

昭和62年

- 1月8日(木) 後期授業再開
- 14日(水) 後期授業最終日
- 16日(金) } 定期試験(専門・基礎・教職科目)
- 27日(火) }
- 28日(水) } 定期試験(一般・外国語・保健体育
科目)
- 2月5日(木) }
- 6日(金) 卒業論文口頭試問
- 7日(土) 定期試験欠試届(追試申込)受付締切
- 16日(月) } 体育実技Ⅱシーズンコース
(スキーA・B)(学部2年次生)
- 20日(金) }
- 19日(木) } 成績発表及び追・再試験申込受付
(学部4年次生・短大生)
- 20日(金) }
- 25日(水) } 追・再試験(学部4年次生・短大生)
追試験(学部1・2・3年次生)
- 3月3日(火) }
- 19日(木) 卒業者名簿発表
- 25日(水) 卒業式(学部・短大)

目 次

I	単位制と学年制	(2)
1.	単位制と学年制	(2)
2.	授業科目の単位計算	(2)
3.	授業科目の区分	(2)
II	卒業に必要な単位数と学士号	(3)
1.	卒業に必要な単位数	(3)
2.	学 士 号	(4)
III	授業科目の履修方法	(4)
1.	一般教育科目の履修方法	(4)
2.	外国語科目の履修方法	(6)
3.	保健体育科目の履修方法	(8)
4.	基礎教育科目の履修方法	(9)
5.	専門教育科目の履修方法	(9)
6.	随意科目の履修方法	(13)
7.	再履修科目の履修方法	(14)
	※コード番号について	(15)
IV	履修科目の登録（履修届）とその作成順序	(17)
1.	履修科目の登録	(17)
2.	履修届記入上の注意	(18)
3.	履修届の作成順序	(19)
V	試験および成績評価	(20)
1.	定期試験	(20)
2.	中間試験	(20)
3.	追・再試験	(20)
4.	受験心得	(21)
5.	成績評価・単位認定	(21)
6.	試験時間	(21)
VI	進級について	(22)
VII	クラス制およびクラス主任	(23)
VIII	教職課程・資格講座	(23)
IX	事務取扱いについて	(24)
X	届書・願書について	(25)
XI	各種証明書取扱い窓口	(26)
	試験実施規程（抜萃）・進級規程・進級基準	(27)
	講義内容	(31)
	付 録	
	研究所案内	(66)
	国家試験について	(67)

I 単位制と学年制

1. 単位制と学年制

授業科目の履修は「大学設置基準」に基づく単位制によって行う。単位制とは、各入学年度によって定められた一定の基準にしたがって授業科目を履修し、試験に合格することによってその授業科目に与えられている単位を修得していく制度である。卒業所要単位を修得するまでの在学期間は4カ年以上（7カ年をこえてはならない）である。

また、単位の修得を体系的かつ合理的に進めるために、各年次において必修すべき科目と選択すべき科目が配当されている。

2. 授業科目の単位計算

授業科目の単位数は次のような基準によって定められている。

1 単位とは1科目につき45時間を通じて行う学修活動のことである。この45時間の学修活動は教室内における授業時間と教室外で学生各自が自主的に行う自習時間からなっていて、授業時間と自習時間の割合は、授業科目によって異なっている。

3. 授業科目の区分

授業科目は次のように区分される。

1. 一般教育科目（人文分野・社会分野・自然分野）
2. 外国語科目（第1外国語・第2外国語）
3. 保健体育科目（講義・実技）
4. 基礎教育科目（必修科目）
5. 専門教育科目（必修科目・選択科目）
6. 随意科目（卒業に必要な単位に含まれない科目）

(a) 必修科目……必ず履修しなければならない科目

(b) 選択必修科目……数科目の中から所定の科目数または単位数を選び、必ず履修しなければならない科目

(c) 選択科目……自由に選び履修できる科目

Ⅱ 卒業に必要な単位数と学士号

1. 卒業に必要な単位数

A. 60年度以降入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計	
一般教育科目	人文分野	4	16	36	} 142以上	
	社会分野	3	12			
	自然分野	2	8			
外国語科目	第1外国語	4	8	12		
	第2外国語	2	4			
保健体育科目	講義	1	2	4		
	実技	2	2			
基礎教育科目		1	4	4		
専門教育科目	法律学科	必修	12	48		86
		選択		38		
	政治学科	必修	12	48	86	
		選択		38		

B. 59年度以前入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計	
一般教育科目	人文分野	4	16	36	} 142以上	
	社会分野	3	12			
	自然分野	2	8			
外国語科目	第1外国語	4	8	12		
	第2外国語	2	4			
保健体育科目	講義	1	2	4		
	実技	1	2			
基礎教育科目		1	4	4		
専門教育科目	法律学科	必修	12	48		86
		選択		38		
	政治学科	必修	12	48	86	
		選択		38		

2. 学 士 号

大学に4カ年以上（7カ年をこえてはならない）在学し、卒業に必要な単位を修得した者には卒業証書を授与し、次の学士の称号が与えられる。

法学部 { 法律学科……………法 学 士
 { 政治学科……………政治学士

Ⅲ 授業科目の履修方法

※北海道教養部では授業科目等に多少の変更を生じる場合がある。

授業科目履修上の注意

- イ. 授業科目は、教授会の定めるところに従い各学年に配分する。ただし、随意科目はこの限りではない。
- ロ. 授業時間表の備考欄に番号が指定された科目は、本人の学生番号のクラスで履修すること。（再履修または指定された学年で履修できなかった場合はこのかぎりではない）
- ハ. 各学年に配分された授業科目は、当該学年に限り履修することができる。ただし、下級学年に配分された授業科目を上級学年において履修することはさしつかえない。
- ニ. 各学年の履修科目数の最低及び最高限度は、教授会の定めるところによる。
- ホ. 一度単位の認定を受けた授業科目は、再度履修することはできない。

1. 一般教育科目の履修方法

- イ. 一般教育科目は1年次および2年次の2年間に人文分野・社会分野・自然分野の各分野から定められた科目数・単位数を履修しなければならない。
- ロ. 「宗教学Ⅰ」を1年次「宗教学Ⅱ」を2年次で必修とする。
- ハ. 2年次までに所定の科目数・単位数を修得しなければならない。

法 律 学 科

人文分野	4 単位ずつ 4 科目	計 16 単位	} 合計 9 科目 36 単位
社会分野	4 単位ずつ 3 科目	計 12 単位	
自然分野	4 単位ずつ 2 科目	計 8 単位	

分野	授業科目	単位	履修科目数	修得単位	計	備考
人文分野	宗教学Ⅰ（1年次必修）	4	「宗教学Ⅰ・宗教学Ⅱ」の2科目を含めて4科目選択必修	16	36	
	宗教学Ⅱ（2年次必修）	4				
	哲学	4				
	論理学	4				
	倫理学	4				
文化人類学	4					
社会分野	政治学	4	3科目選択必修	12		
	経済学	4				
	社会学	4				
	文化人類学	4				
自然分野	自然科学概論	4	2科目選択必修	8		
	地理学	4				
	心理学	4				

※「宗教学Ⅰ」の授業は水曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の学生手帳を参照）で行う。

政治学科

人文分野	4単位ずつ4科目	計 16単位	合計9科目 36単位
社会分野	4単位ずつ3科目	計 12単位	
自然分野	4単位ずつ2科目	計 8単位	

分野	授業科目	単位	履修科目数	修得単位	計	備考
人文分野	宗教学Ⅰ（1年次必修）	4	「宗教学Ⅰ・宗教学Ⅱ」の2科目を含めて4科目選択必修	16	36	
	宗教学Ⅱ（2年次必修）	4				
	哲学	4				
	論理学	4				
	倫理学	4				
文化人類学	4					
社会分野	法学	4	3科目選択必修	12		
	経済学	4				
	社会学	4				
	文化人類学	4				
自然分野	自然科学概論	4	2科目選択必修	8		
	地理学	4				
	心理学	4				

※「宗教学Ⅰ」の授業は水曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の学生手帳を参照）で行う。

2. 外国語科目の履修方法

外国語科目は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語の6カ国語が開講されている。これらのうち英語と、入学手続の際に指定した外国語の2カ国語を履修することになり、その2カ国語を1年次および2年次において必要な科目数・単位数を必ず履修しなければならない。

履修年次	第1外国語		第2外国語		計	
	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数
1年次	2	4	2	4	4	8
2年次	2	4	—	—	2	4
計	4	8	2	4	6	12

1年次の履修

6カ国語のうち英語1G・1Rの2科目と、入学手続の際に指定した外国語1G・1Rの2科目の計4科目8単位を必修とする。

授業科目	単位	科目内容	履修科目数	備考
英語 1G	2		1G・1R 2科目を必修とする。ただし1Gは英会話Iまたは英語LLIに代替できる。	LLI (ランゲージ・ラボラトリー)
英語 1R	2			
英会話 I	2			
英語 LLI	2	視聴覚教材を使用した語学教育		
ドイツ語 1G	2	文 法	5カ国語のうちから入学手続の際指定した1カ国語1G・1Rの2科目を必修とすること。	
ドイツ語 1R	2	講 読		
フランス語 1G	2	文 法		
フランス語 1R	2	講 読		
中国語 1G	2	文 法		
中国語 1R	2	講 読		
スペイン語 1G	2	文 法		
スペイン語 1R	2	講 読		
ロシア語 1G	2	文 法		
ロシア語 1R	2	講 読		

※英語科目内容

英語 1G：意志表現と意志伝達の基礎を把握する。

英語 1R：講読を通し内容と文構造の基本を把握する。

※「英語 1R」の授業は水曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の学生手帳を参照）で行う。

2年次の履修

1年次で履修の2カ国語のうち、いずれかを第1外国語とし2AⅠ・2AⅡの2科目4単位を必修とすること。

授業科目	単位	科目内容	授業科目	単位	科目内容
英語 2AⅠ	2		中国語 2AⅠ	2	講 読
英語 2AⅡ	2		中国語 2AⅡ	2	講 読
ドイツ語 2AⅠ	2	講 読	スペイン語 2AⅠ	2	講 読
ドイツ語 2AⅡ	2	講 読	スペイン語 2AⅡ	2	講 読
フランス語 2AⅠ	2	講 読	ロシア語 2AⅠ	2	講 読
フランス語 2AⅡ	2	講 読	ロシア語 2AⅡ	2	講 読

※英語科目内容

英語2AⅠ：講読を通し、はば広い教養を修得する。

英語2AⅡ：意志表現と意志伝達的能力を発展させ、応用力を修得する。

外国語科目履修上の注意

- イ. 外国語科目の組分は、すべて授業時間表で指定するので、学生は自己の学科・学生番号（下4ケタ）により該当するクラスを履修すること。
- ロ. 1年次履修の外国語（英語と他の1カ国語）の中から第1外国語、第2外国語の別を学生自身が指定し、7月初旬に登録する。したがって1年次生は前期の授業で十分考慮の上登録すること。
- ハ. なお一層の語学教育を望む学生は、外国語随意科目を開講しているので進んで履修されたい。
- ニ. 不合格科目の再履修については別に定める。
- ホ. 2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

3. 保健体育科目の履修方法

カリキュラム改訂に伴い、昭和60年度以降入学生より新カリキュラムを適用する。なお、昭和59年度以前入学生は、旧カリキュラムが適用される。

A. 60年度以降入学生適用

講義と実技に分かれる。講義は1年次に1科目2単位、実技は1年次1科目1単位〈体育実技Ⅰ〉、2年次1科目1単位〈体育実技Ⅱ〉の3科目4単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	1年次前期または後期
実 技	体育実技Ⅰ	1	1年次通年
	体育実技Ⅱ	1	2年次前期または後期

イ. 講義・体育実技Ⅰは玉川校舎で授業を行う。

ロ. 講義・体育実技Ⅰが1年次不合格となった者は2年次において「再履修クラス」を履修し単位を修得する。

※体育実技Ⅰについての種目の説明等で、1年次生は最初の授業・「再履修クラス」を履修する場合は、教務部にてそれぞれ配布される「体育実技受講要領」を参照すること。

ハ. 体育実技Ⅱは次の授業形態のいずれかを履修し、単位を修得しなければならない。

A. 本校での前期または後期の体育実技Ⅱの授業

B. 前期（夏季休暇中）または後期（冬季休暇中）に実施される有料のシーズン・コースの授業

C. 前期（夏季休暇中）または後期（冬季休暇中）に実施される玉川校舎での集中授業

ニ. 体育実技Ⅱが2年次不合格となった者は3年次において体育実技Ⅱを再び履修し、単位を修得する。

※体育実技Ⅱについての種目の説明、シーズン・コース及び集中授業等の申込み方法については、教務部より配布される「体育実技受講要領」を参照すること。

ホ. 講義・実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

B. 59年度以前入学生適用

講義と実技に分かれ、1年次に2科目4単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	前期または後期
実 技	体 育 実 技	2	通 年

イ. 講義・実技とも1年次で不合格となった者は「再履修クラス」を履修し単位を修得する。

ロ. 講義・実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

ハ. 講義・実技とも1年次生は玉川校舎で授業を行う。

※実技についての種目の説明等で、1年次生は最初の授業・「再履修クラス」を履修する場合は教務部にて、それぞれ配布される「体育実技受講要領」を参照すること。

4. 基礎教育科目の履修方法

専門教育の基礎となる授業科目で1年次において1科目4単位を必修とする。

法 律 学 科

履 修 年 次	授 業 科 目	単 位	備 考
1 年 次	法 学 概 論	4	

政 治 学 科

履 修 年 次	授 業 科 目	単 位	備 考
1 年 次	基 礎 政 治 学	4	

5. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は必修科目と選択科目とに分かれ、それぞれ定められた単位を修得することになっている。履修する授業科目の選択については専門科目全般にわたって十分検討して履修すること。なお一度単位を修得した授業科目については再度履修することはできない。

法 律 学 科

必 修 科 目

A. 58年度以降入学生適用 (48単位)

1 年 次 必 修			3 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
憲 法	4		刑 法 II	4	各論
民 法 I	4	総則	商 法 II	4	商行為・手形・ 小切手法
2 年 次 必 修			民 事 訴 訟 法 I	4	判 決 手 続
行 政 法 I	4	総論	4 年 次 必 修		
刑 法 I	4	総論	刑 事 訴 訟 法	4	
民 法 II (1)	4	物権法			
民 法 III (1)	4	債権総論			
商 法 I	4	総則・会社法			
国 際 法 I	4				

B. 57年度以前入学生適用 (48単位)

1 年 次 必 修			3 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
憲 法	4		刑 法 II	4	各論
民 法 I	4	総則	民 法 III (1)	4	債権総論 (旧・民法III)
2 年 次 必 修			商 法 II	4	商行為・手形・ 小切手法
行 政 法 I	4	総論	民 事 訴 訟 法 I	4	判 決 手 続
刑 法 I	4	総論	4 年 次 必 修		
民 法 II (1)	4	物権法 (旧・民法II)	刑 事 訴 訟 法	4	
商 法 I	4	総則・会社法			
国 際 法 I	4				

法 律 学 科 選 択 科 目 (38単位以上)

1 年 次 選 択			3 年 次 選 択			
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考	
民 法 IV (1)	4	親族	労 働 法	4		
2 年 次 選 択			税 法	4		
政 治 学 原 論	4		公 害 法	4		
マス・コミュニケーション論	4		社 会 保 障 法	4		
政 治 史	4		外 交 史	4		
法 思 想 史	4		国 際 法 II	4		
経 済 原 論	4		国 際 私 法	4		
裁 判 法	4		時 事 英 語	4		
外 国 法	英 米 法	4	演 習	4		
	独 法	4	外 書 講 読	英 書	4	
	仏 法	4		独 書	4	
	社会主義法	4		仏 書	4	
3 年 次 選 択				中 国 書	4	
法 社 会 学	4		ス페인書	4		
行 政 学	4		4 年 次 選 択			
財 政 学	4		法 哲 学	4		
日 本 法 制 史	4		民 法 IV (2)	4	相続	
西 洋 法 制 史	4		倒 産 法	4	※ハ旧・破産法	
国 際 関 係 論	4		商 法 III	4	保険・海商	
経 済 政 策	4		工 業 所 有 権 法	4		
社 会 政 策	4	休 講	民 事 訴 訟 法 II	4	上訴以後強制執行	
刑 事 政 策	4		政 治 思 想 史	4		
比 較 憲 法	4		演 習	4		
行 政 法 II	4	各 論	外 書 講 読	英 書	4	
民 法 II (2)	4	※イ 担保物権		独 書	4	
民 法 III (2)	4	※ロ 債権各論		仏 書	4	
地 方 自 治 法	4			中 国 書	4	
経 済 法	4			ス페인書	4	

※イ 58年度以降入学生適用 } 57年度以前入学生は履修できない。
 ※ロ 58年度以降入学生適用

※ハ 「倒産法」は従前の「破産法」を名称変更したものである。既に「破産法」の単位を修得した学生は履修できない。

政治学科

必修科目 (48単位)

1 年次必修			3 年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
憲法	4		政治社会学	4	
			行政学	4	
2 年次必修			国際政治学	4	
政治学原論	4		外交史	4	
日本政治史	4		政治制度	4	
経済原論	4		4 年次必修		
行政法	4	総論	政治思想史	4	
国際法	4				

政治学科 選択科目 (38単位以上)

1 年次選択			2 年次選択			
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考	
海外政治事情	東アジア圏	4	休講 履修希望者は7地域圏より1科目選択履修すること (2科目履修は不可)	外国法(英米法)	4	
	西欧圏	4		プロゼミ	2	
	東欧圏	4		3 年次選択		
	北米圏	4		演習	4	
	中近東 アフリカ圏	4		外 書 講 読 I	英書	4
	東南アジア圏	4			独書	4
	中南米圏	4			仏書	4
		中国書	4			
2 年次選択						
社会学原理	4					
マス・コミュニケーション論	4	旧新聞学				
比較社会構造論	4					
刑法	4					
民法	4					

4 年 次 選 択			3・4 年 次 選 択		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
演 習	4		比 較 憲 法	4	
外 書 講 読 II	英 書	4	行 政 法	4	各 論
	独 書	4	経 済 法	4	
	仏 書	4	商 法	4	
	中 国 書	4	労 働 法	4	
	ス ペ イ ン 書	4	比 較 政 治 学	4	
3・4 年 次 選 択			財 政 史	4	
政 治 心 理 学	4		東 洋 政 治 史	4	
財 政 学	4		国 際 関 係 論	4	
国 際 経 済 学	4		国 家 安 全 保 障 論	4	
日 本 法 制 史	4		宣 伝 広 告 論	4	
西 洋 法 制 史	4		政 党 論	4	休 講
西 洋 政 治 史	4		議 会 関 係 法	4	休 講
福 祉 国 家 論	4		地 方 自 治 法	4	
経 済 政 策	4		国 際 取 引 法	4	休 講
社 会 政 策	4	休 講	出 入 国 管 理 論	4	
刑 事 政 策	4		時 事 英 語	4	

6. 随意科目の履修方法

随意科目は各学科とも2・3・4年次で履修することができるが、卒業に必要な単位に含めることができない。なお、日本語Fは外国人留学生のみを対象とする科目で1年次生より履修できる。

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
比 較 思 想 特 講	4		日 本 語 F	2	(初級・中級)
ド イ ツ 語 F	2		ド イ ツ 語 F L L	2	(初級・中級)
フ ラ ン ス 語 F	2		フ ラ ン ス 語 F L L	2	(初級・中級)
中 国 語 F	2		中 国 語 F L L	2	(初級・中級)
ス ペ イ ン 語 F	2		ス ペ イ ン 語 F L L	2	(初級・中級)
ロ シ ア 語 F	2		ロ シ ア 語 F L L	2	(初級・中級)

7. 再履修科目の履修方法

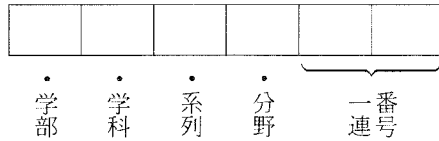
- イ. 再履修とは、前年度履修登録し単位を修得できなかった授業科目（受験しなかった科目を含む）を翌年度に再度履修することをいう。この場合授業科目名が同じであれば担任教員に変更があっても同一科目の再履修となる。
- ロ. 翌年度に再履修しないで翌々年度以降に履修する場合は新履修とみなして制限科目数内で履修しなければならない。（休学の場合も同様）
- ハ. 再履修の授業科目は新履修の授業科目と同時に届出なければならない。
- ニ. 外国語・体育実技Ⅰ（59年度以前入学生は体育実技）・保健体育理論および宗教学Ⅰを再履修する場合は、それぞれの「再履修クラス」（本校で授業を行う）で履修すること。ただし、原級者で同級学年の科目を再履修する場合は正規クラスで履修すること。
- ホ. 1年次生は再履修クラスを履修することはできない。

※コード番号について

1. 授業科目コードの設定方法

科目コードは、6桁の数字とし、その各位の数字には次の意味を持たせている。

(a) 科目コードの区分



(b) 学部、学科番号は「学生番号について」で説明する。

(c) 系列、分野区分については次表のとおりである。

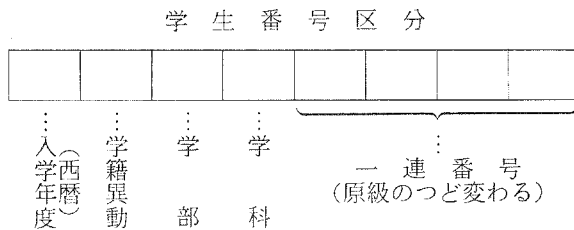
授業科目の区分	系列番号	分野番号
一般教育科目	0	
人文分野		1 (必修)・2 (選択)
社会分野		3
自然分野		4
基礎教育科目	1	4
外国語科目	2	
第1外国語		
第2外国語		
保健体育科目	4	
実 技		1
講 義		2
専門教育科目	5	
必修科目		1・2・3
選択科目		5・6・7・8
随意科目	7	
再履修科目	8	
課程・講座科目	9	
必修科目		1
選択科目		2
教科科目		3・4・5・6・7・8

2. 学生番号について

学生番号は8桁の数字からなっていて、その各位の数字に次の意味を持たせている。

この学生番号は入学から卒業まで学籍異動（原級・転部科など）がない限り変わらない。学内での事務処理はほとんど学生番号で処理されるので、正確に覚えておくこと。

学生番号のみかた



学籍異動の番号

- 0…異動なし
 - 1…原 級
 - 2…転部 (科)
 - 3…編 入
 - 4…原級して転部 (科)
- 転部 (科) ・編入をして原級

学部・学科の番号

学部・学科名	学部番号	学科番号	学部・学科名	学部番号	学科番号
仏 教 学 部	1		法 学 部	4	
禅 学 科		1	法 律 学 科		1
仏 教 学 科		2	政 治 学 科		2
文 学 部	2		経 営 学 部	5	
国 文 学 科		1	経 営 学 科		1
英 米 文 学 科		2	短 期 大 学	8	
地 理 学 科		3	国 文 科		1
歴 史 学 科		4	英 文 科		2
社 会 学 科		5	放 射 線 科		3
経 済 学 部	3				
経 済 学 科		1			
商 学 科		2			

(例)

6 …… 1986年度入学
 0 …… 学籍異動なし
 4 …… 法 学 部
 1 …… 法 律 学 科
 0 0 1 2 …… 12番
 (1986年度入学・法学部法律学科12番)

IV 履修科目の登録（履修届）とその作成順序

1. 履修科目の登録

毎学年所属する学科，学年に開講されている授業科目の中から履修を希望する科目を授業時間表より選び所定の「単位履修届」用紙に必要事項を記入し届出ることにより，通年（または半期）授業を受けることができる。

I) 各年次において履修できる最高授業科目数（制限科目数）は次表のとおりとする。

年次	新履修科目数	課程・講座登録者科目数
1年次	15	—
2年次	14以内	17以内
3年次	14以内	17以内
4年次	1科目以上	

イ. 2年次生以上の再履修科目及び体育実技Ⅱ・随意科目は上記表の制限外とする。

ロ. 外国人留学生を対象とする随意科目「日本語F」は，1年次生より履修することができ，上記表の制限外とする。

ハ. 4年次生は最低1科目以上とし，最高制限を設けないが，卒業単位及び授業出席に十分ゆとりのある履修をすること。

ニ. 半期科目も1科目とする。

II) 登録上の注意

イ. 履修届は指定された日時に必ず本人が記入捺印し，学生証提示の上提出すること。（提出しない場合は学業の意志のないものとして処理する。なお指定日時に提出できないものは事前に教務部窓口にご相談すること）

ロ. 履修届の日時，場所等についての詳細は原則として新年度成績発表前に教務部掲示板に発表する。

ハ. 所属する学科以外の授業科目は登録できない。ただし課程・講座等資格取得のために必要な科目は課程・講座科目として登録できるが，その場合は教職窓口で受講承認印を受けてから提出すること。

ニ. 履修登録をしない授業科目はたとえ聴講，受験しても単位は与えない。

ホ. 授業科目の追加登録は一切認めない。

ヘ. 「単位履修届」用紙の注意事項をよく読んで間違いのないように登録すること。

2. 履修届記入上の注意

授業時間表(例)

月 曜 日				
	科目名	科目コード	担任	担任コード
一 時 限	ドイツ語1G	412201	百 済	879
	~~~~~			
二 時 限	保健体育理論(前)	414201	長 浜	993
	保健体育理論(後)	414201		622
~~~~~				
三 時 限	宗 教 学 I	410101	平井(俊)	735
~~~~~				
四 時 限	論 理 学	410203	国 嶋	306
	~~~~~			
五 時 限	自然科学概論	410401	宇和川	104
	~~~~~			

正しい記入例

曜日	時 限	再 履	科 目 名	科目コード	担 任	担任 コード
(1)	1		ドイツ語1G	4:1:2:2:0:1	百 済	8:7:9
	2		保健体育理論(前)	4:1:4:2:0:1	長 浜	9:9:3
	3		宗 教 学 I	4:1:0:1:0:1	平井(俊)	7:3:5
	4	○	論 理 学	4:1:0:2:0:3	国 嶋	3:0:6
	5		自然科学概論	4:1:0:4:0:1	宇和川	1:0:4

1. 楷書体で正確に記入すること。
2. 記入の際は、必ず黒または青インクを使用し、捺印の上提出すること。
3. 授業時間表のとおり記入すること。
4. 半期終了の科目は欄の中央に点線を入れ、上に前期終了科目・下に後期終了科目を記入すること。
5. 再履修科目がある場合は、再履欄に○印をつけること。
6. 履修届はコンピューターで処理しているため、下記の場合、登録が無効となるので注意すること。
  - イ. 科目名・科目コード、担任名・担任コードが一致しない場合
  - ロ. 時限を誤って記入した場合
  - ハ. 間違い易い数字で記入した場合(例、0と6、1と7)
  - ニ. その他、不明瞭に記入した場合
7. 体育実技の記入方法は、時間表に載っている科目コード・担任コードを正しく記入すること。
8. 自己の責任において、必ず指定された日・時・場所に提出すること。
9. 履修届の本人控を正確に記入し紛失しないように保管すること。

### 3. 履修届（時間割）の作成順序

履修要項・授業時間表により、各自がそれぞれの学年次の履修科目を決定する訳であるが、その場合必修科目、選択必修科目、選択科目の順序で決定すること。また、一般教育科目・外国語科目・保健体育科目及び基礎教育科目は1・2年次で所定の単位を修得し、上級学年に進むに従い専門教育科目、課程・講座科目等を多く履修することが望ましい。

1年次生の場合、次表の順序で履修する科目を決定すると容易である。

（法律学科）

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	法学概論（必修）	1
5	専門教育科目	憲法，民法Ⅰ（必修）	2
6	一般教育科目	人文分野 } 開講科目の中から4または5科目を選択 社会分野 } 必修（不足単位は2年次で履修） 自然分野 }	} 5
	専門教育科目		
1年次履修制限科目数			15

（政治学科）

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	基礎政治学（必修）	1
5	専門教育科目	憲法（必修）	1
6	一般教育科目	人文分野 } 開講科目の中から5または6科目を選 社会分野 } 択必修（不足単位は2年次で履修） 自然分野 }	} 6
	専門教育科目		
1年次履修制限科目数			15

## V 試験および成績評価

### 1. 定期試験

- イ. 前期で終了する授業科目の定期試験は7月に、後期および通年の授業科目の定期試験は1月から2月にかけて実施される。
  - ロ. 試験を受験できる科目は、正規の手続きを経て履修登録した授業科目であること。
  - ハ. 筆記試験のかわりにレポートの提出を課せられた場合は、主題、枚数、提出日時、提出先等をよく確認の上、表紙に科目名・担任名・主題・学科・学年・学生番号・氏名を明記し、読み易くとじた上で提出すること。  
なお、指定された日時に遅れた場合は一切受理しない。
- ニ. 試験時間割は、原則として平常の講義の時限とし、時間および教場等については掲示で発表する。  
(注) 試験場は平常の授業教場と異なる。特に集中試験(同一科目を一括して行う試験)は平常時間割と曜日、時限とも変わるので試験時間および教場割等については掲示に十分注意すること。

### 2. 中間試験

授業科目によって担任者が中間考査として任意に行う試験(レポート提出を含む)のことをいう。従って試験は平常の授業に準じて行う。

### 3. 追・再試験

#### I 追試験

- イ. 追試験は、やむを得ない事由があり定期試験(期間外実施・レポート提出を含む)を欠試した場合受験することができる。その場合、欠試者は所定の欠試届にその事由を記入し、自分の全ての試験終了後ただちに届け出ること。(締切日は掲示板参照)
- ロ. 追試験料は徴収しない。

#### II 再試験

- 1, 2, 3年次生については、再試験は一切実施しない。  
卒業年次生に限り下記により実施する。
- イ. 卒業年次に履修登録した科目の定期試験(期間外実施・レポート提出を含む)を受験し、不合格となった科目は願い出により受験することができる。
- ロ. 受験料は1科目500円とする。

#### III 体育・外国語科目・その他

- イ. 体育実技、演習は追、再試験ともこれを行わない。
- ロ. 外国語科目についても追、再試験を行わない。ただし、定期試験を欠試した者は当該科目試験終了後一週間以内に担任教員に申し出て指導を受ける。

#### 4. 受 験 心 得

- イ. 当該受験科目を履修登録していること。
- ロ. 指定された日，時，試験場（教場）で受験すること。
- ハ. 学生証を携帯していない学生は受験できない。
- ニ. 学生証は試験中，机上に提示しておくこと。
- ホ. 試験開始後30分を超えて遅刻した学生は受験できない。
- ヘ. 試験開始後30分を経過し，受験者名簿に氏名を記入するまで退場できない。
- ト. 学部，学科，学生番号，氏名の記入はペン又はボールペン書きとする。
- チ. 無記名の答案は無効となるので注意をすること。
- リ. 配布された答案用紙は必ず提出し，試験場外へ持ち出してはならない。
- ヌ. 試験場（教場）においては，すべて試験監督員の指示に従うこと。
- ル. 試験場（教場）の秩序を乱したり，試験実施の妨げとなる行為をした場合は退場を命じる。
- ヲ. 試験において下記のような不正受験行為があった場合は，「不正受験行為者処分規程」により処分されるので注意をすること。
  - (1) 代人として受験したり，又は代人受験を依頼すること。
  - (2) 使用が許可されていないノート，テキスト，参考書，六法，辞書等を使用すること。
  - (3) 所持品その他への事前の書き込みや机，壁等への書き込みを利用すること。
  - (4) 他人の答案をのぞき見て書き写したり，書き写しさせること。
  - (5) 私語及び動作，メモその他の方法で連絡をしたり，連絡を受けること。
  - (6) 試験中にノート，テキスト，参考書，六法，辞書等を貸借すること。
  - (7) 答案用紙をすり替えたり，すり替えさせること。
  - (8) その他上記に類似する行為をすること。

#### 5. 成績評価・単位認定

- イ. 定期試験の成績は，優（100点～80点），良（79点～70点），可（69点～60点）および不可（59点～0点）とし，優，良，可を合格，不可は不合格として発表する。  
 なお，素点に関する問い合わせは一切受付ない。
- ロ. 所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席し，合格の成績評価を得た授業科目については所定の単位を認定する。
- ハ. 追試験の成績評価は定期試験に準ずる。
- ニ. 再試験（4年次生のみ）の成績評価は良（70点）以下とする。

#### 6. 試 験 時 間

定期試験実施時間（前期・後期とも）		追(再)試験実施時間(前期)	追(再)試験実施時間(後期)
1 時限 9：30～10：30	4 時限 14：30～15：30	1 時限 16：10～17：00	1 時限 9：30～10：20
2 時限 11：00～12：00	5 時限 15：50～16：50	2 時限 17：10～18：00	2 時限 10：50～11：40
3 時限 13：00～14：00	6 時限 17：10～18：10		3 時限 13：00～13：50
			4 時限 14：10～15：00
			5 時限 15：20～16：10

試験実施規程（抜萃）が掲載されている（P.27）で参照のこと。

## VI 進 級 に つ い て

上級学年に進級するためには、進級規程に定める各学年所定の単位を修得していなければならない。修得した単位数により進級及び注意進級とし、基準単位数に達しない場合は原級留置とする。

○注意進級とは、進級の基準単位数に達していないが教育指導のうえ進級を認めるものである。

これによる進級者は、修得単位数が少ないために次年度に原級留置となったり、卒業が困難となる場合もあるので、十分反省して勉学に努める必要がある。

○修得単位数が注意進級の基準単位数に達しない場合は、原級とし、同一学年に留め置くものとする。

修得単位基準表（単位は卒業所要単位のうちとする）

	1年次から2年次	2年次から3年次	3年次から4年次
59年度以前入学生級進	30単位以上	60単位以上	90単位以上修得し、一般教育科目、保健体育科目、外国語科目を全て修得していること。
注 意 進 級	29～20単位	59～50単位	90単位以上修得しているが一般教育科目、保健体育科目、外国語科目が1～16単位不足している場合。
原 級 留 置	19単位以下	49単位以下	89単位以下。又は、90単位以上修得しているが一般教育科目、保健体育科目、外国語科目が17単位以上不足している場合。
60年度以降入学生級進	30単位以上	60単位以上	99単位以上修得し、一般教育科目、保健体育科目、外国語科目を全て修得していること。
注 意 進 級	29～20単位	59～50単位	99単位以上修得し、一般教育科目、保健体育科目、外国語科目が1～12単位不足している場合。
原 級 留 置	19単位以下	49単位以下	98単位以下。又は99単位以上修得しているが、一般教育科目、保健体育科目、外国語科目が、13単位以上不足している場合。

○59年度以前入学生についても昭和62年度から「60年度以降入学生適用の進級規程」を一斉に適用するので計画的に単位を修得しておく必要がある。

進級規程及び進級基準が（P.29・30）掲載されているので参照のこと。



## Ⅶ クラス制およびクラス主任

- イ. 1年次は学科毎にクラス制をとっている。
- ロ. クラスにはクラス主任（教員）が1名ずつおり、学生の学習指導、生活相談等に当たっているから、これらのことについては遠慮なく相談されたい。ただし、61年度は実施しない。

## Ⅷ 教職課程・資格講座

法学部で開講されている資格取得の課程・講座は、**教職課程**、**学校図書館司書教諭講座**、**社会福祉主事講座**および**社会教育主事講座**である。（ただし、社会福祉主事講座は59年度以降の入学生より適用。）

教職課程は、教員資格取得のためのもので、本学において教職課程の所定単位を修得したものは、中学校1級・高等学校2級の各普通免許状が取得できる。

学校図書館司書教諭、社会福祉主事および社会教育主事の各講座は、学校教育を充実することを目的とする学校図書館、社会福祉を増進させるための機関等、および青少年に対して行われる組織的な教育活動である教育施設の各専門職員となる有資格者を養成するために設けられている。

教職課程・資格講座の履修希望者は、1年次の秋（11月中旬）に実施するガイダンスに出席し、教職課程・資格講座の「履修要項」および「課程・講座受講登録カード」を受け取ること。（授業科目の講義内容は当該履修要項の講義内容を参照すること）

なお、ガイダンスの日時等については、実施1カ月前より掲示板で、その旨指示する。

○開講されている課程・講座

課程・講座名		備考
教 職 課 程	2年次より	
学校図書館司書教諭講座	〃	
社会福祉主事講座	〃	59年度入学生より適用
社会教育主事講座	〃	

## IX 事務取扱いについて

### 1. 成績発表・成績証明書について

- イ. 前期終了科目・後期及び通年授業科目の定期試験の結果は書類で発表する。
- ロ. 成績の質疑については成績発表後3日以内に教務部⑨番窓口にて相談すること。ただし評価の質疑については直接担任教員に申し出て相談すること。
- ハ. 成績発表を受けるときは必ず学生証を持参すること。
- ニ. 成績証明書は卒業年度生以外は原則として発行しない。

### 2. 授業時間について

授業時間は、次表のとおりである。

時 限	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
時 間	9:00~10:30	10:40~12:10	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40

### 3. 事務室の事務受付時間について

- イ. 事務室の事務受付時間は、9時より16時30分（土曜日は12時まで）とする。ただし昼食休憩時間は12時から13時とし、この時間は事務受付を休止する。
- ロ. 履修届提出・成績発表・各申込等の受付は9時30分より16時までとする。

### 4. 休講について

- イ. 休講は担任教員より連絡あり次第、休講掲示板（教務部事務室前ロビー）に掲示する。したがって、教場の黒板に書いて休講の連絡はしない。始業時間より30分以上経過しても連絡のない場合は、教務部⑦番窓口にて申し出てその指示を受けること。
- ロ. 運輸機関のストライキによる休講措置については午前7時現在国電（山手、中央、京浜東北）もしくは東急がストを行っている場合の授業は全面休講とする。

### 5. 掲示について

学生に対する公示・告示および学習上周知を要する事項は、すべて掲示板に発表するので、登校・下校の際は必ず掲示板を見ること。また、学生個人に対する伝達事項も、掲示または、郵便・電話で連絡するので遅滞なくその指示に従うこと。

### 6. 問い合わせ

事務室への電話による質問（行事予定、休講、授業、学籍、試験、成績、その他）は、間違いを生じやすく事務に支障も生ずるので一切応じない。必要があるときは、必ず登校のうえ、掲示板を見るか、関係事務室窓口で問い合わせること。

## X 届書・願書について

(教務部扱いのもの)

種 類		要 領	必要書類	本人印	保証人印	取扱窓口
届	単 位 履 修 届	年度初頭の指定する期日に、各年度に修得しようとする授業科目(単位)を必ず届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	掲示
	欠 試 届	やむを得ない事情で欠試した時は届出用紙に理由を書き、本人履修全科目の試験終了後ただちに届け出ること。(締切日は掲示参照)	所定用紙あり	不要	不要	⑨
	改 氏 名 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり 戸籍抄本1通添付	要	不要	⑤
	本 籍 地 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり 戸籍抄本1通添付	要	不要	⑤
	保 証 人 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり 在学誓書(保証書)添付	要	要	⑤
	保 証 人 住 所 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	⑤
	死 亡 届		所定用紙あり 死亡診断書添付		要	⑤
願	休 学 願	病気その他の理由で引き続き2か月以上修学することができない場合は、保証人連署の上願い出て休学の許可を得なければならない。	所定用紙あり 傷害・疾病による場合は医師の診断書添付	要	要	⑤
	復 学 願	休学した者が復学する場合は、毎学年の始め、保証人連署の上願い出て許可を得なければならない。「復学願」の提出は4月7日までとする。	所定用紙あり 傷害・疾病による休学をした場合は医師の通学可能である証明書添付	要	要	⑤
	退 学 願	傷病その他やむを得ない理由で退学する場合はその理由を付し、保証人連署をもって願い出て許可を得なければならない。	所定用紙あり 学生証添付	要	要	⑤
	転 部 ・ 転 科 願	事前に教務部に相談すること。	所定用紙あり	要	要	⑦

## XI 各種証明書取扱い窓口

証 明 書 名	取 扱 窓 口	料 金
成績・卒業見込証明書（卒業年次生のみ）	教務部④番	1通 100円  (英文証明書) 1通 300円)
成績証明書		
卒業証明書		
学士証明書		
教員免許状取得見込証明書		
単位修得証明書 (教職, 司書教諭, 学芸員, 社会教育, 社会福祉)		
一般教養科目修了(見込)証明書	教務部⑤番	
在籍証明書 (中途退学者に限る)		
人物考査書	就職部	
健康診断証明書	学生部③番	
在学証明書	学生部②番	
学割		無料
通学証明書		無料

※ 経理部前備付けの申込用紙に必要事項を記入し、手数料分の証紙を貼付（郵送料も同様）の上、取扱い窓口に応じ込むこと。発行は原則として3日後。

教務部取扱い証明書は、6月下旬から10月中旬までと3月は大変混雑するので、掲示に注意し、十分余裕をもって申し込むこと。

# 試験実施規程(抜萃)

(昭和59年7月13日制定)

## (目的)

第1条 この規程は、駒沢大学(以下「学部」という。)、駒沢短期大学(以下「短大」という。)、駒沢大学大学院(以下「大学院」という。)の各学則に規定する試験の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

## (試験の実施)

第2条 試験は、当該教授会の責任のもとに実施される。

## (試験の種類及び実施の時期)

第3条 試験の種類は、次のとおりとする。

- (1) 定期試験 履修した授業科目修了の認定をするために前期あるいは後期の所定期間内に行われる試験をいう。
  - (2) 追加試験(以下「追試験」という。) 病気その他やむを得ない理由で定期試験を受けることができなかった者について行う試験をいう。
  - (3) 再試験 第1号の試験を受験し不合格となった者について、臨時に行う試験をいう。
  - (4) 中間試験 第1号、第2号、第3号の試験とは別に平常の授業時間帯に授業科目担任者が中間考査として行う試験をいう。
2. 試験の実施時期については、行事予定表をもってこれを定める。ただし、中間試験については、この限りではない。
3. 第1項第2号及び第3号に規定する追試験及び再試験は、次の各号の一に該当するときは、これを実施しない。
- (1) 学部1.2.3年次生の再試験
  - (2) 学部外国語科目、体育実技、演習、その他実験実習をともなう授業科目の追試験及び再試験
  - (3) 短大体育実技の追試験及び再試験

## (試験の方法)

第4条 試験は、筆記、口述又は実技によって行う。ただし、授業科目担任者の決定により、レポート提出をもってこれに代えることができる。

## (試験時間)

第5条 試験時間は、原則として第1部は60分、第2部は50分とする。ただし、追試験及び再試験については50分とする。

## (受験資格)

第6条 授業科目修了の認定にかかわる定期試験を受験するためには、次の各号の条件を満たしていなければならない。

- (1) 当該授業科目を履修登録していること。
- (2) 授業料その他の学費を納入していること。

2. 前項の条件を満たしているときであっても、当該授業科目について、出席すべき時間数の3分の1以上欠席している者については、当該授業科目の受験資格が認められないことがある。
3. 追試験を受験するためには、定期試験終了後速やかに当該授業科目の欠試験届及び追試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。
4. 再試験を受験するためには、所定の受験料を添えて再試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。

(受験資格の喪失)

第7条 次の各号の一に該当するときは、当該授業科目試験の受験資格を失う。

- (1) 学生証を携帯していないとき
- (2) 試験開始後30分を超えて遅刻したとき
- (3) 試験監督員の指示に従わないとき
- (4) 不正受験行為を指摘されたとき

(受験心得)

第8条 試験を受ける者は、別に定める受験心得を遵守しなければならない。

(無効答案)

第9条 次の各号の一に該当する答案は無効とする。

- (1) 受験資格を有しない者の答案
- (2) 不正受験行為により作成された答案
- (3) 氏名、学生番号が記載されていない答案
- (4) 指定された時間、指定された場所に提出されない答案
- (5) 所定用紙以外の用紙を用いた答案

(成績評価及び単位認定)

第10条 試験の成績は、優(100点~80点)、良(79点~70点)、可(69点~60点)、不可(59点~0点)の4段階に分け、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。ただし、再試験の成績は、良(70点)、可、不可のいずれかとする。

2. 合格した授業科目については、所定の単位を修得したものと認める。

(不正受験行為者の処分)

第13条 不正受験行為者の処分については、別に定める。

(事務所管)

第14条 試験実施にかかわる事務は、教務部(教務課、第二学事課)の所管とする。

附 則

1. この規程は、昭和59年7月13日から施行する。

## 進 級 規 程

(昭和51年4月1日制定)

昭和59年12月18日改正

### (目 的)

第1条 この規程は、駒沢大学学則第14条に基づき、学生が上級学年に進級するために必要な修得単位数の基準を定めることを目的とする。

### (進級基準単位数)

第2条 学生が上級学年に進級するときは、卒業所要単位数のうち、次の各号の一に該当する単位数を修得していなければならない。

- (1) 1年から2年に進級するときは、30単位以上修得していること。
- (2) 2年から3年に進級するときは、60単位以上修得していること。
- (3) 3年から4年に進級するときは、仏教学部、文学部、経済学部、経営学部、経済学部第2部、法学部第2部、経営学部第2部においては90単位以上、法学部においては99単位以上を修得していること。ただし、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の所要単位をすべて修得していなければならない。

### (注意進級基準単位数)

第3条 前条の規定にかかわらず、卒業所要単位数のうち、次の各号の一に該当する単位数を修得しているときは、本人に注意を喚起し、上級学年への進級を認めることができる。

- (1) 1年から2年への進級を認めるときは、20単位以上修得していること。
- (2) 2年から3年への進級を認めるときは、50単位以上修得していること。
- (3) 3年から4年への進級を認めるときは、次に掲げる条件の一に該当していること。

ア. 仏教学部、文学部、法学部第2部においては、90単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が12単位以下であること。

イ. 経済学部、経営学部、経済学部第2部、経営学部第2部においては、90単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が16単位以下であること。

ウ. 法学部においては、99単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が12単位以下であること。

### (原 級)

第4条 修得単位数の合計が、注意進級基準単位数に達しない者は、原級に留め置くものとする。

### 附 則

この規程は、昭和60年4月1日から施行し、昭和60年度入学生から適用する。ただし、昭和59年度以前の入学生については、昭和62年3月31日までは、なお、従前の進級基準によるものとする。

## 進 級 基 準

この基準は、駒沢大学学則第14条に基づき、上級学年に進級する場合の基準を次のように定める。

### (正規進級)

第1条 上級学年に正規進級する場合は、下記の単位数の取得を要する。

1. 1年から2年に進級する場合、卒業所要単位のうち、30単位以上。
2. 2年から3年に進級する場合、卒業所要単位のうち、60単位以上。
3. 3年から4年に進級する場合、卒業所要単位のうち、90単位以上。

ただし、90単位以上の者でも、一般教育科目・保健体育科目・外国語科目の必要単位数を全て取得していること。

### (注意進級)

第2条 正規の進級基準には、達しないが教育的配慮から進級を認める。ただし注意進級が、再度つづく場合には、取得単位の不足から、4年間で卒業することが困難となるので、今後十分に自戒して所定の単位数を取得するよう努めることが必要である。

1. 1年から2年に注意進級する場合、卒業所要単位のうち29～20単位までとする。
2. 2年から3年に注意進級する場合、卒業所要単位のうち59～50単位までとする。
3. 3年から4年に注意進級する場合、卒業所要単位のうち90単位以上を取得するも、その内一般教育科目・保健体育科目・外国語科目の不合格単位数の合計が1～16単位までとする。

### 附 則

この基準は、昭和51年4月1日より施行する。



## 講義内容目次

一般教育科目(共通).....	(34)
随意科目(共通).....	(39)
法 律 学 科.....	(42)
政 治 学 科.....	(54)
付 録 研究所案内 国家試験について .....	(65)
教職および資格講座.....	(71)



## 一般教育科目（共通）

### 人文分野

宗教学Ⅰ（菅原 寿清）	34
宗教学Ⅰ（佐藤 憲昭）	34
宗教学Ⅰ（山端 昭道）	34
宗教学Ⅰ（再クラス）（岡部 和雄）	34
宗教学Ⅰ（再クラス）（奈良 康明）	34
宗教学Ⅱ（新井 勝龍）	34
宗教学Ⅱ（黒丸 寛之）	35
宗教学Ⅱ（青龍 宗二）	35
宗教学Ⅱ（原田 弘道）	35
宗教学Ⅱ（小坂 機融）	35
宗教学Ⅱ（永井 政之）	35
宗教学Ⅱ（若月 正吾）	35
哲学（久保陽一・戸田洋樹）	35
論理学（湯浅正彦・円谷裕二・丸山豊樹）	36
倫理学（国嶋 一則）	36
倫理学（松田 文雄）	36
文学（中村 生雄）	36
文学（田沢 英蔵）	36

### 社会分野

法学（梅木 崇）	36
政治学（福岡 政行）	36
社会学（長谷部 八朗）	37
社会学（橋爪 敏）	37
統計学（飯塚 仁之助）	37
文化人類学（加治 明）	37
文化人類学（村武 慶）	37
経済学（小野 俊夫）	37

### 自然分野

自然科学概論（斉藤 浩三）	37
自然科学概論（宇和川 正人）	38
地学（前期）（篠原 正雄）	
（後期）（中島 義一）	38
地学（長沼 信夫）	38
地学（吉野（漆原）和子）	38
心理学（大塚 秀治）	38
心理学（井上 孝代）	38
心理学（園田 健司）	38

## 随意科目（共通）

比較思想特講（窪 徳忠）	39
ドイツ語F（栗原 万修）	39
ドイツ語FLL（初級）（松岡 晋）	39
ドイツ語FLL（中級）（松本 洋子）	39
フランス語F（加藤 節子）	39
フランス語FLL（初級）（松岡 宏一）	39

フランス語FLL（初級）	
（マドレーヌ・マルタン）	39
フランス語FLL（中級）	
（マドレーヌ・マルタン）	39
中国語F（刈間 文俊）	40
中国語FLL（初級）（果 荃英）	40
中国語FLL（中級）（羅 漾明）	40
スペイン語F（佐藤 玖美子）	40
スペイン語FLL（初級）（ホワン・ナバロ）	40
スペイン語FLL（中級）（ホワン・ナバロ）	40
ロシア語F（杉山 秀子）	40
ロシア語FLL（初級）	
（タチャーナ・バリソヴナ・野村）	40
ロシア語FLL（中級）	
（タチャーナ・バリソヴナ・野村）	40
日本語F（初級）（留学生対象）	
（大塚 純子）	40
日本語F（中級）（留学生対象）	
（杉山 秀子）	41

# 一般教育科目(共通)

## 人文分野

### 宗 教 学 I

菅原 寿 清

前期において、人間生活と宗教とのかかわりあい、宗教学の学問的領域その研究方法、さらに宗教の起源論、宗教の分類等について、概説し、後期において、史上にあらわれた宗教現象、特に世界宗教(Universal Religion)といわれる仏教・キリスト教・イスラーム教等について各説する。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』(世界書院)

### 宗 教 学 I

佐藤 憲 昭

宗教(文化)は、人間生活にどのような意味と役割をもっているかについて、他の文化諸領域との関連のもとに考察する。さらに、仏教の基本的な観念や行動についても考えてみたい。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』(世界書院)

〔参考書〕佐々木宏幹『憑靈とシャーマン』(東大出版会)

脇本平也『宗教を語る—入門宗教学—』(日新出版)

### 宗 教 学 I

山 端 昭 道

次の点を柱として、講義を進めたい。

1. われわれの周囲には、さまざまな宗教現象やそれに関する事象が在る。それらを知り、現代人としてのわれわれと宗教とのかゝわりを考え、また、自己自身の確立のために、宗教のもつ価値や意義を問う。
2. わが国の文化や社会、また異なった国々のそれらや人びとを知る上で、その国の宗教理解は欠かせない。過去から現在に至る重要な宗教の諸相へ理解を深める。

3. 年間を通して、わが国の年中行事のいくつかを取り上げ、その背後に在る日本人の宗教意識を知り、かつその現代的意義を考える。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』(世界書院)

### 宗 教 学 I (再クラス)

岡 部 和 雄

前半では宗教とは何かという問題を現代のアクチュアルなテーマをとりあげて具体的に考えていく。また後半では仏教に的をしぼり、その基本的輪郭を明らかにしようと思う。

〔参考書〕『宗教学ハンドブック』(世界書院)

『仏教の歩んだ道 I』(東京書籍)

### 宗 教 学 I (再クラス)

奈 良 康 明

人間生活における宗教、仏教の意味、機能および構造を「宗教文化史」研究の枠組の中であきらかにしてゆきたい。出来るかぎり、現代の私たちの生活とのかかわりの中で諸テーマを考える。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』(世界書院)

『仏教のおしえ』(東京書籍)

### 宗 教 学 II

新 井 勝 龍

人間が人間として価値あらしめられるのは、生きる意義の自覚にある。この自覚とは、一言でいえば、自己実現と社会関係の確立に帰する。学問を含め一切の価値ある人間活動は、これをめぐるものに外ならない。禅はこの問題に対し、すぐれた理論と実践による根元的な答をもっている。これは諸部門総合化の現代における、禅の位置を示している。

本講座はこの意味において、禅の特質を明らかにすべく、特に禅の個人観・社会観更に禅の実践論を中心として、現在の自己自身における、絶対的意義把握の道を探求してゆきたい。

〔教科書〕ノートによる。

〔参考書〕田村吉朗『日本仏教史入門』

## 宗 教 学 II

黒丸寛之

宗教としての仏教と禅について、その歴史と思想、生活と文化、および現代的意義などについて講述する。

## 宗 教 学 II

青龍宗二

この講座は「宗教学Ⅰ」のあとをうけて、「禅仏教」を取り扱う科目であるが、特に禅思想を中心として、我々自身の人間形成にどのような関わり合いをもっているかを考え、併せて日本文化と禅との関連をも言及してゆく。

## 宗 教 学 II

原田弘道

仏教就中禅を中心に講義を進めてゆく。まず禅及び禅宗の歴史的展開を追いながら、禅とは何か、人間生活と禅の真理、禅的生活の展開、禅と文化、禅と現代といった問題を順次とりあげてゆく。

そして禅の日常性の構造、公案の意義、禅の人間像、実践規範と順次とりあげる。禅と文化、禅と現代においては、広く禅と芸術、西欧思想と禅との関係等についても触れるつもりでいる。

〔参考書〕 水野・柴田編『宗教学ハンドブック』  
(世界書院)

## 宗 教 学 II

小坂機融

本講座は宗教学Ⅰを基調とし、特定宗教への関心の有無にかかわらず、宗教的問いがすべてのひとに生起してくる根底について考究し、これへの真の応答の在りようを宗教の歴史的諸形態の中に探り、更に禅の簡明直截な証道に焦点をあて、近年特にその審みが顕在化してきた現代文明社会において、これがいかなる意味をもつかを自然・人間・社会等の諸事象に照らして問うていく。

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』(世界書院)  
『宗教学Ⅱ』(更生社)

## 宗 教 学 II

永井政之

宗教学Ⅰのあとを承け「禅」について、その歴史や思想を学びつつ、ますます複雑化する現代に宗教、就中、禅はどのような面で可能性を持ちうるのであろうか。学生諸君とともに考えてみたい。

〔教科書〕 『宗教学Ⅱ』(更生社) ¥1,950  
〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』(世界書院)

## 宗 教 学 II

若月正吾

昭和の初期、和辻哲郎博士の「沙門道元」によって近代における道元禅師の日本精神史上の位置づけがなされ、続いて秋山範二氏の「道元の研究」さらには田辺元博士の「正法眼蔵哲学私観」の著書によって、道元禅師の研究は学界の注目するところとなった。

道元禅師の名著「正法眼蔵」の研究は戦後ますます旺んじたが、その内容はまことに難解とされている。

「正法眼蔵随聞記」は禅師の弟子懷奘禅師が親しく随待した間に、教えを聞くに随って書きとめたもので、正法眼蔵研究の手がかりとなる好個の書である。随聞記を講読することによって、道元禅師の思想ならびに禅とは何かということを摸索してみたいと思う。

〔教科書〕 大久保道舟校注『正法眼蔵随聞記』  
(山喜房佛書林) ¥1,000

## 哲 学

久保陽一・戸田洋樹

人間は生まれつき、知識の営みをするように定められている。人間のもつどんな知識でも思想を表わし、人間はその思想によって生きている。しかしわれわれの日常生活では、自分がどのような思想によって生きているのか自覚がない。それは、伝統的思想に支配されているからである。われわれが「よりよく生きる」ことを願うならば、一定の目標を定めなければならない。そのためには自覚した思想をもたなければならない。哲学は、古代から現代に至るまでの自覚された思想を研究し、さらにそれを自らの生きるための思想とするものである。また大学における学問研究の基礎知識にも努める。

〔教科書〕 その都度指示する。

## 論 理 学

湯浅正彦・円谷裕二・丸山豊樹

論理学は、正しく思考するためには「いかに思考すべきか」を教える科学である。ここでいう思考は、推理という型の思考である。われわれは、学問する場合はむしろんのこと日常生活においても、たえず思考しているが、必ずしも正しく思考しているとはかぎらない。したがって、論理学によって正しく思考するための法則を学ばなければならない。さらに、現代の科学技術や電算機の基礎になっている論理法則の理解を習得をする。

〔教科書〕『新しい認識への論理』（公論社）

## 倫 理 学

国 嶋 一 則

倫理学は、われわれがいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。つまり、人間の行為に関する哲学である。人間として正しい行為とか、真実の行為とか理性的行為といわれるものは、人生の原理（人生観）や世界の原理（世界観）に従った行為である。日常の人生観や世界観は、動揺して確実なものではないから、古代から現代にいたる主な哲学者たちの思想を研究して、各自の確実な人生観や世界観の獲得に努める。

〔教科書・参考書〕 その都度指示する。

## 倫 理 学

松 出 文 雄

開講時に指示する。

## 文 学

中 村 生 雄

日本人は、四季の移ろいの中に「美」を発見し、それを言葉によって表現しようとした。そこで発見された「美」は、したがって、自己の外部に対象としてあるものではなく、自己の内的な「観念」によって染めあげられたものであった。そして、この「観念」は多くの場合、仏教の「無常」の理念に由来していたと言える。このような観念に立って、古代から中世にかけての文学作品の理念的な背景を考えてみたい。

〔教科書〕 大系「仏教と日本人」第5巻（春秋社）  
¥2,500

## 文 学

田 沢 英 蔵

日本の近代文学の作品を読む。読む過程で、文学に関する事項（文芸思潮、文芸理念、ジャンルなど）について解説する。

〔教科書〕 授業時に指示する。

## 社 会 分 野

## 法 学

梅 木 崇

一般教養科目としての法学であるが、法学部の学生を対象とするため、わが国の法制度全般にわたって概説する。したがって、「法とは何か」といった高度に抽象的・思弁的な内容はとはあつかわない。また、法の歴史についても必要な限りで言及するにとどめる。要するに、現代の法制度、それに則する法現象を対象とするということである。できるかぎり多くの具体的な例をひいて、理解しやすいように努めるつもりである。現在のところ、次のような内容を予定している。

(1)犯罪と法 (2)財産関係と法 (3)労働と法 (4)家族関係と法 (5)法の適用と裁判 (6)法の解釈

〔教科書〕 開講にあたって指示する。

## 政 治 学

福 岡 政 行

前期は政治の理論的研究として、政治学の行動科学的分析を中心に、政治のシステム・文化・社会化の視点で政治の動態分析を行う。政治が人間行動の集団現象であることから、現実政治の分析には、どうしても行動的視座が必要である。

後期、特に六月末から七月にかけ、参院選もあることから、戦後日本の政党政治・選挙について、現状分析を行う。今日の日本の政権交代が、何が原因で、スムーズに行なわれないのか。政党システム・選挙・圧力団体・官僚制を中心に講義してゆく。

〔教科書〕 福岡政行著『政権交代の政治力学』  
（東洋経済） ¥1,500  
福岡政行著『行動科学的政治学』  
（早大出版） ¥1,800

## 社会学

長谷部 八 朗

本講義は、現実にもがまれている社会生活を人間関係に視点を置いて分析することを企図する社会学を、個人・集団・(全体)社会といったレベルの相互連関の内に理解しようとするものである。

前期は、そうした社会学的分析に欠かせない基本的用語や概念を、学史的背景を適宜考慮しながら解説し、後期は、これらの基礎的知識を、可能なかぎり社会生活の個々の領域に実践応用して行きたいと考えている。

〔教科書〕 『新版社会学概論』(学文社)

## 社会学

橋 爪 敏

社会学という学問の持つ研究対象や性格は、ほかの社会諸科学と比べた場合、あまり理解しやすいものとは言えない。それは、社会学のもつ一種独特の学問的性格や対象の設定に基づくものであろう。社会学は、名称の示すごとく、社会を研究対象とするものであるがそれを常に具体的、現実的な人と人との関係的現象、集団的現象に還元して考察、理解し、さらには理論に体系化する志向をもつ。そこで、この講義では、このような社会学独自の社会現象の見方、考え方、また基礎的な知識をテキストをもとに理解し、考えていくこととしたい。

〔教科書〕 安藤喜久雄ほか編『社会学概論』〔新版〕(学文社)

〔参考書〕 安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』(学文社)

## 統計学

飯 塚 仁之助

第Ⅰ編 社会統計学の発達過程

第Ⅱ編 社会統計理論

第1章 社会統計学の意義、第2章 統計集団、第3章 大数の法則、第4章 大量観察法

第Ⅲ編 統計分析法

第1章 記述統計

第1節 平均、第2節 散布度、第3節 歪度、第4節 指数、第5節 相関

第2章 推測統計

## 文化人類学

加 治 明

文化人類学とは人類の文化を研究する学問である。ただしこの場合の文化とは広い意味で使われ、人類の生活様式を指し、その範囲は経済・社会・宗教・芸術・道徳等人間生活のさまざまな分野に及んでいる。いっぽう、この学問の特色は、今まで世界各地の「未開」民族の文化や社会を実施に調査、研究し、さらに比較研究等を通して理論化してきたことだが、近年は次第に文明社会も取り扱うようになり、現在では人類全体の文化や社会を研究対象にしていると言える。講義では、人類学の目的と範囲、経済形態、社会組織、呪術と宗教、文化の動態等について解説するが、学生諸君がその内容を身近なものとして受け入れられるよう努力していきたい。

〔教科書〕 吉田禎吾・寺田和夫著『人類学入門』(東京大学出版会) ¥1,700

## 文化人類学

村 武 慶

私達は、ややもすると、自分達の生活様式、家族・親族の形態、自分達の宗教を最高のものと思いがちであるが、必ずしもそうではないことを、いろいろな民族、社会を比較して学んでいきたい。

〔教科書〕 『文化人類学を学ぶ』(有斐閣) ¥1,100

〔参考書〕 『文化人類学』(有斐閣双書)

## 経済学

小 野 俊 夫

いわゆる近代経済学の立場から、現代経済学の成果をも考慮して、マクロ経済学の解説を行なう。

〔教科書〕 J.ベン著、小野俊夫訳『現代経済学第2版』(ダイヤモンド社)

## 自然分野

### 自然科学概論

斉 藤 浩 三

20世紀後半における大規模な工業生産と高度の経済成

長を支えてきたものはエネルギー資源であるが、そのエネルギーの形態や内容は、時代によって大きく変化する。現代は、化石燃料から新エネルギーへの転換の時期にさしかかっている。新エネルギーのうちで原子力は最も重要なものであり、将来は一層その重要性が増大するので、原子力事情を展望し、また問題点と対応策について考慮する。また、新エネルギーその他の新しい分野の開発では、きわめて高度な技術が要求されるが、これらの先端技術の現状や新素材の役割などについても平易に解説する。

〔参考書〕 必要に応じて紹介する。

### 自然科学概論

宇和川 正 人

自然環境と資源、とくに、水資源、農林海洋、エネルギー資源の諸問題について解説する。あわせて、これら資源の開発利用と人類とのかかわりあいについて考察する。

〔参考書〕 その都度紹介する。

### 地 学

(前期) 篠原 正 雄  
(後期) 中 島 義 一

〔前期〕最近の宇宙探査により明らかにされつつある新しい太陽系像を紹介する。地球を惑星の一つとして大きな目でとらえ、太陽系の中で、なぜ地球だけが生命を發展させ、我々にとってかけがえのない環境をつくりあげてきたのかという問題を考える。

〔後期〕地下水・湖沼・気候等の諸問題を人間生活との関係に重点をおいて講義する。

〔教科書〕〔前期〕松井孝典『パノラマ太陽系』  
(講談社ブルーバックス)

〔後期〕使用しない。

### 地 学

長 沼 信 夫

地球の歴史の上で、現代に最も近い背景となる新生代第四紀時代の自然環境の変遷を中心テーマとして講義する。その際には学生諸君の身近なところにある地学的素材をも選び、人間生活とのかかわり合いを考慮しながら進めていく予定である。

〔教科書〕『自然環境の生い立ち』(朝倉書店)

¥ 2,000

### 地 学

吉野(漆原) 和子

前期は、主として日本列島の生いたちについて説明する。後期は、最も新しい地質時代である第四紀において人類がどのように自然環境の変遷に対応してきたかについて説明する。

〔教科書〕『日本の地形』(岩波新書)

〔参考書〕『自然環境の生いたち—第四紀と現在』  
(朝倉書店)

### 心 理 学

大 塚 秀 治

心理学は人間の“こころ”と“行動”をその研究対象とした科学である。ここでは心理学の基礎的な問題を学び心理学的な研究方法、考え方を身につける。また、時間が許せば簡単な実験を行ない、実際的な場面で理解を深める。

〔教科書〕『心理学概説』(八千代出版)

〔参考書〕『新心理学』(八千代出版)

### 心 理 学

井 上 孝 代

現代の心理学に含まれる内容としての、「生理」、「心理」、「感覚」、「知覚」、「学習」、「発達」、「人格」、「社会」など、多岐にわたる分野について、図表等を用い、具体的に講義する。さらに、現代の社会風潮を鑑み、臨床的領域も講義対象とする。

〔教科書〕中村昭之編『心理学概説』(八千代出版)  
¥ 1,500

### 心 理 学

園 田 健 司

心理学は環境に適応していく主体としての人間そのものを対象にし、その人間の法則性を知り、人間そのものを理解するための学問である。しかし、それは人間知ではなく、科学的認識の方法によつての理解でなくてはならない。そこで、本講では人間のもつ有機体的、心理的、社会的な3つの側面からアプローチし、現実には心的機能としての多様な統一性を保ちながら行動している人間を考えてみようと思う。

〔教科書〕『心理学概説』(八千代出版)



## 随 意 科 目 (共通)

### 比較思想特講

窪 徳 忠

中国の文化、とくにその信仰・習俗のうちから道教に関連の深いと思われるものを選んで、日本で現行されている信仰・習俗との比較を扱ってみたい。地域的には沖縄や奄美地方が中心となるが、その他の地方にも言及する。なお、必要に応じてスライドを使用して、一層の理解を深める予定である。

〔参考書〕 窪『中国文化と南島』（第一書房）  
¥2,500

### ドイツ語 F

栗 原 万 修

ドイツと日本に古くから伝えられてきた民話を、ドイツ語で読んでいく。ドイツの民話はグリム兄弟のものを主とする。そして民話を通し両国間の国民性のちがい等についても考察していきたい。テキストはその都度、教場にて配布する（無料）。

### ドイツ語FLL（初級）

松 岡 晋

一年次のドイツ語（1G, 1R）を修得した者を対象に、ビデオテープ等の教材を用いて、基本文型を用いた日常会話の練習をおこないます。参加者について特に条件はありませんが、毎回かならず出席し、一年間でなにかを自分のものにしようという最低限度の意欲のある者の受講を希望します。

〔教科書〕 テキストはその都度プリントで配布。

### ドイツ語FLL（中級）

松 本 洋 子

一年次のドイツ語を終えた者を対象とし、ビデオやテープを用いて、基本的な文型や語彙を身につけ、日常的な会話の表現力をつけていきたいと思う。

〔教科書〕 テキストはその都度配布する。

### フランス語 F

加 藤 節 子

やさしいテキストを使ってフランス文学史を読む。17世紀から始めて19世紀頃までの文学とその社会背景を概観していく予定である。時間があれば19世紀の作家、ラマルチース、シャトブリアン、スタンダール、ミュッセ、ジョルジュ・サンド、バルザック、フロベール、ボードレール、ヴェルレーヌなどの作品の一部を抜粋して読めればと考えている。

〔教科書〕 プリント

### フランス語FLL（初級）

松 岡 宏 一

“Entrée Libre”を教材として用いる予定です。スライド画面とテープの音とを併用して、基礎的な表現能力を養成したいと思います。会話は、音を真似ることから始められなければならないので、積極的に授業に参加し、フランス語を聞いたり話すことに慣れるようにして下さい。また、途中であきらめることなく、一年をとおして出席し、少しでも「フランス語」の中に入りこむことができるように、希望したいと思います。テキストは教場で配布します。

〔教科書〕 『Entrée Libre 1』

### フランス語FLL（初級）

マドレーヌ・マルタン

初心者のための実用的なフランス語会話です。やさしい聞きとり練習や文章パターンの習得を通じて、基礎的な会話に必要な表現能力を養成することを目的とします。テキストは教室で配布します。

〔教科書〕 『Sans frontière』 leçon 1より。

### フランス語FLL（中級）

マドレーヌ・マルタン

初級会話にやや慣れた学生のための実用会話。初級会話を簡単に復習したあと、下記の教科書を使って、少し高度な聞きとり、及び表現の練習をします。

〔教科書〕 『Entrée Libre 1』

## 中国語 F

刈間文俊

中国語を二次まで学んだものを主たる対象とし、文学作品の講読を中心としつつ、より上へのレベル向上を目的として、耳の訓練も随時取り入れていく。辞書を必ず持参すること。ここ数年来の新しい作品を選び、中国語の学習を通して、中国を研究する意味などを語りあいたい。

〔教科書〕 プリントを教場で配布。

## 中国語FLL（初級）

果 荃 英

中国語初級を終えたものを主たる対象とし、正確な発音をマスターし、やさしい中国語の会話を習得することを目的とする。視聴覚教材を使用して楽しく授業を進めたいと思う。

〔教科書〕 教場にてプリントを配布する。

## 中国語FLL（中級）

羅 漾 明

中国語FLL初級を終えたもの又は中国語を一年以上履修したものを対象とする。会話を中心として授業を進めます。

〔教科書〕 必要に応じて教場でプリントを配ります。

## スペイン語 F

佐藤 玖美子

本講座は、1・2年で習得した知識をもとに、特に読解力の養成を目的とします。今年度はテキストとして、スペイン独特の諺に富んだ頓知話や奇想天外のおどけ話を集めた民話集を選びました。これらの民話を読みながら、笑いの中に含まれる教訓、そしてスペイン民衆の生活雰囲気やその感情、心意気などを味わってみたいと思います。

〔教科書〕 プリント

## スペイン語FLL（初級）

ホワン・ナバロ

初心者を対象に、スライドやビデオを見ながら、やさしい日常会話を勉強します。

## スペイン語FLL（中級）

ホワン・ナバロ

前年度LL初級を終えたもの、またはそれと同等の学力を身につけているものを対象に、ビデオを見ながら、日常会話を勉強します。

## ロシア語 F

杉山 秀子

本講座はロシア語初級課程を終えたものを主たる対象とする。ロシア語の読解力と表現力の養成を目標とする。名文といわれる様々なスタイルのロシア語の文章に接することにより、ロシア語のもつメリハリのある美しさや力強さを味わっていただきたいと思う。

〔教科書〕 教場にて指示します。

## ロシア語FLL（初級）

タチャーナ・バリーソヴナ・野村

テキストに従いやさしいロシア語の日常会話を学習する。正しいロシア語の発音やイントネーションを練習し簡単なロシア語の表現力を身につけることを目的とする。

〔教科書〕 教場にて指示。

## ロシア語FLL（中級）

タチャーナ・バリーソヴナ・野村

初級課程で得た知識を上台に更にロシア語独特な生の言いまわしや、日常会話の平均的速度になれてもらい、自由な発話への第一歩となる様に心がけていきたい。

〔教科書〕 教場にて指示。

## 日本語F（初級）（留学生対象）

大塚 純子

本講座は昭和57年度に初めて設置された留学生のための日本語の随意科目である。日常生活における意志伝達にはさほど苦勞しないが、若干こみいった内容の聴きとりや説明、正しい表記・用語法などに困難を感じている留学生諸君は是非受講されることが望ましい。なお、受講者の日本語のレベルもバラバラであると予想されるの

で、授業の最初に簡単なアンケートとテストに答えてもらい、その後細目について詳しく説明する。授業では最新の日本語教育用のビデオやスライド等を駆使しつつ、現代生活に密着した正しい日本語を修得することを旨としていきたい。

〔教科書〕 面談の上決定します。

日本語F（中級）（留学生対象）

杉山 秀子

日本語Fの初級課程を終えたもの、あるいはそれと同等の学力を有する留学生を対象とし、日本語での発表能力や、表記・表現法をさらに高め、深化させていく。授業では適時、新聞・雑誌の読みあわせや、NHKの教養番組の聴きとり、ニュース解説、日本映画等のビデオ録画をとりあげて、偏りのない日本語の総合力を身につけることをめざしたい。

— 一週間に一度は必ず小テストをし、レポートの提出を義務づけるので授業はなるべく休まないこと。

〔教科書〕 教場にて指示します。

# 法 律 学 科

## 基 礎 教 育 科 目

法学概論(大久保 治男) .....	43
法学概論(佐々木 信) .....	43

## 専 門 教 育 科 目

### 1 年次必修科目

憲 法(齊藤 寿) .....	44
憲 法(西 修) .....	44
民 法 I(荒井 八太郎) .....	44

### 1 年次選択科目

民法IV(1)(青山 尚史) .....	44
----------------------	----

### 2 年次必修科目

行政法 I(林 修三) .....	44
刑法 I(八木 胖) .....	44
刑法 I(松村 格) .....	45
民法II(1)(鶴井 俊吉) .....	45
民法III(1)(河野 弘矩) .....	45
民法III(1)(青野 博之) .....	45
商 法 I(荒木 正孝) .....	45
商 法 I(山田 泰彦) .....	45
国際法 I(桜井 光堂) .....	45

### 2 年次選択科目

政治学原論(上條 末夫) .....	46
マス・コミュニケーション論(川本 勝) .....	46
政治史(寺崎 修) .....	46
経済原論(浅野 克巳) .....	46
裁判法(杉浦 智紹) .....	46
外国法(英米法)(佐々木 信) .....	46
外国法(社会主義法)(土岐 茂) .....	46
法思想史(金刺 亮介) .....	47

### 3 年次必修科目

刑 法 II(山口 邦夫) .....	47
刑 法 II(松村 格) .....	47
商 法 II(関口 雅夫) .....	47
商 法 II(島原 宏明) .....	47
民事訴訟法 I(杉浦 智紹) .....	47

### 3 年次選択科目

行政学(福田 耕治) .....	47
法社会学(小林 弘人) .....	48
財政学(速水 昇) .....	48
日本法制史(大久保 治男) .....	48
西洋法制史(佐々木 信) .....	48
経済政策(森岡 仁) .....	48
刑事政策(齊藤 誠二) .....	48

比較憲法(齊藤 寿) .....	49
行政法 II(齊藤 寿) .....	49
民法II(2)(鶴井 俊吉) .....	49
民法III(2)(青野 博之) .....	49
地方自治法(梅木 崇) .....	49
経 済 法(江上 勲) .....	49
労 働 法(平岡 一賢) .....	50
税 法(金子 昇平) .....	50
社会保障法(佐藤 時次郎) .....	50
公 害 法(金子 昇平) .....	50
外 交 史(首藤 素子) .....	50
国際関係論(首藤 素子) .....	50
国際法 II(桜井 光堂) .....	50
国際私法(山内 惟介) .....	51
時事英語(山下 高明) .....	51

### 3・4 年次選択科目

外書講読(英)(金子 昇平) .....	51
外書講読(英)(堀田 牧太郎) .....	51
外書講読(独)(松村 格) .....	51
外書講読(仏)(荒木 正孝) .....	51
外書講読(中)(江 英居) .....	51
外書講読(ス)(佐藤 玖美子) .....	52
演 習(島原 宏明) .....	52

### 4 年次必修科目

刑事訴訟法(加藤 克佳) .....	52
刑事訴訟法(齊藤 誠二) .....	52

### 4 年次選択科目

民法IV(2)(青山 尚史) .....	52
倒 産 法(馬越 道夫) .....	53
商 法 III(山田 泰彦) .....	53
工業所有権法(盛岡 一夫) .....	53
民事訴訟法 II(榎 善夫) .....	53
政治思想史(小林 正敏) .....	53
法 哲 学(中村 晃紀) .....	53

# 法 律 学 科

## 基礎教育科目

### 法 学 概 論

大久保 治 男

法学部で学んでいこうとしている諸君に必要な最少限の基礎的概念や理論を概説する。法とは何か、法の目的、法の根拠、法源、法の種類、法の解釈、法の効力、法と国家などの総論と民法、刑法等全体を鳥瞰し2年次以降の法学の名講義がスムーズに受け入れられるべく入門的ガイドを講ずる各論とよりなる。現代社会の諸特質もふまえ、社会が繁栄し、各個人と全体との調和のために最大公約数としての法秩序をいかに合目的に運用していかねばならないかを多角的に分析し、これらの背景になっている法史的、法哲学的、法社会学的問題にふれたり、アップ、ツー、デイトの事例にまで具体的に展開して受講生に法学に対する興味と意欲を起させるよう配慮する。

〔教科書〕 大久保治男著『法学概説』（芦書房）

〔参考書〕 水辺編・大久保他共著『演習ノート法学』（法学書院）

### 法 学 概 論

佐々木 信

法学部1年次学生にとって通常要求される今日の法学に関する基礎知識、基礎理論の概略、および、これらに関連する今日の多様な法的諸問題の考察について必要と考えられる法学方法論の入門的概説を主内容とする。同年次および次年次以降の学習にとって必要な法学学習の精神的準備度の向上が狙いである。

〔教科書〕 佐々木 信『法学』〔上〕（成文堂）

〔参考書〕 講義内容各項目について適宜指示する。

# 専門教育科目

## 1 年次必修科目

### 憲 法

齊 藤 寿

「基本的人権論」と「統治機構論」を中心に、学説・判例・事例研究等を通して、体系化した講義を続け、基本的・強靱な思考力と科学的な創造力とを養いたいと思う。前者の「基本的人権論」では、自由権・平等権・人身保護権・救済権・参政権・社会権などについて講義し、後者の「統治機構論」では、国会・内閣・裁判所・自治体・財政などについて講義する。

〔教科書〕 『憲法論理の展開』、『憲法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』、『憲法要論』など、拙著の中から、講義の際、選択・指示する。

### 憲 法

西 修

本年は日本国憲法公布 40 年を迎えることに鑑み、40 年間の軌跡がよく理解できるような講義内容にしたい。講義は、学説、判例、各国憲法の動向などをとり入れ、日本国憲法の全体を立体的に分析していく。また、何回かのレポート提出を求めたりして、受講者が少しでも深く日本国憲法を理解できるような方策を模索していきたい。

〔教科書〕 西 修ほか編『憲法新講』（小林出版、61 年 4 月刊行予定につき、価格不明）

〔参考書〕 その都度指定。

### 民 法 Ⅰ

荒 井 八太郎

民法はわれわれの日常生活に密接な関係のある法律であり、他の諸法に対して基礎的な地位を占め、これを習得することは法的なものの考え方を会得するのに役立つものである。総則篇はその通則を定めたもので法学を学ぶ者にとって重要である。民法に親しみをもてるよう判例や事例をあげてできる限り具体的に講義をしたい。

〔教科書〕 開講時に指示する。

## 1 年次選択科目

### 民法Ⅳ（１）

青 山 尚 史

生活の基礎であり根源をなす家族生活を規律した親族法は、最も身近な法律である。講義では、夫婦・親子・親族を中心としつつ、民法全般の基礎知識をも加えるつもりである。すなわち、民法総則の簡単な説明、ついで物権と債権につき必要最少限度の説明、そして親族法に大部分の時間を充て、最後に時限の残余状況により相続法の大要を体系的に説明しようと考えている。

〔教科書〕 教場にて指示する。

## 2 年次必修科目

### 行 政 法 Ⅰ

林 修 三

行政法の総論的部分、特に行政法の基礎概念、行政立法、行政行為、行政強制、行政罰、行政上の損害賠償及び損失補償、行政事件争訟に関する諸問題を、理論と実際の両面から、その実体的把握が可能になるような講義を行う。

〔教科書〕 林 修三『行政法の話』（第一法規出版）  
田中二郎『行政法（上）』（弘文堂）

### 刑 法 Ⅰ

八 木 胖

いわゆる刑法理論に重点をおきながら、刑法総則の全般にわたって講義する。随時重要な判例を引用し、具体的事例や時事的事例などと関連させつつ、理論の理解ができるように意を用いる。

〔教科書〕 八木 胖『刑法総論（第二次補正版）』

(評論社)  
八木 胖『刑法重要判例集(総論)』  
(新日本法規出版)

## 刑 法 I

松 村 格

刑法学説の歴史と近代刑法学の原則について簡単に話してから、犯罪成立の三要件である構成要件論、違法論責任論と更に未遂論と共犯論について講義する。

〔教科書〕 松村 格『日本刑法(総則講義案)』  
(八千代出版)

〔参考書〕 講義で随時指示する。

## 民法Ⅱ(1)

鶴 井 俊 吉

本講義は、民法典のうち第二編「物権」を対象とする。物権は、元來物資の利用を規律する制度であるが、資本主義の発達とともに、物資の取引が経済組織の中心になるにしたがい、物権法も物を取引の客体とする法理が重要なものになっている。講義では、物権変動を中心に、不動産利用権、物権的支配の秩序維持についての制度がその内容となる。具体的な事例などをあげて、できるかぎりわかりやすく解説するので、物権法の基礎的な知識を身につけてもらいたい。

〔教科書〕 我妻・有泉著『民法I 総則・物権法』  
(一粒社)

## 民法Ⅲ(1)

河 野 弘 矩

開講時に指示する。

## 民法Ⅲ(1)

青 野 博 之

いわゆる債権総論について、講義する。はっきり言って、難しい。私にとっても、受講生にとってもそうであろうと思う。これは、部分的には、この分野が抽象度が高く、条文を読んだだけでは何を書いているのかわからないためである。売買、賃貸借という契約を主として、ときには不法行為も例にあげながら、少しでもわかりや

すく、を努力目標にして、講義する。質問は、大歓迎である。

〔教科書〕 遠藤 浩ほか『新版 民法(4) 債権総論』  
(有斐閣)

## 商 法 I

荒 木 正 孝

本講義は商法総則および会社法を対象として行うが、とくに現代資本主義社会において我々の経済生活に大きな影響を与えている株式会社制度について、その生成、機能、構造等その私法的側面を規制する株式会社法に重点を置き、判例その他の具体例を挙げて解説したい。

〔教科書〕 荒木正孝『商法講義(総則・会社法)』  
(成文堂)

## 商 法 I

山 田 泰 彦

企業活動の中心的単位である株式会社が商法によりいかに体系づけられているかをみることにする。会社法上重要な問題点については、判例・学説を詳論する。問題によっては、適宜学生諸君に質問し相互の応答によって理解を確実にしたい。なお、場合によっては、抜きうちで小テストをすることも予定している。積極的な受講が望まれるので、質問はできるかぎり受けつけたい。

## 国 際 法 I

桜 井 光 堂

国際法の全体系の中で、二年次においては国際社会における法としての国際法の基礎構造から説きすすんで、平和的国際関係における法の領域(平時国際法)を概観しようとする。できる限り現実的具体的な事例を多く引用することによって、抽象的な法理論としてでなくて、実際に生きてはたっている法として理解してもらえるように講義してゆくつもりである。

〔教科書〕 桜井光堂著『改訂 国際法』(有信堂)

## 2 年次選択科目

### 政治学原論

上 條 末 夫

開講時に指示する。

### マス・コミュニケーション論

川 本 勝

マス・コミュニケーションの生産過程から受容過程にいたるまでの主要なメカニズムを、これまでのマスコミ研究の成果、理論を紹介しながら考察する。

マス・コミュニケーション活動の特質をふまえ、マス・メディアが現代社会や人びとの生活に果たす社会的機能、効果や影響などを検討する。

〔教科書・参考書〕 講義の中で随時指示する。

### 政 治 史

寺 崎 修

近代日本政治史上の諸事件を素材に、近代日本の形成過程をわかりやすく説明する。これまで不明とされてきた問題や、今日、比較的軽視されている問題についても言及するつもりである。

〔教科書〕 開講時に指示する。

### 経 済 原 論

浅 野 克 巳

現実の経済問題を念頭におきながら、現代経済学の基礎理論をできるかぎり平易に解説してゆきたい。

- I ミクロ経済学の理論
  1. 消費者行動の理論
  2. 企業行動の理論
  3. 価格決定
- II マクロ経済学の理論
  1. 経済循環と国民所得の概念
  2. 国民所得の決定
  3. 経済の変動と成長

### III 現代経済学の課題と方向

### IV 経済学の生成過程

〔教科書・参考書〕 最初の授業で説明します。

### 裁 判 法

杉 浦 智 紹

本年度の講義は、現代の裁判制度及びそのありうべき姿を学生諸君が適格に把握できるように進める予定である。講義の内容は、I. 裁判所の機構論、裁判官論、弁護士、公証人制度、検察官論、並びに法曹教育問題、II. 裁判の本質論、裁判の審理と促進に関する問題、各種裁判の手續等について概要を述べた上、問題点を指摘しながら、出来るだけ関心がもてるように、また三年次以後の訴訟法を勉強するための基礎が形成できるように努力をしたい。

〔教科書〕 兼子一・竹下守夫『裁判法』〔新版〕  
(有斐閣)

### 外国法(英米法)

佐 々 木 信

講義内容としてはつぎを予定している。

(1)わが国と英米法 (2)英米法の諸特質 (3)英米法の構造と法源 (4)現代英米法研究諸傾向管見。なお、本講では英米法体系 Anglo-American System of Lawあるいはコモン・ロー体系 Common Law System と称される法文化の精神と技術の基礎的な理解に力点をとおくとともに、これを通じていわゆる比較法学の基本的な諸問題の省察にすこしでもすすんでいきたいと思う。

〔教科書〕 佐々木 信『イギリス法学講義』〔上〕  
(成文堂)

〔参考書〕 講義において適宜指示する。

### 外国法(社会主義法)

土 岐 茂

中国の現行法を中心的素材として社会主義の法体系について講義する。法体系とは法律諸部門の総体を指す。

今日の社会主義法はソビエト法を典型としつつも、変動する中国法はもう一方の型を形成しつつある。そこで中国の実定法に着目しながら社会主義法体系について考察する。ただし、中国の現行法は形成途上にあるため、一方で基本法としての憲法を考察の糸口としつつ、他方では、法規範のみならず社会的実態と歴史経過についての理解が不可欠である。

学生諸氏に対しては、まず、中国八二年憲法をはじめとする社会主義憲法について学習することを望みたい。



- 〔教科書〕 『世界憲法集』第四版（岩波文庫）  
 ¥ 550  
 〔参考書〕 『中国憲法の論点』（法律文化社）  
 ¥ 2,000

## 法 思 想 史

金 刺 亮 介

法に関する思想の歴史は、一面、秩序に関する思想の歴史であると言っても過言ではなかろう。本講義では、秩序と秩序に関わる法のあり方についての思惟の枠組みに焦点をあてながら、ギリシアの思想家から、できればドイツ観念論の時代あたりまでを、対象にしていきたいと思っている。

- 〔参考書〕 三島淑臣著『現代法律学講座 3 法思想史』（青林書院新社）

## 3 年次必修科目

### 刑 法 II

山 口 邦 夫

法益による犯罪の分類が、現在通説的な説明方法となっているが、各犯罪類型そのものの歴史的側面を考慮しながら、その犯罪類型の論理構造を解明しながら講義をすすめたい。

- 〔教科書〕 開講時に指示する。

### 刑 法 II

松 村 格

今年度は、国家的法益に対する罪について講義する。時間が余るようならば個人的法益に対する罪の中で特に財産犯について講義する。

- 〔教科書〕 松村 格『日本刑法（各則講義案）』（八千代出版）  
 〔参考書〕 講義で随時指示する。

### 商 法 II

関 口 雅 夫

商法Ⅱは、商法学のうち、「商行為法」および「手形小切手法」を、主要な対象としている。

本講座は、平易は旨とし、商法Ⅱを、論理体系的にかつ判例を通じて実践的に理解し、その基礎的知識の修得を目的とする。

- 〔教科書〕 野津 務『商法講義』（商行為法）（中央大学生協出版局刊）  
 野津 務『商法講義』（手形法・小切手法）（中央大学生協出版局刊）

### 商 法 II

島 原 宏 明

現代取引社会における金融の用具としてきわめて重要な地位にある手形および小切手について、その法理論的な構造をあきらかにするとともに、手形・小切手をめぐる実際上のトラブルとそれに対する法的解釈を、判例等を参照しながら考察していく。

- 〔教科書・参考書〕 開講時に指示する。

### 民 事 訴 訟 法 I

杉 浦 智 紹

「訴訟」は訴訟法と実体法を総合する場であり、民事訴訟法学は「民事訴訟」をその学問対象とする。訴訟構造は、總て審査手続の範型をなすものであるから、学生諸君は等しく研究することが必要であると思う。

講義は、判決手続を中心に、民事訴訟の基礎理論から始めて、訴訟主体論、訴訟客体論、訴訟行為論、第一審訴訟手続論及び裁判論へと進める予定である。

- 〔教科書〕 杉浦智紹『民事訴訟法』（鳳舎）

## 3 年次選択科目

### 行 政 学

福 田 耕 治

現代国家は「行政国家」とあるといわれている。それは行政の量的拡大と質的变化、特に立法権に対する行政権の優越を特徴とする。そこには官僚制をめぐる諸問題、テクノクラートの支配による民主主義や代議制の危機という問題が横たわっている。このような行政現象を的確に把握する観点から、(1)行政学の課題と方法、行政学発達の歴史、(2)現代行政法学の動向と行政改革、国内行政と国際行政の関係等、(3)官僚制と行政責任論などを中心として取り上げる予定である。また、わが国が当面している行

政上の諸問題にも注意を払いながら基本問題に焦点を絞り、理論と実際の両面から現代行政にアプローチしてみたい。

教科書は特に定めませんが、必要に応じて参考文献、資料等を紹介、指示する。

## 法 社 会 学

小 林 弘 人

前期は、法社会学の基礎理論（学説の説明が中心になる）の解説、後期は、法と社会の関連について、具体的なテーマを設定して講義する予定である。

その他、諸般のことからについては、講義初日に説明する。

〔教科書〕 及川 伸著『法社会学入門』（新版）  
（法律文化社）

## 財 政 学

速 水 昇

現代の財政はきわめて多くの種類の機能を果しており、その規模は経済の6分の1から5分の1を占めるほど大きなものになっている。このため財政のありかたは経済に大きな影響をあたえるし、経済の状態は財政運営のありかたに大きな影響をあたえる。したがって私の講義では経済の動きとの関連から、さまざまな財政の問題を検討していく。

〔教科書〕 山口忠夫監修『財政学』（学文社）  
¥2,000

## 日 本 法 制 史

大 久 保 治 男

我が国における法律文化の変遷の流れを上古時代より近代まで概説する。基本法、刑事法、財産法、家族法等の各分野につき幅広くふれ、さらに我々の意識や興味や風習・言語等の中に残る法制史的事柄にまで展開したい。教授方法は講義の他にOHP、スライド、8ミリ等視聴覚的教材やシンボジュム方式もとり入れ楽しい法制史にして学生の研究意欲を起こさせるよう工夫する。温故知新、永劫回帰なのでもあるから我々の祖先の法律文化の沈積物を発掘、探求して価値づける。世は「歴史ブーム」である。時代考証にも役立ち、多くの話題を受講生に提供する一味ちがうユニークな法制史にしたい。学問探求には史的考察が必須前提でもあろう。

〔教科書〕 大久保治男著『日本法制史概説』（芦書房）

〔参考書〕 大久保治男著『大江戸刑事録』（六法出版社）

## 西 洋 法 制 史

佐 々 木 信

講義内容としてはつぎを予定している。

(1)いわゆる「西洋法制史」学の形成・その学問的性格について。(2)ヨーロッパの法文化における諸要素について。(3)ヨーロッパにおける封建法の形成過程について。(4)ヨーロッパ中世における法思想の理解について。

歴史は現代の理解に資するとする考えもあることであるので、上記についてはとくに今日における理解を紹介することに力を入れたい。西洋法制史の分野では、今のところ、企画はあるものの、適当な教科書はないので、学生諸君に入手可能な史料を教材とする予定である。

## 経 済 政 策

森 岡 仁

経済政策を理解するには経済の理論的知識を必要とするが、ここでは法学部の学生諸君にも十分理解しうるように講義を進める。内容は以下のとおりである。

I. 現代経済と経済政策 II. 経済政策学の発展  
III. 現代経済政策の課題 IV. 経済の成長政策  
V. 経済の安定政策 VI. 産業組織政策 VII. 社会的  
衡化政策 VIII. 経済政策と人口政策

〔教科書〕 森岡・他『現代経済政策』（千倉書房）  
¥2,300

## 刑 事 政 策

斉 藤 誠 二

これまで、刑事政策は、犯罪の原因を生物学的・心理学的・社会的に分析する犯罪原因論と、犯罪者をどう処遇するのか・社会から犯罪をなくすためにはどうしたらよいか、ということを考える犯罪対策論からなる、といわれていた。ところが、1970年代から、ヨーロッパやアメリカでは、ふつう、この2つの中間に、法の執行の過程ないしは刑事司法のプロセスというものを分析することがくわえられるようになってきている。これは、国際的に、刑事政策を展開するには、どうしても、どうというプロセスで、犯罪者というレッテルを貼っていくのか、という分析をしなければならぬと考えられたためである。ここでも、こういう方向で講義をしていく。

〔教科書〕 斉藤誠二『刑事政策Ⅰ』（多賀出版）  
（前期）

斉藤 他『刑事政策入門』（有斐閣）  
（後期）

〔参考書〕 森下 忠『刑事政策大綱Ⅰ・Ⅱ』（成文堂）

## 比較憲法

齊藤 寿

人権保障制度、司法制度、国会制度、内閣制度、自治制度など、各国の憲法諸制度について、興味深い講義を続けながら、楽しく研究します。

また、西欧自由主義諸国の憲法や社会主義諸国の憲法にとどまらず、アジア・アフリカ諸国や、中南米諸国の憲法にもふれ、その特色を楽しく研究します。

これらの講義は、一年間・全体を通じて、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

〔教科書〕『社会主義憲法構造の研究』（日本評論社）

『現代議会構成原理の研究』（勁草書房）など、拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

## 行政法Ⅱ

齊藤 寿

行政法の各論として、各種の行政法領域ごとに、関係法令を類型化し、解釈学的にとらえるとともに、判例や事例研究を通して、行政法令の現実的機能にふれつつ、興味深い講義を続け、楽しく研究します。

主な内容としては、(1)行政組織法、(2)公務員法、(3)公物法・営造物法、(4)警察法、(5)統制法、(6)公企業法、(7)公用負担法、(8)財政法、などについて、学んでいきます。

そして、時間的に可能であれば、生活空間（環境）形成行政法などにも、およぶ予定です。これらの講義は、一年間・全体を通じて、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

〔教科書〕『現代行政法論』（勁草書房）、『行政法Ⅰ・Ⅱ』（評論社）など、拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

## 民法Ⅱ（２）

鶴井 俊吉

民法Ⅱ(2)は、担保物権法を対象とする。担保物権法は、資本主義経済の発展に伴って、その重要性はますます増大している。今日、財産法部門で最も変化の多いところであり、取引界の要請により、新しい法令が制定され、年々歳々進展し、そして著しく変動している。

講義では、民法典の第二編「物権」の留置権、先取特権、質権、抵当権を中心に、譲渡担保、仮登記担保等がその内容となる。物的担保制度の基礎的原理については、できるかぎりわかりやすく、具体的事例などをあげて解説する。

〔教科書〕『新版 民法(3) 担保物権』（有斐閣双書）

## 民法Ⅲ（２）

青野 博之

いわゆる債権各論について、講義する。たぶんマイクなしの、私が受講生に質問しながらの講義になると思う（ただし、予想に反して受講生が多ければ、この限りでない）。緊張したものになるとともに、たくさんのことを伝えることはできないかもしれない。しかし、売買、賃貸借、請負といった契約上のトラブル、事故にあった場合の不法行為法がどういふものか、について受講生自身が考えるきっかけにはなるはずである。受講生の活発な質問を期待する。

教科書は下記のものを使う予定であるが、ほかに自分で気に入ったものがあればそれでもよい。

〔教科書〕我妻 栄・有泉 亨著『民法2 債権法』（一粒社）

## 地方自治法

梅木 崇

憲法及び行政法との関連を重視しながら、地方自治法における主要な制度を解説する。また、地方自治の運営について、行政の実態と裁判所の判例をとりあげ、その理解を深める。本講の目的は、地方自治法そのものを理解させることよりも、地方自治行政という行政の具体化過程を通じて、わが国における行政権の行使に関する基礎的なものの考えかたを学ぶとともに、統治の機構について、比較的詳細に考察する点にある。その際、諸種の公務員試験の問題についても説明するよう努める。

〔教科書・参考書〕開講にあたって指示する。

## 経済法

江上 勲

資本主義が高度化した段階の国民経済は、極度に多様化・分業化した機能を持つ経済主体間の調和は、古典的自由放任主義の経済政策では自動的に達成しがたくなる。経済法は、このような経済社会のなかで基本的に市場経済を維持しながら経済の流れに必要なに応じて国家が介入して全体の調和的發展をはかるための諸種の法から成る。本講座は、かかる経済法の中核をなす独占禁止法の意義を明らかにしたのち、その概要を説明する。講義に当っては基本的事項の理解に努める。

〔教科書〕江上 勲『経済法・独占禁止法概論』（税務経理協会）¥3,000（学生割引あり）

## 労働法

平岡一實

労働法の全般に亘り、特に基本的な事項を中心に解説を施す。この場合、最近の重要判例等を取り上げて新しい動向等の把握に遺憾なからしめたいと考える。

〔教科書〕 平岡一實『改訂 労働法の基本問題』  
(八千代出版)

## 税法

金子昇平

租税法の基礎的原理および租税法体系についての法の仕組を明らかにすることにより、個別的、具体的な租税事件を検討しながら“あるべき租税法”とは何か、を解明していきたい。

〔教科書〕 金子 宏『租税法』(弘文堂) ¥ 2,800

## 社会保障法

佐藤時次郎

### I 社会保障法総論

1. 社会保障法の概念
2. 社会保障立法の推移
3. 社会保障法の大系

### II 社会保障法各論

1. 健康保険法・国民健康保険法
2. 労働者災害補償保険法
3. 雇用保険法
4. 厚生年金保険法
5. 国民年金法
6. 国家的扶助金法

上記項目に従いその要点につきノートを取らせ、問題点に関する学説、判例、裁定及び現実に生じた事件等に解説を加える。

## 公害法

金子昇平

(1)国レベルでの公害関係法律 (2)地方公共団体の公害防止条例 (3)公害に係る各種指導要綱 (4)公害防止協定等を具体的に検討する。さらに公害判例及び、公害法についての理論的研究を行う。

〔教科書〕 木村保男・西原道雄編『公害法の基礎』  
(青林書院新社)

## 外交史

首藤素子

19世紀末から第2次世界大戦に至る国際政治の展開を動態的に理解することが目的である。

第1部として、ドイツの国家統一にはじまる西欧列強間の勢力均衡政策の展開とその帰結としての第1次世界大戦の勃発に至る外交史の展開を講義する。

第2部として、ヴェルサイユ体制ならびに東アジアにおけるワシントン体制の形成とその崩壊の過程をあつかう。単なる事件史としてではなく、その背後にある経済的、社会的要因やさまざまな政治指導者たちの思想について理解を深め、現状認識や将来の展望に対する長期的で相対的な視野を得ることが外交史を学ぶことの本当の意義であると思っている。

〔教科書〕 講義において指示する。

## 国際関係論

首藤素子

年間の講義を3部に分けてすすめる。

第1部として、20世紀になってから欧米諸国で関心の高まってきた国際関係研究の主要な研究史を概説する。

第2部として、対外政策決定過程の研究枠組を考え、ついで米、ソ連、中国、日本の外交政策の特質をとらえたい。

第3部として、現代国際政治における紛争の類型化を試み、東西冷戦、南北問題、社会主義国家間の紛争および第三世界諸国における紛争と軍事化の構造についてとりあげ、暴力と平和の問題に対する関心を深めるようにしたい。

〔教科書〕 細谷千博、白井久和編『国際政治の世界』  
(有信堂) ¥ 2,800

〔参考書〕 武者小路公秀『国際政治を見る眼』(岩波新書) ¥ 380

## 国際法 II

桜井光堂

紛争の強力的解決のための法領域は、戦時国際法または交戦法規と、その前段階としての強力的な諸手段に関する法領域とから成る。一言にして表現すれば、平時国際法領域と、戦時国際法領域に二つの法領域の中で後者をさす。国際法上の戦争と、平和条約による平和への転換(平和の回復)という二つの法現象は人類の営む国際社会の法たる国際法を平時と戦時の二つの部門に分つ。ここでは三年次(四年次を含めて)の学生のために、交戦法規もしくは強力的紛争解決手段の法を全般的に概説

するが、なるべく実際の事件などを引用して理解に便ならしめるようにしたい。

〔教科書〕 桜井光堂著『改訂 国際法』（有信堂発行）

## 国際私法

山内 惟介

伝統的な理解によれば、国際私法とは、国際法に対して、渉外的私法関係の規律のために準拠法を指定する法規の体系をいう。他の諸法分野に比してのこの領域の特色は、方法としての抵触法的規律の点にある。そこで、この講義では、まず抵触法の基本構造の正確な理解を可能ならしめるよう努めたい。それゆえ、第一の重点は、国際私法総論に置かれることとなる。それに続けて、その応用として、かかる抵触法的規律がそのまま展開されている国際家族法、国際相続法に素材を求め、基本原則の妥当領域を確認することとしたい。他方、財産法の領域の現状はとりわけ実務においてかなり高度の段階にある。ここでは基本的な抵触法規律の確認にとどめたい。

〔教科書〕 とくに限定しないが、手頃なものとして、木棚・松岡・渡辺共著『国際私法概論』（有斐閣）がある。

## 時事英語

山下 高明

生きた英語の宝庫である英文新聞・雑誌は流動する内外情勢を把握するための絶好の手がかりを提供するものである。英文紙を読解できるようになることは新しい21世紀に要求される国際人にとり欠くことのできない条件である。

本講では最新の内外英文新聞・雑誌の記事・論評を資料として時事英語に特有の語法やスタイルを解明し、あわせて重要ニュースの意義と背景についても解説をくわえる。

〔教科書・参考書〕 講義時に指示する。

## 3・4年次選択科目

### 外書講読（英）

金子 昇平

前期はアメリカ憲法を逐条的に読み、基本的人権と統

治機構に関して、どのような憲法問題が存在するのかを明らかにしていきたい。後期はアメリカ最高裁判所の判例を読み、判例の研究にウエイトを置いた講義をしていく。

〔教科書〕 開講時にプリントを配布する。

〔参考書〕 講義内容に応じて適宜指示する。

### 外書講読（英）

堀田 牧太郎

開講時に指示する。

### 外書講読（独）

松村 格

法理論の書物を教材にして講読したいと思っている。但し、どちらかといえば公法（時に刑法）分野の内容のものを使用したい。方法論としては、新しいシステム論によって法を分析したものを読みたい。新しい法理論を勉強してみたいと思う人は、ドイツ語力の如何を問わず積極的に参加してみるとよいと思う。まずは門を叩くことが大事であり、何事もそこから始まるということです。

〔教科書〕 授業が始まってから指示する。

### 外書講読（仏）

荒木 正孝

わが国の法制度は、その多くが欧米諸国の影響を強く受け、またはそれらに倣って作られたものであるから、母国における法制度の内容や法的思考等を学ぶことは、わが国の諸制度を理解するうえで重要な意味がある。この授業では、原書を読解によってフランス法の仕組やその背景について理解を深めてゆく。受講者は、毎回十分に下調べをして出席するように希望する。

〔教科書〕 受講者と相談して決める。

### 外書講読（中）

江 英 居

社会主義中華人民共和国の新憲法と三民主義中華民国の「五権憲法」を解読しながら、それぞれの国家統治構造及び基本人権について規定を比較しながら授業を進めていく。

〔教科書〕 プリント使用。

〔参考書〕 『中華人民共和国憲法』 (1982年) (北京新華社) 『六法全書』 (台北三民書局)

### 外書講読 (ス)

佐藤 坎美子

E. Marbán 著 “El mundo iberoamericano” の講読を行う。学生諸君が1, 2年で習得したスペイン語の知識の深化, 発展をはかると共に, 中南米諸国がたどってきた苦難, 屈折の歴史を知り, 中南米の現状に対する理解を深め, また検討を加えることを試みたい。

〔教科書〕 プリント

### 演 習

島原 宏明

現行日本商法のうち, 会社法および手形・小切手法について, 主にレポーター形式により論点ごとに討議を行いながら, 勉強会を進めていくつもりである。

講義と異なり, ゼミナールは学生自らの積極的な参加なしには成り立たないものであるから, 無断で欠席する者や発言の無い者にはゼミ生としての資格を認めない。

なお, 夏休み期間中に2泊3泊程度の合宿を行う予定である。

〔教科書・参考書〕 開講時に指示する。

## 4年次必修科目

### 刑事訴訟法

加藤 克佳

刑事訴訟の目的は, 適正な手続に基づいて実体的真実を発見することにあるが, そのための手続を規定した法律が刑事訴訟法である。

本来, この法律は, 刑事司法の運営にたずさわる実務家はその行為の準則を示すものであるため, 初学者にとってなじみにくい専門的・技術的な規定が少なくない。しかし, 本講義では, あまり細部にとらわれることなく刑事訴訟制度の基本的な枠組の理解に重点を置く予定である。その際, 特に, 理論的問題だけでなく実務での現実の運用や欧米の刑事手続との比較などにもできるだけ論及し, 刑事司法に対する興味・親近感をより一層喚起できれば……と考えている。

〔教科書〕 横川敏雄著『刑事訴訟』 (成文堂)

### 刑事訴訟法

齊藤 誠二

刑事訴訟の制度は, その時代のその国の社会的・文化的・政治的な要請を鋭く反映する法制度である。ここでは, 刑事訴訟の流れにそって現代のわが国の刑事訴訟が当面しているいろいろの問題を分析しながら, わが刑事訴訟が歩む方向を考えていきたい。刑事訴訟はひじょうに実践的な性格をもつものでもある。そこで, ここでは, ただ, 刑事訴訟の理論的な分析ばかりではなくて, 実際に訴訟の場でおこなわれている姿が多く語られることになるであろう。現代の刑事訴訟は, 刑事司法という形で, 刑事政策と深くむすびついている。ここでは, いつも, こういう方向でのアプローチも心掛けていくつもりである。

〔教科書〕 追って教場で指示する。

〔参考書〕 松尾浩也『刑事訴訟法』 (上・下I) (弘文堂)

鈴木茂嗣『刑事訴訟法』 (青林書院新社)

横川敏雄『刑事訴訟』 (成文堂)

松尾・鈴木編『刑事訴訟法を学ぶ』 (有斐閣)

## 4年次選択科目

### 民法IV (2)

青山 尚史

民法IV-②は, 相続法 (民法第5編882条~1044条) である。親族法が人間生活の基礎であり根源をなすところの種族保存の生活関係を直接規律する純粋身分法を中核とするのに対して, 相続法は親族生活の裏づけをなす身分財産法が中心となる。民法第5編は, 大別すると, 相続法と遺言法としてこの両者の調節機能を果たしている遺留分法とから成り立っている。どれも大切であるので相続法に中心を置きつつもできるかぎり全般にふれてゆきたいと思っている。

〔教科書〕 教場にて指示する。

## 倒産法

馬越道夫

債務者の財産が下向きになってくると、債権者はわれ勝ちに強制執行をし、個別的な満足を受ける。このような事態を放置すると、強制執行に遅れた他の債権者は、ほとんど満足を受けられないという不合理な事態を生ずる。破産制度は債務者が経済的に破綻して、その債務を完済できなくなった場合、多数債権者に平等な満足を与えたとともに、あわせて債務者に再起、更生の機会を与え、一般的経済を恐慌から守るという機能をもつ。

講義の方針は、破産法のこのような機能をふまえ、抽象論は排し破産法の機能を体系的、具体的に講義したいと思っている。

〔教科書〕 中田淳一著『破産法・和議法』（有斐閣）

〔参考書〕 桜井孝一編 馬越・他共著『演習ノート破産法』（法学書院）

## 商法Ⅲ

山田泰彦

貿易立国を宿命とする我国において、海上企業活動を対象とする海商法は、重要な意義を有している。他方、我々をとりまく社会生活・経済・企業活動の高度・複雑化に伴い、そこに生じてくる種々の危険を分散し社会全体にこれを還元するうえで、保険法の役割は大きなものがある。

本講義では、前期に海商法のアウトラインを明らかにするとともに重要な個別問題（船主の責任制限・定期傭船契約・海上運送人の責任構造）についても触れ、後期には、余裕があれば、保険法の基本構造についても検討してみたい。

〔教科書〕 開講時に指示する。

## 工業所有権法

盛岡一夫

企業が発展するために必要なことは、優秀な技術を開発することであり、そのために企業は巨大な投資をしている。発明はどのような手続によって特許権を取得するのか、従業者が発明した場合の法律関係、特許権の保護、ノウ・ハウおよびコンピュータ・ソフトウェアの保護について講義する。後期は、意匠法、商標法について解説する。

〔教科書〕 盛岡一夫『工業所有権法概説』（法学書院）

## 民事訴訟法Ⅱ

梅善夫

民事訴訟法第3編上訴および民事執行法について講義する。年間講義予定時間のうち3分の1を上訴に、3分の2を民事執行法にあてる。第1回目の講義の時に年間の講義予定表を配布する。

〔教科書〕 石川明編『民事執行法』（青林書院）

〔参考書〕 新堂幸司・竹下守夫編『基本判例からみた民事執行法』（有斐閣）

## 政治思想史

小林正敏

プラトン、アリストテレスから現代に至る政治思想史、政治学説史について、思想家を中心に、その時代的背景にもふれながら論述する。

## 法哲学

中村晃紀

次の順序で講義をすすめるなかで、法哲学の理論的、実践的課題に迫りたいと思う。

I(1)規範と規範の存在、(2)法規範の性質、(3)法規範と法体系、II(1)裁判所と法規範、(2)判決の予測としての法、(3)法の解釈、III(1)自然法論と法実証主義、(2)法に従う義務、(3)権利

法哲学は決められた内容を学生諸君に教え込むという科目ではありません。皆さんと共に考えたいと思います。

〔教科書・参考書〕 授業の中で指示します。

## 政治学科

### 基礎教育科目

基礎政治学(上條 末夫) .....	55
基礎政治学(小林 正敏) .....	55
基礎政治学(福田 耕治) .....	55

### 専門教育科目

#### 1 年次必修科目

憲法(林 修三) .....	56
----------------	----

#### 1 年次選択科目

海外政治事情(北米)(川原 謙一) .....	56
海外政治事情(東アジア)(竹花 光範) .....	56
海外政治事情(西欧)(佐藤 恭三) .....	56
海外政治事情(東南アジア)(首藤 素子) .....	56
海外政治事情(中南米)(大森 淳正) .....	56
海外政治事情(中近東・アフリカ) (山下 高明) .....	57

#### 2 年次必修科目

政治学原論(福岡 政行) .....	57
日本政治史(寺崎 修) .....	57
経済原論(浅野 克巳) .....	57
行政法(総論)(梅木 崇) .....	57
国際法(桜井 光堂) .....	57

#### 2 年次選択科目

社会学原理(渡辺 源樹) .....	58
マス・コミュニケーション論(川本 勝) .....	58
比較社会構造論(江上 勲) .....	58
外国法(英米法)(佐々木 信) .....	58
民法(山崎 敏彦) .....	58
刑法(山口 邦夫) .....	58
プロゼミ(小林 正敏・上條 末夫 小堀 訓男・寺崎 修) .....	58
プロゼミ(浦田 早苗) .....	58
プロゼミ(福田 耕治) .....	59

#### 3 年次必修科目

政治社会学(上條 末夫) .....	59
行政学(福田 耕治) .....	59
国際政治学(小堀 訓男) .....	59
外交史(首藤 素子) .....	59
政治制度(高乗 正臣) .....	60

#### 4 年次必修科目

政治思想史(小林 正敏) .....	60
--------------------	----

#### 3・4 年次選択科目

外書講読Ⅰ・Ⅱ(英)(小堀 訓男) .....	60
外書講読Ⅰ・Ⅱ(英)(竹花 光範) .....	60

外書講読Ⅰ・Ⅱ(英)(佐藤 恭三) .....	60
外書講読Ⅰ・Ⅱ(独)(梅木 崇) .....	60
外書講読Ⅰ・Ⅱ(仏)(荒木 正孝) .....	60
外書講読Ⅰ・Ⅱ(中)(江 英居) .....	60
外書講読Ⅰ・Ⅱ(ス)(佐藤 玖美子) .....	61
政治心理学(上條 末夫) .....	61
福祉国家論(福岡 政行) .....	61
財政学(速水 昇) .....	61
国際経済学(徳永 俊明) .....	61
日本法制史(大久保 治男) .....	61
西洋法制史(佐々木 信) .....	61
経済政策(森岡 仁) .....	62
刑事政策(齊藤 誠二) .....	62
比較憲法(竹花 光範) .....	62
行政法(各論)(梅木 崇) .....	62
経済法(江上 勲) .....	62
商法(荒木 正孝) .....	62
労働法(平岡 一實) .....	63
比較政治学(福岡 政行) .....	63
財政史(坂入 長太郎) .....	63
国際関係論(首藤 素子) .....	63
国家安全保障論(小堀 訓男) .....	63
宣伝広告論(上條 末夫) .....	63
地方自治法(梅木 崇) .....	64
出入国管理論(川原 謙一) .....	64
時事英語(山下 高明) .....	64
東洋政治史(山田 辰雄) .....	64
西洋政治史(浦田 早苗) .....	64
演習(浦田 早苗) .....	64



# 政治学

## 基礎教育科目

### 基礎政治学

上 條 末 夫

本講座は「政治学入門」のために設けられているものである。従って、まず政治学がいかなる学問であるかを理解するとともに、専門的な政治の諸領域を学ぶについて必要とされる基礎的知識を身につけることを目的としている。

また本講座は2年次に配当されている政治学原論と不可分の関係にあり、基礎的、全般的であると同時に、選挙制度、国際機構、政治思想、民主政治論などにはとくに力をいれ、政治学原論と合わせて全体をカバーすることになっている。講義にあたって随時、時事的な問題も取りあげて、理論と現実がかみ合うように心がけたい。

〔教科書〕 上條末夫ほか『基礎政治学』（北樹出版）  
¥2,300

〔参考書〕 飯坂・堀江編『ワークブック政治学』（有斐閣） ¥1,200

### 基礎政治学

小 林 正 敏

本講座は「政治学入門」のために設けられているものである。従って、まず政治学がいかなる学問であるかを理解するとともに、専門的な政治の諸領域を学ぶについて必要とされる基礎的知識を身につけることを目的としている。

また本講座は2年次に配当されている政治学原論と不可分の関係にあり、基礎的、全般的であると同時に、選挙制度、国際機構、政治思想、民主政治論などにはとくに力を入れ、政治学原論と合わせて全体をカバーすることになっている。講義にあたって、随時、時事的な問題も取りあげて、理論と現実がかみ合うように心がけたい。

〔教科書〕 開講時に指示する。

### 基礎政治学

福 田 耕 治

政治学の幅広い眺望を心得て、基礎的な概念や考え方になじんでおくことは重要である。現代の政治現象を理解するために、本講義ではまず伝統的な政治学の基礎である政治制度や政治思想、政治権力論などを概説する。次に、政治意識と政治参加、世論と圧力団体、政党と選挙、議会と政治家、官僚制などに関する問題を中心に取り上げ、政治の動態的な側面や政治と行政の関係を明らかにする。その際、政治過程論、政治行動論の観点からする現代政治学の分析手法についても検討を加える。このような作業を通じて、民主ラシーの理念と現実との間のギャップや現代政治の構造と過程の問題状況を探究することにした。

〔教科書〕 太田・金丸編『政治学への視点』（法律文化社）

# 専 門 教 育 科 目

## 1 年次必修科目

### 憲 法

林 修 三

現行憲法の制度経過等を通じて、現行憲法の位置、明治憲法との比較を明らかにし、現行憲法に関する国会における論議、裁判所における主要判例を紹介しつつ、現行憲法の解釈上の問題点を解明し、それらを通じて現行憲法の全体像が把握できるような講義を行う。

〔教科書〕 林 修三『憲法の話』（第一法規出版）  
宮沢俊義『憲法』（有斐閣双書）（有斐閣）

## 1 年次選択科目

### 海外政治事情（北米）

川 原 謙 一

1763年のパリ条約によって北米大陸の覇権は佛国から英国に移ったがそれもつかの間 1776年北米 13州の英領植民地は独立した。初めは連合の形態をとっていたが 1787年連合から連邦へと進展した。三権分立を主義としたのでまず大統領制連邦議会を講述し孤立主義等諸外交政策を述べ国防及び政党制度を叙述する。司法制度及び州の政治は私のゼミにて講述する。

### 海外政治事情（東アジア）

竹 花 光 範

本講義の中心は、中国の政治事情である。時間が許せば、その他、南北朝鮮、モンゴルについても論及したい。なお、講義の内容は、過去から現在にいたる政治事情の変遷が中心になるが、できるかぎり、時事的な問題をと

りあげてコメントしていくつもりである。

〔教科書・参考書〕 講義の中で述べる。

### 海外政治事情（西欧）

佐 藤 恭 三

日々生起する事象を知るだけで、現実がわかるわけではありません。現実の基底には“時”の流れがあります。この講義をこういう視点から取組むつもりです。つまり現代のヨーロッパ政治を歴史的にとらえていこうというわけです。とりあえず、近代ヨーロッパ史の大きな“うねり”となった 19 世紀中葉を講義のスタートとします。

〔教科書〕 特に指定しません。

〔参考書〕 R. haughorue, The Collapse of the Concert of Europe (macmillan, 1981);  
F. H. Hinsley, Power and the Pursuit of peace (c.u.p, 1967).

### 海外政治事情（東南アジア）

首 藤 素 子

第二次大戦後の東南アジアにおいて最初の課題はまず政治的独立であった、独立への道程はその後の外交関係の展開や経済開発の性格に大きな影響を与えたのである。

今年度は ASEAN 諸国を各国別にとりあげ政治史の展開と現状の問題について概観する。日本との関わりが深いにもかかわらず、学生からあまり関心をもたれることのなかった東南アジア地域に対して何らかの知的関心あるいは基礎的な理解を得てほしいと願う。

### 海外政治事情（中南米）

大 森 淳 正

中南米諸国の他地域と相異なる諸特徴を解明するため、スペイン・ポルトガルの植民時代、19 世紀の独立の経緯に遡って、民族性の成立過程を考え、独自の政治様式の定着をマクロの視点で概観し、更に現代の社会相の変化と問題点を具体例をひいて研究する。

特に中南米で問題化している金融不安と革命内戦の基盤となる、利権政治と独裁制の根源を歴史的に、また、社会制度の視点から、検討し、今後の状況についての見

とおしの手掛りを示唆することに重点を置く。中でも近來の特徴的な政治変革や経済的動揺については、各国の具体的な動静を新聞情報を通じて把握する方法をも併せて講述する。

〔教科書〕 なし（講義要領プリント配布）

〔参考書〕 F. G. ヒル著 アンドラーデ・村江共訳『ラテン・アメリカーその政治と社会一』（東京大学出版会） ¥ 580

## 海外政治事情（中近東・アフリカ）

山下高明

世界最大の産油地帯中近東・北アフリカは複雑な各国政情にくわえ米・ソ超大国の戦略がからみ合うきわめて重要な地域である。しかもこの地域ではパレスチナ紛争、イラン革命、イラン・イラク戦争、アフガニスタン戦争と世界的な事件が続発し現代世界で最大の紛争多発地帯となっている。

本講では中近東情勢の現状を最新資料によって分析し、その歴史的背景と将来動向の解明を試みる。

〔教科書〕 山下高明『中東政治へのアプローチ』（弘学出版）

## 2年次必修科目

### 政治学原論

福岡政行

開講時に指示する。

### 日本政治史

寺崎修

明治維新以降の近代日本政治史を講義する。ただし、近代日本政治史上の諸問題に重点をおくので、基礎的知識については、概説書により予習しておくことを希望する。

〔教科書〕 開講時に指示する。

### 経済原論

浅野克巳

現実の経済問題を念頭におきながら、現代経済学の基礎理論をできるかぎり平易に解説してゆきたい。

#### I ミクロ経済学の理論

1. 消費者行動の理論
2. 企業行動の理論
3. 価格決定

#### II マクロ経済学の理論

1. 経済循環と国民所得の概念
2. 国民所得の決定
3. 経済の変動と成長

#### III 現代経済学の課題と方向

#### IV 経済学の生成過程

〔教科書・参考書〕 最初の授業で説明します。

### 行政法（総論）

梅木崇

行政法学の基礎理論を具体的事例を通じて理解することを目的とする。当然のことながら、最高裁判所の判例を中心とする諸種の判例を素材とする解説を行う。

〔教科書〕 梅木他著『行政法体系』（啓正社）

### 国際法

桜井光堂

国際法を全般的に概説するつもりであるが、とくにできるかぎり、実際例をとりいれることによって、とかく抽象的な法理論と見られやすい国際法を現実の法として理解しうるようにつとめてみたい。

〔教科書〕 桜井光堂著『改訂 国際法』（有信堂発行）

## 2 年次選択科目

### 社会学原理

渡 辺 源 樹

何よりも社会学は現実科学であるという視点をふまえ、つとめて人間の存在・行動の問題と関らしめながら、集団論・組織論などを中心として基礎理論にぞくする諸問題を講述するとともに、現代社会学の課題とその主要問題を体系的かつ具体的に講述する。

### マス・コミュニケーション論

川 本 勝

マス・コミュニケーションの生産過程から受容過程にいたるまでの主要なメカニズムを、これまでのマスコミ研究の成果、理論を紹介しながら考察する。

マス・コミュニケーション活動の特質をふまえ、マス・メディアが現代社会や人びとの生活に果たす社会的機能、効果や影響などを検討する。

〔教科書・参考書〕 講義の中で随時指示する。

### 比較社会構造論

江 上 勲

社会構造の概念は多様であるが、本講座は国民社会を構成する経済主体が機能的分業関係を持ちながらその間に発生する階級・階層関係のパターンであるとこれを理解し、第一部においては、資本主義機構のなかで新中間階級としてのホワイトカラーの発達が資本主義の安定化をもたらしていることを国際的・統計的に解明する。第二部においては、わが国の戦前の階級対立の発生原因と実情を回顧し、これと対比して戦後の民主化政策による階級対立の緩和と中間層意識の普及を実証的に明らかにする。

〔教科書〕 開講時に指示する。

### 外国法（英米法）

佐々木 信

講義内容としてはつきを予定している。

(1)わが国と英米法 (2)英米法の諸特質 (3)英米法の構造と法源 (4)現代英米法研究諸傾向管見。なお、本講では英米法体系Anglo-American System of Lawあるいは

はコモン・ロー体系Common Law System と称される法文化の精神と技術の基礎的な理解に力点をおくとともに、これを通じていわゆる比較法学の基本的な諸問題の省察にすこしでもすすんでいきたいと思う。

〔教科書〕 佐々木 信『イギリス法学講義』〔上〕  
(成文堂)

〔参考書〕 講義において適宜指示する。

### 民法

山 崎 敏 彦

われわれの日常生活を規律する民法のうち、総則・物権法を扱う。その際、できるだけ多くの裁判例を示すことによって、よりよく理解していただけるよう努めたい。

聴講にあたっては、教科書のほか、小型のものでよから「六法」を持参されたい。

〔教科書〕 我妻=有泉『民法1』(一粒社)

### 刑法

山 口 邦 夫

この時間は実定刑法の解釈学ではなく、政治思想と関連させながら刑事法をめぐる法思想を中心に、おもに啓蒙期以降の法的思考を考察する。但し毎時限こちらで指定する文庫本などを読破してくる意欲のある者の聴講を望む。

〔参考書〕 そのつど前の週に指示する。

### プロゼミ

小林 正敏・上條 末夫  
小堀 訓男・寺崎 修

プロゼミは本ゼミのための予備的な知識および研究方法について考究し、討議するものである。

そこで、次のことを中心にして指導を行う。

#### 1. 政治学一般に関する研究方法

テーマのきめ方、文献や資料の選び方およびその使用方法など。

#### 2. 研究論文の書き方

#### 3. 研究発表の方法

#### 4. 各種の実地見学

政治学を学ぶにあって必要な施設・機関などの見学を適宜行う。

### プロゼミ

浦 田 早 苗

フランス革命、アメリカ独立革命、イギリス産業革命

に代表されるよう、西欧の18世紀は激動の世紀であった。この18世紀に注目し、歴史上の諸事件をとり上げ、討議することによって各自の問題意識を高めていきたい。

〔教科書・参考書〕 追って指示する。

### プロゼミ

福田 耕 治

このプロゼミでは、研究のしかたや論文の書きかたの他に、政治や行政に対する関心を深め、各自の問題意識を養うことを目指したい。前期は幅広い視野のもとに政治学の基本問題を討議し、現代政治を見る眼を育てる。これを踏まえて後期は、ECにおける政治統合の進展について考察する。ECの政治機構と行政官僚制、議会と直接選挙制度、政党、共同体政策など政治学・行政学分野の問題を中心に取り上げる。これらの理解は、わが国との間の貿易摩擦問題を考える上でも役立つに違いない。基礎的な文献や資料を読み、これをじっくり吟味するという方針から、各人または各グループ毎に分担発表してもらう。活発な討論を期待している。

〔教科書〕 最新の文献や資料を選んですすめていきたいので、必要に応じて紹介、指示する。

〔参考書〕 アン・ダルトロップ『ヨーロッパ共同体の政治』（有斐閣）

## 3年次必修科目

### 政治社会学

上 條 末 夫

現代政治学の中心をなすのが政治社会学である。その対象領域は広範であり、方法は多様であるが、主として日本の現代政治を対象とし、そのメカニズムを多角的かつ総合的に分析する。具体的には、日本のデモクラシーのあり方に視点を置き、内閣や政党の構造、政治参加としての選挙、マス・メディアや压力団体の機能と役割、世論の形成と機能などを取り扱う。

〔教科書〕 上條末夫『政治社会学概論』（北樹出版）

〔参考書〕 堀江 湛ほか『現代の政治と社会』（北樹出版）

### 行 政 学

福 田 耕 治

現代国家は「行政国家」とあるといわれている。それは行政の量的拡大と質的変化、特に立法権に対する行政権の優越を特徴とする。そこには官僚制をめぐる諸問題、テクノクラートの支配による民主主義や代議制の危機という問題が横たわっている。このような行政現象を的確に把握する観点から、(1)行政学の課題と方法、行政学発達史の歴史、(2)現代行政学の動向と行政改革、国内行政と国際行政の関係等、(3)官僚制と行政責任論などを中心として取り上げる予定である。また、わが国が当面している行政上の諸問題にも注意を払いながら基本問題に焦点を絞り、理論と実際の両面から現代行政にアプローチしてみたい。

教科書は特に定めないが、必要に応じて参考文献、資料等を紹介、指示する。

### 国 際 政 治 学

小 堀 訓 男

国家、権力、国際政治の主体、国際政治の客体、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等を中心に、前期では“国際政治の本質”について講義する。後期では“国際政治の問題”として、二つの世界の対立、植民地ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーを中心とした国際問題を中心に検討する。

### 外 交 史

首 藤 素 子

19世紀末から第2次世界大戦に至る国際政治の展開を動態的に理解することが目的である。

第1部として、ドイツの国家統一にはじまる西欧列強間の勢力均衡政策の展開とその帰結としての第1次世界大戦の勃発に至る外交史の展開を講義する。

第2部として、ヴェルサイユ体制ならびに東アジアにおけるワシントン体制の形成とその崩壊の過程をあつかう。単なる事件史としてではなく、その背後にある経済的、社会的要因やさまざまな政治指導者たちの思想について理解を深め、現状認識や将来の展望に対する長期的で相対的な視野を得ることが外交史を学ぶことの本当の意義であると私は思っている。

〔教科書〕 講義において指示する。

## 政治制度

高 乗 正 臣

いわゆる行政国家の登場に伴う権力分立制・議会制度の変容など、現代の政治制度論上の諸問題を欧米諸国の憲法制度との比較を通して講義する。

なお、本年度は、後期に、わが国の政治制度の当面する課題である参議院制度の改革問題や議院の委員会制度に関する問題などについても言及するつもりである。

〔教科書〕 特になし。

〔参考書〕 佐藤 功『比較政治制度』（東大出版会）

## 4 年次必修科目

### 政治思想史

小 林 正 敏

プラトン、アリストテレスから現代に至る政治思想史、政治学説史について、思想家を中心に、その時代的背景にもふれながら論述する。

〔教科書〕 特定のテキストは用いない。

## 3・4 年次選択科目

### 外書講読 I・II (英)

小 堀 訓 男

本年度は、モーゲンリー著の“Politics among Nations”の中の“PARTFOUR - The Balance of power”を読みながら、国際政治における“力の均衡”の理論を考える。

〔教科書〕 開講時に必要な部分をプリントして配布する。

### 外書講読 I・II (英)

竹 花 光 範

本年度は、Harold J. Laski, A Grammar of Politicsの一部を読む予定である。例年通り、進行度

にとらわれず、内容を吟味することに時間をかけていくつもりである。

〔教科書〕 開講時に必要な部分をプリントして配布する。

### 外書講読 I・II (英)

佐 藤 恭 三

太平洋戦争前後から現在にいたるまで、日米関係が重視され、日英関係がいきおい背景に追いやられている現状がある。第一次世界大戦以降の日英関係の変遷を辿る本書のなかから、特に太平洋戦争直後の日本の戦後構想について論じた入江昭論文を中心に日英関係の歴史を学びたい。

〔教科書〕 Ian Nish, ed., Anglo-Japanese Alienation, 1919-1952 (Cambridge University Press, 1982) (コピーで配布します)

### 外書講読 I・II (独)

梅 木 崇

今年度は、

Konrad Hesse “Grundzuge des Verfassungsrechts der Bundesrepublik Deutschland”の一部を読む予定である。熱意ある学生の参加を望む。

〔教科書〕 開講にあたって、プリントを配布する。

### 外書講読 I・II (仏)

荒 木 正 孝

わが国の法制度は、その多くが欧米諸国の影響を強く受け、またはそれらに倣って作られたものであるから、母法国における法制度の内容や法的思考等を学ぶことは、わが国の諸制度を理解するうえで重要な意味がある。この授業では、原書の読解によってフランス法の仕組みやその背景について理解を深めてゆく。受講者は、毎回十分に下調べをして出席するように希望する。

〔教科書〕 受講者と相談して決める。

### 外書講読 I・II (中)

江 英 居

社会主義中華人民共和国の新憲法と三民主義中華民国の「五権憲法」を解説しながら、それぞれの国家統治構造及び基本人権についての規定を比較しながら授業を進めて行く。

〔教科書〕 プリント使用。

〔参考書〕『中華人民共和国憲法』(1982年)(北京新華社)六法全書(台北民書局)

## 外書講読 I・II (ス)

佐藤 玖美子

E. Marban 著“El mundo iberoamericano”の講読を行う。学生諸君が1, 2年で習得したスペイン語の知識の深化, 発展をはかると共に, 中南米諸国がたどってきた苦難, 屈折の歴史を知り, 中南米の現状に対する理解を深め, また検討を加えることを試みたい。

〔教科書〕プリント

## 政治心理学

上條 末夫

政治行動論の一つとしての政治心理学は, 政治現象の心理的側面を分析する学問である。政治的人間の意識, 態度, 行動などの特徴を明らかにし, さらに集団行動としての大衆運動, 投票行動などを分析する。また, 集団内におけるリーダーシップ, グルーピング, ヒューマンリレーションなども扱う。

〔教科書〕堀江・富田・上條編著『政治心理学』(北樹出版)

## 福祉国家論

福岡 政行

現代国家は, 行政国家と言われる。そして, 現代の行政国家は, その基底において, マス・デモクラシーを採用しているため, 必然的に福祉国家の傾向がある。

しかしながら, 今日, 福祉の見直しが叫ばれ, 福祉予算の再検討が始まっている。確かに, ありあまる福祉は“福祉症”を生み, 無気力人間を生んでくる。だが, 本当に福祉を必要としている人は, 依然として多い。

このような社会的背景を踏まえて, 日本の権力構造を分析して, 講義を進めてゆきたい。

ディスカッションなども採り入れてゆきたい。

〔教科書〕『現代日本の政治過程』・『管理とデモクラシー』(共に学陽書房)

## 財政学

速水 昇

現代の財政はきわめて多くの種類の機能を果たしており, その規模は経済の6分の1から5分の1を占めるほど大きなものになっている。このため財政のありかたは

経済に大きな影響をあたえるし, 経済の状態は財政運営のありかたに大きな影響をあたえる。したがって私の講義では経済の動きとの関連から, さまざまな財政の問題を検討していく。

〔教科書〕山口忠夫監修『財政学』(学文社)  
¥2,000

## 国際経済学

徳永 俊明

資本主義世界経済の歴史と第2次世界大戦後の資本主義世界経済の主要な問題についての基本的事項の解明整理をめざします。講義内容はつぎのとおりです。

- I 資本主義世界経済の歴史(時期区分と各時期の特徴・歴史的位置づけ)
- II 第2次世界大戦後の資本主義世界経済(歴史的位置と基本構造, 貿易, 国際通貨制度, 資本輸出―「援助」・多国籍企業, 新植民地主義, 「南北問題」と新国際経済秩序, 資本主義世界経済の危機, 日本経済と世界経済, その他)

〔教科書〕徳永俊明『世界経済と第3世界』(大月書店・1986年4月刊行予定)

## 日本法制史

大久保 治男

我が国における法律文化の変遷の流れを上古時代より近代まで概説する。基本法, 刑事法, 財産法, 家族法等の各分野につき幅広くふれ, さらに我々の意識や興味や風習・言語等の中に残る法制史的事柄にまで展開したい。教授方法は講義の他にOHP, スライド, 8ミリ等視聴覚的教材やシンポジウム方式もとり入れ楽しい法制史にして学生の研究意欲を起こさせるよう工夫する。温故知新, 永劫回帰なのでもあるから我々の祖先の法律文化の沈積物を発掘, 探求して価値づける。世は「歴史ブーム」である。時代考証にも役立ち, 多くの話題を受講生に提供する一味ちがうユニークな法制史にしたい。学問探求には史的考察が必須前提でもあろう。

〔教科書〕大久保治男著『日本法制史概説』(芦書房)

〔参考書〕大久保治男著『大江戸刑事録』(六法出版社)

## 西洋法制史

佐々木 信

講義内容としてはつぎを予定している。

(1)いわゆる「西洋法制史」学の形成・その学問的性格

について、(2)ヨーロッパの法文化における諸要素について、(3)ヨーロッパにおける封建法の形成過程について、(4)ヨーロッパ中世における法思想の理解について。

歴史は現代の理解に資するとする考えもあることであるので、上記についてはとくに今日における理解を紹介することに力を入れたい。西洋法制史の分野では、今のところ、企画はあるものの、適当な教科書はないので、学生諸君に入手可能な史料を教材とする予定である。

## 経済政策

森岡 仁

経済政策を理解するには経済の理論的知識を必要とするが、ここでは法学部の学生諸君にも十分理解しうるように講義を進める。内容は以下のとおりである。

- I. 現代経済と経済政策 II. 経済政策学の発展  
III. 現代経済政策の課題 IV. 経済の成長政策  
V. 経済の安定政策 VI. 産業組織政策 VII. 社会均衡化政策 VIII. 経済政策と人口政策

〔教科書〕 森岡・他『現代経済政策』（千倉書房）  
¥2,300

## 刑事政策

斉藤 誠二

これまで、刑事政策は、犯罪の原因を生物学的・心理学的・社会的に分析する犯罪原因論と、犯罪者をどう処遇するのか・社会から犯罪をなくすためにはどうしたらよいか、ということを考える犯罪対策論からなる、といわれていた。ところが、1970年代から、ヨーロッパやアメリカでは、ふつう、この2つの中間に、法の執行の過程ないしは刑事司法のプロセスというものを分析することがかわえられるようになってきている。これは、国際的に、刑事政策を展開するには、どうしても、どうというプロセスで、犯罪者というレッテルを貼っていくのか、という分析をしなければならぬと考えられたためである。ここでも、こういう方向で講義をしていく。

〔教科書〕 斉藤誠二『刑事政策Ⅰ』（多賀出版）  
（前期）  
斉藤 他『刑事政策入門』（有斐閣）（後期）  
〔参考書〕 森下 忠『刑事政策大綱Ⅰ・Ⅱ』（成文堂）

## 比較憲法

竹花 光範

本年度も、昨年度と同様、次の順序で講義を行う予定である。

1. 比較憲法学とは

2. 憲法の概念と分類  
3. 国体と元首（共和制と君主制、元首、国のシンボル等）  
4. 統治の原理と構造（民主政治の基本原則、議院内閣制と大統領制、一院制と二院制、社会主義国における議会制度等）  
〔教科書・参考書〕 講義の中で述べる。

## 行政法（各論）

梅木 崇

昨年度の講義（行政法総論）で講じられなかった部分と、警察行政、給付行政について説明する。特に国家賠償法、行政不服審査法、行政事件訴訟法については、豊富に判例をひいて、抽象的理論の具体的理解を可能にしたい。警察（秩序維持作用）法および給付行政法においては、行政法の基礎理論の具体的応用の面を中心にする。その際、行政判例の研究が平行することはいうまでもない。また各種の公務員試験の実例にも言及する予定である。

〔教科書〕 梅木 他著『行政法体系』（啓正社）  
斉藤・梅木著『現代行政法論』（勁草書房）

## 経済法

江上 勲

資本主義が高度化した段階の国民経済は、極度に多様化・分業化した機能を持つ経済主体間の調和は、古典的自由放任主義の経済政策では自動的に達成しがたくなる。経済法は、このような経済社会のなかで基本的に市場経済を維持しながら経済の流れに必要なに応じて国家が介入して全体の調和的發展をはかるための諸種の法から成る。本講座は、かかる経済法の中核をなす独占禁止法の意義を明らかにしたのち、その概要を説明する。講義に当たっては基本的事項の理解に努める。

〔教科書〕 江上 勲『経済法・独占禁止法概論』  
（税務経理協会） ¥3,000（学生割引あり）

## 商法

荒木 正孝

本講義は商法総則および会社法を対象として行うが、とくに現代資本主義社会において我々の経済生活に大きな影響を与えている株式会社制度について、その生成、機能、構造等その私的側面を規制する株式会社法に重点を置き、判例その他の具体例を挙げて解説したい。



〔教科書〕 荒木正孝『商法講義（総則・会社法）』（成文堂）

リエ社，発売元 星雲社）

## 労働法

平岡一實

労働法の全般に亘り、特に基本的な事項を中心に解説を施す。この場合、最近の重要判例等を取り上げて新しい動向等の把握に遺憾なからしめたいと考える。

〔教科書〕 平岡一實『改訂 労働法の基本問題』（八千代出版）

## 比較政治学

福岡政行

比較政治とは、世界のさまざまな国を空間的・時間的に比較し、各国の政治システムを明らかにしてゆくものである。

本年は、まずシステム分析の基本的枠組を理論的に検証したあとで、欧米先進民主主義諸国の比較研究をし、さらに、東南アジアのタイの研究をする。そして最終的には、戦後日本のデモクラシーと欧米のデモクラシーを政党・選挙・行政機構・地方自治を中心に展開・分析し比較してゆきたいと考える。

〔教科書〕 福岡政行他著『政治の体系・文化・社会化』（芦書房） ¥2,000  
（その他追って指示）

## 財政史

坂入長太郎

日本財政史を日本資本主義の発展段階に対応して、財政の政治過程を解説する予定である。

1. 資本主義成立期における財政の政治過程（明治維新—明治23年）
2. 産業資本主義確立期における財政の政治過程（明治23年—大正3年）
3. 独占資本主義期における財政の政治過程（大正3年—昭和6年）
4. 帝国主義下における財政の政治過程（昭和7年—昭和20年）

本講義では財政（予算）の制度、計数のみに重点を置いて解説するのではなく、予算編成、実施の過程における政治とのかかわり合いを、財政政治（社会）学に理論的基礎をおき解説するものであり、隣接科学としては政治学、政治史、日本経済史が本講義に関連することを付記する。

〔教科書〕 坂入長太郎『日本財政史 増訂版』（バ

## 国際関係論

首藤素子

年間の講義を3部に分けてすすめる。

第1部として、20世紀になってから欧米諸国で関心の高まってきた国際関係研究の主要な研究史を概説する。

第2部として、対外政策決定過程の研究枠組を考え、ついで米国、ソ連、中国、日本の外交政策の特徴をとらえたい。

第3部として、現代国際政治における紛争の類型化を試み、東西冷戦、南北問題、社会主義国家間の紛争および第三世界諸国における紛争と軍事化の構造についてとりあげ、暴力と平和の問題に対する関心を深めるようにしたい。

〔教科書〕 細谷千博、白井久和編『国際政治の世界』（有信堂） ¥2,800

〔参考書〕 武者小路公秀『国際政治を見る眼』（岩波新書） ¥380

## 国家安全保障論

小堀訓男

国際社会のなかで、一つの国家が存続するにはどのような条件が必要なのか、そして、国家的利益とは一体何をもって利益というのか、等々を中心に考えながら国家安全保障の原理と理念を究明する。

〔教科書〕 小堀・志鳥共著『国家安全保障の研究』（高文堂出版） ¥1,200

## 宣伝広告論

上條末夫

政治宣伝と政治的コミュニケーションの問題を主として取り上げる。政治宣伝の理論、歴史、そして実際について、具体例によって説明する。現代は宣伝の時代ともいわれ、政治も宣伝やコミュニケーションがきわめて重要な役割をもっている。主権者としての国民は、これにどう対応していくべきか、あるいは社会人として、社会および個人の関係をどう調整していくべきか、という問題を解明していきたい。

〔参考書〕 その都度指示する。

## 地方自治法

梅 木 崇

憲法および行政法との関連を重視しながら、地方自治法における主要な制度を解説する。また、地方自治の運営について、行政の実態と裁判所の判例をとりあげ、その理解を深める。本講の目的は、地方自治法そのものを理解させることよりも、地方自治行政という行政の具体化過程を通じて、わが国における行政権の行使に関する基礎的なものの考えかたを学ぶとともに、統治の機構について、比較的詳細に考察する点にある。その際、諸種の公務員試験の問題についても説明するよう努める。

〔教科書・参考書〕 開講にあたって指示する。

## 出入国管理論

川 原 謙 一

先年法学部を優秀な成績で卒業した女子学生が「先生の講義を聞くようになってから新聞がよく読めるようになった」と言ったがこと程左様に最近出入国管理に関する問題が新聞をにぎわしている。特に1951年難民の地位に関する条約を批准して出入国管理令が基本的に改正され出入国管理難民認定法となってから難民問題も国内法上の問題となってから国際観光時代は躍進した観がある。

## 時事英語

山 下 高 明

生きた英語の宝庫である英文新聞・雑誌は流動する内情勢を把握するための絶好の手がかりを提供するものである。英文紙を読解できるようになることは新しい21世紀に要求される国際人にとり欠くことのできない条件である。

本講では最新の内外英文新聞・雑誌の記事・論評を資料として時事英語に特有の語法やスタイルを解明し、あわせて重要なニュースの意義と背景についても解説をくわえる。

〔教科書・参考書〕 講義時に指示する。

## 東洋政治史

山 田 辰 雄

アヘン戦争より中華人民共和国の成立にいたる中国政治史を講義する。

〔参考書〕 参考書は講義時間中に紹介する。

## 西洋政治史

浦 田 早 苗

「西欧の近代化はいかにしてなされたのか」という視点から18～20世紀初頭にかけてのイギリス、フランスを中心に考察する。イギリス議会政治の発展、変遷過程、フランス市民政治の成立、変遷過程は特に関心をもってながめていきたい。

〔教科書・参考書〕 開講後、追って指示する。

## 演 習

浦 田 早 苗

西欧の近代化過程を歴史上の諸事件を通し考察していく。各自ないし、2・3人のグループでテーマを追求し発表を行うが、その進め方等についてはできるだけゼミ生諸君の希望にそっていきたい。

# 付 録

研 究 所 案 内  
国 家 試 験 に つ い て

# 研 究 所 案 内

## 法 学 研 究 所

本学には大学直属の研究機関として幾つかの研究所があるが、法学部学生諸君に関係するものとして「法学研究所」を紹介しておきたい。

昭和47年4月に設立された法学研究所は、現在、(1)研究部、(2)研修部、(3)法律相談部の三部から構成されている。研修部は、国家試験等の特別受験指導を目的とするが、(4)司法試験コースと(5)公務員試験コースとに分かれている。両コースとも、本学専任教員に加えて、受験指導に経験豊かな外来講師ならびに司法修習生その他の国家試験合格者が指導に当たっており、原則として月曜日から金曜日にかけて継続的に特別指導講義を行っている。また、必要に応じて模擬試験も行っている。

研修部会員になるためには、毎年、7月中旬に行う

入所試験に合格しなければならない。ただし、主として5月中旬から7月まで行う一年生を対象とする入門コースについては、入所試験を行わない。受験資格を有するのは、本学学生および卒業生である。入所試験は、基礎的事項について行われ、(4)司法試験コースでは、憲法、民法、刑法の三科目について択一試験を行い、(5)公務員試験コースでは、一般教養および専門について択一試験を行っている（ただし、試験の日時、試験科目等については、年度により変更があるので、掲示等に注意すること）。

国家試験等の受験を志望する学生は、法学研究所の研修部を利用することが合格への近道である。法学研究所の事務局は、6号館（体育館）2階の西側にあるから、詳細については、そこに問い合わせていただきたい。

## マス・コミュニケーション研究所

### 1. 本研究所の主旨

本研究所の学生指導の主旨は現代の情報・社会を的確に把握し、将来、新聞・テレビ・出版・広告などのマス・コミ界をめざす諸君を育成することである。

同時に、本研究所での学習は、商事・貿易などの一般優良企業や公務員、教員などを希望する諸君にも大いに役立つと思われる。本研究所で学んだ多くの先輩はすでに中部読売新聞や朝日新聞、福島民報、サンケイスポーツ、東映、電通、J.W.トンプソンをはじめ地方公務員上級職・高校教員・大東京火災・日本火災・野村証券・本田技研・フジタ工業・佐藤工業・カシオ・サントリー・東洋コンタクト・フォーライフレコード・キティレコードなどあらゆる分野の第一線で活躍している。

本研究所の授業・各コースは、学部の授業（単位）とは全く別個なもので自主的な学習意思があれば原則としてだれでも自由に学ぶことができる学習の場である。

駒沢での4年間、あるいは2年間を充実したものにす

るために、また自分の適性を広げようとする多くの諸君のできるだけ早い来訪を待っている。

くわしくは体育館2館の本研究所事務局まで。

### 2. 開 講 科 目

（下記の講座の中から1年間に2～4科目を履修する。また授業は原則として5時限・6時限に行うので学部の授業とは重ならないように配慮してある。）

マス・コミュニケーション論・国際比較マス・コミュニケーション論・文章表現論・情報システム論・マスメディア産業論・時事問題研究・校閲技術論・国際マーケティング論・演習・時事英語など、またそのほか、時に応じて、特別講義・講演などを開講している。（いずれも学内外教員、もしくは現役の新聞論説委員、記者、等によって担当される）開講科目、内容については体育館2階の本研究所事務局まで。

# 国家試験について

## 〔1〕司法試験について（司法試験法）

昭和24年5月31日法律第140号  
改正 昭27, 昭28, 昭33, 昭52, 昭56, 昭58

1. (目的) 司法試験は、裁判官、検察官又は弁護士となろうとする者に必要な学識及びその応用能力を有するかどうかを判定することを目的とする国家試験である。
2. (司法試験の種類) 司法試験は、第1次試験及び第2次試験に分けられる。
3. (第1次試験及びその免除について) 第1次試験は、第2次試験を受けるのに相当な教養と一般学力を有するかどうかを判定することをその目的として行われるものであるから、本学において、学士の称号を得るために必要な一般教養科目（一般教養科目の人文・社会・自然の各分野にわたり、合計36単位以上及び第1外国語8単位、第2外国語4単位、計12単位以上）の履修を終った者については、免除される。
4. (第2次試験) 第2次試験は、第1次試験の合格者又は免除された者について、裁判官、検察官又は弁護士になろうとする者に必要な学識及びその応用能力を有するかどうかを判定することを目的として行われるもので、短答式及び論文式による筆記並びに口述の方法によって、次の通り実施される。

### (1) 試験科目等

- a. 短答式による試験は、憲法・民法・刑法の3科目について行なわれる。
- b. 論文式による試験は、短答式による試験に合格した者について、次の7科目について行なわれる。
  - α 憲法、民法、商法、刑法、民事訴訟法又は刑事訴訟法の5科目。
  - イ 民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法、破産法、労働法、国際公法、国際私法、刑事政策のうち選択1科目。なお、αにおいて民事訴訟法及び刑事訴訟法を選択しなかった場合に限り、民事訴訟法及び刑事訴訟法は選択することができる。
  - ウ 政治学、経済原論、財政学、会計学、心理学、経済政策、社会政策のうち選択1科目。
- c. 口述試験は、筆記試験に合格した者につき、そ

の者の論文式試験において受験した7科目について行なわれる。

- (2) 第2次試験は、いずれも知識を有するかどうかの判定に偏することなく、その理解力、推理力等についても判定される。
- (3) 筆記試験（短答式及び論文式試験）に合格した者については、その申請により、次回の筆記試験が免除される。
5. (司法試験の施行) 司法試験は、毎年1回以上実施され、その期日及び場所はあらかじめ官報をもって公告される。
6. (合格者の決定方法等) 司法試験の合格者は、司法試験審査委員の合議によって定められ、合格者には、合格証書が授与される。
7. (受験手数料) 第1次試験2,000円、第2次試験4,000円

なお、受付期間、申込方法、採用人員等については、東京都千代田区霞ヶ関1の1法務省司法試験管理委員会に照会すること。以上は、司法試験要項から抜萃したものであるが、今後改正されることもあるので、受験志望者は、官報その他をよく注意してみるように心掛けること。

## 〔2〕国家公務員採用I種試験について

1. 国家公務員採用I種試験とは、従来の国家公務員採用上級試験の甲種の名称が変更されたもので、各省庁の上級係員又は試験研究機関の研究員として事務、技術又は研究の業務に従事する。
2. 受験資格  
学歴・性別などによる制限はなく、試験が行われる年度の4月1日における年齢が21歳以上33歳未満の者。
3. 試験方法  
第1次試験
  - a. 教養試験（多肢選択式）—公務員として必要な一般的知識および知能についての筆記試験。
  - b. 専門試験（多肢選択式）—下記の各区分に応じて必要な専門的知識・技術などの能力についての筆記試験。第2次試験
  - a. 専門試験（記述式）—第1次試験と同じ。
  - b. 総合試験（記述式）—総合的な判断力、思考力などの能力についての筆記試験。

c. 人物試験一人柄などについての個別面接。

#### 4. 試験期間

第1次試験7月上旬, 第2次試験が8月上旬, 最終合格者の発表は10月上旬。

なお, 試験の詳細については人事院任用局試験課(581-5311)または人事院の各地方事務局に照会するように。

#### <区分>

行政, 法律, 経済, 心理, 教育, 社会, 数学, 物理, 地質, 情報工学, 電気, 電子, 機械, 土木, 建築, 化学, 金属, 資源工学, 農業, 薬学, 農業経済, 農業化学, 農業工学, 畜産, 林学, 水産, 砂防, 造園。

### 〔3〕国家公務員採用Ⅱ種試験について

1. 国家公務員採用Ⅱ種試験とは, 上級乙種試験と中級試験を統合して「将来の行政の第一線を担い得るような有能な人材を確保するため, 大学卒業程度の能力を有する者の採用を充実していくことを目的」とした試験で, 各省庁の中級係員として事務・技術又は研究業務などに従事する。

#### 2. 受験資格

学歴・性別などによる制限はなく, 試験が行われる年度の4月1日における年齢が21歳以上29歳未満の者。

#### 3. 試験方法

##### 第1次試験

- 教養試験(多枝選択式)一公務員として必要な一般知識および知能についての筆記試験。
- 専門試験(多枝選択式)一下記の区分に応じて必要な専門的知識, 技術などの能力についての筆記試験。
- 専門試験(記述式)一bと同じ。

##### 第2次試験

- 人物試験一人柄などについての個別面接。

#### 4. 試験期間

第1次試験7月下旬, 第2次試験が9月上旬, 最終合格者の発表は11月上旬。

なお, 試験の詳細については, 人事院任用局試験課(581-5311)または人事院の各地方事務局に照会するように。

#### <区分>

行政, 図書館学, 物理, 電気・電子, 機械, 土木, 建築, 化学, 資源工学, 農学, 農業土木, 林学。

### 〔4〕裁判所職員(裁判所事務官)採用Ⅰ種試験について

1. 裁判所の機構は大別すると裁判部門と司法行政部門に分けられますが, 各裁判所の司法行政部門において, 裁判部門が行う裁判権の行使に必要な人的・物的機構を供給し, 事務の合理的・効率的な運用を図る等のいわばハウスキーピング的な事務を主として行う国家公務員を裁判所事務官といい, これらの人を採用する試験が, 裁判所事務官採用試験である。

#### 2. 受験資格

学歴・性別などによる制限はなく, 受験する年度の4月1日現在, 21歳から26歳までの者。

#### 3. 試験方法

##### 第1次試験

- 教養試験(択一式)一一般的知識及び能力についての筆記試験
- 専門試験A(択一式)一憲法・民法・刑法の専門的知識及び能力についての筆記試験。
- 専門試験B(択一式)一憲法・民法・刑法及び民事訴訟法又は刑事訴訟法の専門的知識及び能力についての筆記試験。

##### 第2次試験

- 専門試験(論文式)一一次試験と同じ4科目の専門的知識および理論の応用能力についての筆記試験。
- 教養試験(論文式)一課題に対する識見, 判断力及び理解力についての筆記試験。
- 口述試験一主として人物及び専門的素養について面接による試験。

#### 4. 試験期間

第1次試験は7月中旬, 第2次試験は8月中旬, 口述試験は8月下旬から9月中旬にかけ指定する日に行われる。最終合格者の発表は10月上旬。

なお, 試験の詳細については, 最高裁判所事務総局人事局任用課試験係(264-8111)へ照会するように。

### 〔5〕裁判所職員(裁判所事務官)採用Ⅱ種試験について

- Ⅰ種試験とはほぼ同じ方法で実施されるが, 問題数, 出題分野などはⅠ種試験に比べて少なくなる。
- 受験資格  
Ⅰ種試験と同じ。
- 試験方法

第1次試験

- a. 教養試験（択一式）－I種試験と同じ。
- b. 専門試験A（択一式）－I種試験と同じ。

第2次試験

- a. 教養試験（論文式）－I種試験と同じ。
- b. 専門試験（論文式）－憲法についての専門的知識および理論の応用能力についての筆記試験。
- c. 口述試験－I種試験と同じ。

4. 試験期間

試験日程はI種と同じ。合格発表は10月中旬。

なお、試験の詳細については、最高裁判所事務総局人事局任用課試験係（264-8111）へ照会するように。





## 教職および資格講座

教 職 課 程  
学校図書館司書教諭講座  
博物館学講座  
社会福祉主事講座  
社会教育主事講座

※上記の教職および資格講座授業科目の講義内容が掲載されているが、各学部において受講出来る課程および講座は以下のとおりである。（履修についての詳細は「教職課程・資格講座の履修要項」を参照）

課程・講座名	資格取得学部
教 職 課 程	全学部
学校図書館司書教諭講座	全学部
博物館学講座	文学部・仏教学部
社会福祉主事講座	全学部（59年度入学生より適用）
社会教育主事講座	文学部・経済学部・法学部・経営学部



## 目

## 次

教育原理(磯野 昌蔵)……………	1	政治学原論(上野 末夫)……………	7
教育原理(上岡 安彦)……………	1	民法 I (山崎 敏彦)……………	7
教育原理(村山 輝吉)……………	1	哲学特講 I (東洋)(篠原 壽雄)……………	7
教育原理(坂本 信昭)……………	1	哲学特講 II (西洋)(國嶋 一則)……………	7
教育原理(北村 三子)……………	1	宗教学特講 I (松田 文雄)……………	7
青年心理学(大浜 幾久子)……………	1	宗教学特講 II (脇本 平也)……………	8
青年心理学(藤崎 春代)……………	1	宗教学特講 III (洗 建)……………	8
青年心理学(牟田 悦子)……………	1	教育史(磯野 昌蔵)……………	8
青年心理学(渡辺 三和子)……………	2	宗教教育(櫻井 秀雄)……………	8
教育心理学(大浜 幾久子)……………	2	教育関係法規(船木 正文)……………	8
教育心理学(藤崎 春代)……………	2	図書館学 I (山崎 慶子)……………	8
教育心理学(中村 均)……………	2	図書館学 II (源 昌久)……………	8
教育心理学(荻野 美佐子)……………	2	博物館学 I (倉田 芳郎)……………	8
教育心理学(渡辺 三和子)……………	2	博物館学 II (熊野 正也)……………	9
道德教育の研究(坂本 信昭)……………	2	博物館実習 I (館務)(倉田芳郎・清水潤三)…	9
教育実習(磯野 昌蔵)……………	2	博物館実習 II (収集)(倉田芳郎・所理喜夫 葉貴磨哉・太田喜美子)…	9
教育実習(上岡 安彦)……………	2	博物館実習 III (見学) (倉田芳郎・太田喜美子)…	9
教育実習(村山 輝吉)……………	3	博物館実習 IV (特講)(58年度以前入学生適用) (熊野 正也)……………	9
教育実習(坂本 信昭)……………	3	視聴覚教育(赤堀 正宣)……………	9
教育実習(北村 三子)……………	3	日本文化史 II (圭室 文雄)……………	9
国語科教育法(神谷 道倫)……………	3	印度仏教文化史(奈良 康明)……………	9
書道科教育法(谷村 義雄)……………	3	西洋文化史 I (榎川 一朗)……………	10
宗教科教育法(松本 皓一)……………	3	西洋文化史 II (三小田 敏雄)……………	10
英語科教育法(大沢 一雄)……………	4	仏教美術(林 良一)……………	10
社会科教育法(地理)(高木 久)……………	4	現代美術(宮崎 克己)……………	10
社会科教育法(地理)(前期)(長野 覚) (後期)(中島義一)…	4	禅美術(竹内 尚次)……………	10
社会科教育法(歴史)(野呂 肖生)……………	4	美術史概説(林 良一)……………	10
社会科教育法(谷敷 正光)……………	4	西域美術史(林 良一)……………	10
社会科教育法(長谷部 八朗)……………	4	考古学概説 I (日本)(倉田 芳郎)……………	11
社会科教育法(大久保 治男)……………	5	考古学概説 II (外国)(量 博満)……………	11
職業科教育法(佐藤 規子)……………	5	考古学特講 I (高浜 秀)……………	11
商業科教育法(谷敷 正光)……………	5	考古学特講 III (川又 正智)……………	11
商業実習(前田 幸一)……………	5	日本民俗学(山折 哲雄)……………	11
職業指導(山田 勇治)……………	6	仏教民俗学(和田 謙寿)……………	11
産業概説(前田 幸一)……………	6	宗教人類学(佐々木 宏幹)……………	11
世界史概説(中村 道雄)……………	6	考古発掘実習(寺社下 博)……………	11
世界史概説(渡辺 惇)……………	6	社会福祉概論(岡田 真)……………	12
日本史概説(芥川 龍男)……………	6	障害福祉論(原田 信一)……………	12
日本史概説(波田野 富信)……………	6	社会福祉実習 I (岡田 真)……………	12
地誌学概説(今朝洞 重美)……………	6	社会福祉法制(小林 弘人)……………	12
地誌学概説(長野 覚)……………	6	公的扶助論(近藤 功)……………	12
地誌学概説(渡辺 盾夫)……………	6	児童福祉論(原田 信一)……………	13
自然地理学概説(早船 元峰)……………	7	老人福祉論(奥山 正司)……………	13
人文地理学概説(高木 久)……………	7	社会保障概論(藤井 康)……………	13
社会学原論(渡辺 源樹)……………	7		
経済原論(小野 俊夫)……………	7		

地域福祉論 (岡田 真) .....	13
ケースワーク論 (高橋 重宏) .....	13
グループワーク論 (松本 栄二) .....	14
社会福祉事業発達史 (林 千代) .....	14
母子福祉論 (林 千代) .....	14
医療社会事業論 (春見 静子) .....	14
社会福祉方法総論 (高橋 重宏) .....	14
社会福祉管理運営論 (重田 信一) .....	14
リハビリテーション論 (原田 信一) .....	15
社会教育概論 (磯野 昌蔵) .....	15
社会教育方法論 (村山 輝吉) .....	15
社会教育行政財政 (酒匂 一雄) .....	15
教育社会学 (熊谷 一乗) .....	15
社会心理学 (坪井 健) .....	15
社会教育施設 (村山 輝吉) .....	15
児童文化 (冨田 博之) .....	16
青少年問題研究 (和田 謙寿) .....	16
青少年指導演習 (和田 謙寿) .....	16
社会教育演習 (上岡 安彦) .....	16
教育評価 (大浜 幾久子) .....	16
成人指導及青少年指導 (酒匂 一雄) .....	16
生活指導 (秋山 達子) .....	17
教育哲学 (汐見 稔幸) .....	17
教育調査 (大塚 雄作) .....	17
教育学特講 (熊谷 一乗) .....	17
政治学原論 (福岡 政行) .....	17

## 教育原理

磯野昌蔵

教育とは何か  
中等教育の歴史と問題  
学校教育の役割

10. 障害児とともに
  11. 内なる差別を考える
  12. 学びへの出発
- 〔教科書〕 田村皖司他『きょういく』ビジュアルノート（エイデル研究所）¥1,800
- 〔参考書〕 教師養成研究会『教育原理』（学芸図書KK）¥950  
デュ－イ著・宮原誠一訳『学校と社会』（岩波文庫）¥200

## 教育原理

上岡安彦

『エミール』（上・中・下）を年間を通して読みます。次にそこで、でてくる問題について日本の現象を例として教育的に考察します。

そして最後に原典に直接触れ、ルソーの音楽の音色を身体で感じることにします。

〔教科書〕 『エミール』〔上・中・下〕（岩波文庫）  
上 ¥550, 中 ¥450, 下 ¥450

〔参考書〕 『教育の原理』〔Ⅰ・Ⅱ〕（東大出版会）  
Ⅰ ¥1,500, Ⅱ ¥1,500

## 教育原理

北村三子

人間社会・人間文化の営み全体の中で教育のありようを問い直してゆくことを目指して、教育の制度・形態・内容・方法をめぐる諸問題や、それらを規定している社会的・歴史的諸問題を考察してゆく。

- 〔参考書〕 堀尾輝久・松原治郎・寺崎昌男編『教育の原理Ⅰ人間と社会への問い』  
稲垣忠彦・柴田義松・吉田章宏編『教育の原理Ⅱ教師の仕事』（東大出版会）  
1985年 Ⅰ・Ⅱとも¥1,500

## 教育原理

村山輝吉

主として下村湖人の著作などを手がかりとして、人間の発達と教育、文化、社会の関わりを軸とする「教育」の原理的考察をおこない、あわせて教育の制度、形態、内容、方法のもつ意味と問題を社会的歴史的な視座からアプローチしてみたい。

〔参考書〕 『下村湖人全集』全10巻（国土社）  
『教育の原理Ⅰ, Ⅱ』（東大出版会）

## 青年心理学

大浜幾久子

まず青年期に限らず一般に、人間の発達とは何か、について考察する。その上で青年期の様々な問題を取りあげ、それらに対する心理学的な分析の方法と最近の研究を紹介、解説していく。また性格テストなどの実習も行う。

## 教育原理

坂本信昭

下記のテーマを「問題」としてとりあげ、ともに考えていきます。

1. いま教育のめざすもの
2. ひとの適応・成長・発達
3. 家庭の役割・地域の働き
4. 人格をはぐくむ
5. 学校への期待
6. よりよい授業に向けて
7. 学習をふかめる
8. 教師を育てる
9. 教育制度をみなおす

## 青年心理学

藤崎春代

開講時に指示する。

## 青年心理学

牟田悦子

人間の発達の中で青年期がどのような意味をもつかを考えながら、青年期の様々な特徴を見ていく。また、現在の学校教育の中で問題になっている様々な事象に対して、各自が考え、自分なりの判断力をもつこともこの授

業のねらいとしたい。

## 青年心理学

渡辺 三和子

大人でも子どもでもない中間的な存在の青年期は、人間の成長のなかで最も激動する時であり、それだけに中高校生を理解するのは難しくまたおもしろい。おもにこの時期の精神的な病理現象をとりあげ、そこから現代の中学校・高校教育のおかれている状況と問題点について考えていきたい。

〔参考書〕 笠原 嘉『青年期』（中公新書）

## 教育心理学

大浜 幾久子

前半では、発達心理学・学習心理学・人格心理学など現代心理学の諸分野の基礎理論のうち、教育にかかわるものを解説する。後半では、学校教育を中心に、教育の現場の様々な問題をとりあげ、教育心理学的な考え方と、それに関連した最近の心理学研究を紹介、解説していく。また知能テストなどの実習も行う。

## 教育心理学

藤崎 春代

開講時に指示する。

## 教育心理学

中村 均

1. 発達  
子どもはどのように大人になるか。子どもは大人とどう違うか。
2. 学習  
どのような仕組で学習は起こるのか。学習を促進させるにはどうしたらよいのか。
3. 知能・学力・創造性
4. 人格  
一人一人の違いはどうとらえればよいのか。
5. 学級集団  
学級集団はどのような役割を果たすのか。
6. 教育評価

## 教育心理学

荻野 美佐子

教育の場がかかえている問題をきちんと捉え直すことから出発し、問題を解決するために自分で考える態度を形成したい。また、現象を多角的に科学的に見ることができるよう基本的な知識の整理をする。具体的には、子どもの発達、教授＝学習、評価及び教師と生徒のかかわりの問題を主に扱う。

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 教育心理学

渡辺 三和子

学ぶことと成長すること、学習活動とは何か、生徒を理解する方法、さまざまな授業の型、集団としての学級、学習の評価等基本的な教育心理学の考え方を学ぶ。また教育の荒廃が語られる昨今、今日の学校教育の問題点を探り、教師としてめざすべき方向について考える。

## 道徳教育の研究

坂本 信昭

開講時に指示する。

## 教育実習

磯野 昌蔵

### 実習前の指導

教育実習についての諸注意

学習指導のための準備

### 実習期間中の指導

### 実習後の指導

グループに分かれ、教育実習の体験をもとにして、学習指導や生活指導の問題を検討する。

## 教育実習

上岡 安彦

### 事前指導

学校の教師としての仕事について講義

学習指導案作成実習

## 訪問指導

実習期間の研究授業参加

## 事後指導

デューイの『学校と社会』によって自分の教育実習の体験を吟味し、日本の教育を考えてみる。

〔教科書〕『中学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局） ¥ 250

『高等学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局） ¥ 300

デューイ『学校と社会』（岩波文庫） ¥ 300

## 教育実習

村山輝吉

教育実習に主体的にとりくみ、教育実践について理解を深めるため、年間を通じて次の事項を取りあげる。

1. 教育実習の意義と心がまえ
2. 学習指導について
3. 生活指導について
4. 学校と教師に関する諸問題

実習校における実習体験をはさんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

## 教育実習

坂本信昭

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容（領域）に関する講義とビデオ教材「教育実習の日々」等を視聴し、教育実習の心得などについての事前準備指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後は、口頭報告、レポート作成・提出、グループ編成による授業（ディスカッション）を行い、教育への理解を深め、望ましい教師像について一緒に考えたと思う。参考書は、下記以外にも授業で適宜紹介する。

〔参考書〕大村はま『教えるということ』（共文社） ¥ 480

『中学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局） ¥ 250

『高等学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局） ¥ 300

田村皖司他『きょうういく』ビジュアルノート（エイデル研究所） ¥ 1,800

## 教育実習

北村三子

教育実習前は、実習に際しての注意や心構えなどを中心とする事前指導を行ない、実習後は、現場での体験を相互に交換し、深め合いつつ、学校教育の諸問題や教師の課題などについて考え合う。

## 国語科教育法

神谷道倫

前期は中学校・高等学校の国語科教育の意義・目標・内容、あるいは教材に即したそれぞれの指導方法等について講義、後期は実際の教材にあたって、基礎学力を点検するとともに、教材研究のあり方・指導事項・方法等主に模擬授業の形態で具体的に研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

〔教科書〕『中学校・高等学校 国語科教育法（新編）』（桜楓社） ¥ 1,200

## 書道科教育法

谷村義雄

文字を書くことは誰でもできることで決してむづかしいことではない。しかし、書は中国においては四千年の歴史があり、日本においても千数百年の歴史がある。この間にいろいろな書体が出来、そしていろいろな書法が生れた。書の芸術は悠遠の歴史の中で開花したもので、現在もまた現在の書が生れつつある。書を単なる文字記号と考える浅薄な思想に対して、書のもつ思想性、民族性を十分に理解して、書とは何かを改めて問いたずら授業にしたいと思う。教育法はどう教えるかではなく、なにを教えるべきかを探求する内容にしたい。

〔参考書〕学習指導要領解説『芸術科』

## 宗教科教育法

松本皓一

宗教科教授法としての理論と実践上留意すべき諸問題を述べる。

〔教科書〕特に指定せず。但し、講義中に教材として指定するものあり。

## 英語科教育法

大 沢 一 雄

多くの学者によって唱えられてきたいろいろな外国語教育法を検討し、わが国の英語教育において、どのような教授法を用いたらよいか、発音、語彙(い)、文法等の指導はどのようにしたらよいか、などを考える。講義は、ノートとプリントによっておこなう。

## 社会科教育法(地理)

高 木 久

1. 教師としての在り方
2. 地理学方法論の確認
3. 地理教育について
4. 新学習指導要領の内容
5. 地図指導
6. 教育実習の意義
7. 学習指導案の研究
8. 模擬授業

前期において講義を中心とし、後期においては教室での演習を専一とし、その批判・反省を行なって行く。

## 社会科教育法(地理)

(前期)長野 寛  
(後期)中島 義一

中学校・高等学校の社会科(地理)につき、指導計画、指導案の立て方、教材研究、修学旅行の指導法等につき講義し、続いて学生諸君が交代で壇に立って、中学校の教科書(これについては授業時に指示)を使用したの授業演習を行う。なお出席を重視する。

〔教科書〕 山崎謹哉『新訂地理教育の本質と実践』  
(古今書院)

〔参考書〕 授業時に指示する。

## 社会科教育法(歴史)

野 呂 肖 生

「中・高等学校の現場で社会科の授業をするさいに役立つように」を目標とし、社会科教育(とくに歴史)の理論と実践を学ぶ。とくに個性を重視したい。

## 社会科教育法

谷 敷 正 光

社会科は、民主主義の発展と平和的な国家・社会の形成者の育成をめざす上で、重要な使命を負って誕生した教科であり、日本の将来を担ったと云っても過言ではない教科である。しかし、この社会科教育も、戦後日本資本主義発展とともに大きく変遷し、動揺を続けてきた。

したがって、しっかりと社会科教育を樹立するため、単なる教授方法の技術論ではなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼって充分検討してみたい。その上で、社会科教育の基本原則とその内容・方法の把握につとめ、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。年間の授業計画は次の通りである。

①戦後日本資本主義の発展と教育、②教育の基本概念、③日本資本主義の発展と社会科教育、④社会科教育の基本概念、⑤中学校・高等学校の教育課程と社会科、⑥社会科の学習指導、⑦学習指導案の作成、⑧中学校社会科の目標・内容・取り扱い、⑨高等学校社会科の目標・内容・取り扱い、⑩教育評価、⑪教育実習の意義、⑫模擬授業を通じての社会科授業実践の研究、⑬社会科教師論、⑭教員採用試験の準備と今年度の採用について(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

〔教科書〕 梶 哲夫『中等 社会科教育研究』(1)  
(高陵社)

遠山 啓『競争原理を超えて』(太郎次郎社)

〔参考書〕 矢川徳光『教育とは何か』(新日本出版新書)

無着成恭『山びこ学校』(角川文庫)  
その他、若干のルポ、小説、社会科の教科書、中学校・高等学校学習指導要領も使用する。

〔注 意〕 年間かなりの資料を作成配布するので、必ずファイルを用意すること。また年間、数回校外研修(授業参観)などを行う予定である。視聴覚教室も使用するので、常に教場には注意しておくこと。

## 社会科教育法

長谷部 八 朗

学校教育が混迷の度を極めている今日、社会科に寄せられる期待はとりわけ大きいといえよう。それは社会科が、生徒の人格形成の枢軸をにない、主体的な社会認識や態度を習得させるところに本来の意義を有しているからに他なるまい。本講義では、この点を踏まえつつ、社会科および社会科教師の果たすべき役割について論じ合っ



ていきたい。具体的な進め方として、前期でわが国の社会科教育の歴史の変遷を鳥瞰的につかみ、後期で教材研究、学習指導、教育評価などの諸テーマを掘り下げて考究する予定である。

なお、受講者の講義参加意識を高めるため、できれば小論文や口答発表を実施する機会も持ちたい。

## 社会科教育法

大久保 治 男

現下山積する教育上の諸問題を意識しつつ、社会科の教科教育法のより効果的実践方法を探究する。学校教育における高校の「政治・経済」「現代社会」中学の「公民」など社会科系列の検定教科書や学習指導要領を分析しつつ社会科教育法の日標、構成、内容等について考究する。さらに具体的に指導計画、指導案、指導方法、教材研究、教育評価については、受講生をグループ別に模擬教育実習を通じて実践させることで合目的教育方法を発見させるよう努める。OHP、スライド、8ミリ、ビデオ等視聴覚教育器機も使用しつつ一方的講義でなく受講生にも積極的に学習参加させ、将来の教師としての自覚や意欲を持たせ楽しい講義となるよう配慮する。

〔教科書〕 その都度指示する。

〔参考書〕 『学習指導要領』（中学・高校の社会）各自が使用した社会関係の教科書。

## 職業科教育法

佐藤 規 子

職業教育は、教職を志す者に必要であるばかりでなく職業人として社会で貢献するうえでも重要である。本講座では、教職を志す者にすぐ役立つように、前期は職業教育の基礎知識を体系的に講述し、後期は職業教育をテーマに話し合いながら、指導の実践までを取扱う。

（前期） 一基礎編（教材研究を中心）一

- ①職業教育の意義及び重要性
- ②新しい職業教育
- ③職業教育の基礎知識・技能

（後期） 一応用編（指導実践を中心）一

- ①職業科目から指導案を作成し、模擬授業
- ②教育上の問題について研究発表

## 商業科教育法

谷 敷 正 光

「職業教育」（産業教育）の一つである商業教育は、日本の資本主義をささえる重要な一環としてつねに重視

され、産業構造の高度化、経営革新にともなうめまぐるしく変遷してきた。そして、高度成長期の高校教育の「多様化」政策の破綻にともなう、商業教育は大きく軌道修正されさらに、先端産業化時代をむかえ、再び修正されようとしている。従って、本講は「職業教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりとした商業教育を樹立するため、この「教科法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論、職業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。年間の授業計画は次の通りである。

①日本資本主義発展と教育・職業教育、②教育の基本概念、③職業教育、商業教育の概念、④高等学校における商業教育の現状と課題、⑤高等学校の教育課程、⑥商業科の教育課程、⑦商業科の学習指導、⑧学習指導案の作成、⑨商業教科・科目の個別目標・内容・取り扱い、⑩教育評価、⑪教育実習の意義、⑫模擬授業を通じての商業科授業実践の研究、⑬商業科教師論、⑭教員採用試験の準備と今年度の採用試験について（教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。）

〔教科書〕 田中義雄『商業科教育論』（多賀出版）  
矢川徳光『教育とは何か』（新日本新書）

〔参考書〕 竹内 宏『日本の学歴社会は変わる』（有斐閣）

田代三良『高校生』（岩波新書）  
神田 修『学校からみた教育政策』（有斐閣）

その他、商業の教科書、高等学校学習指導要領、新聞の切り抜き、雑誌、ルポ、小説なども使用する。

〔注 意〕 年間かなりの資料を作成配布するので、必ずファイルを用意すること。また年間、数回校外研修（授業参観）などを行う予定である。

## 商業実習

前 田 幸 一

商品取引における事務手続きについて勉強をしていく。

## 職業指導

山田 勇治

学校における進路指導とは、中学・高校の卒業時における就職や進学の一環たる斡旋指導ではなく、個々の生徒の発達段階に応じて、その能力・適性等を伸長し、生徒自ら望ましい進路を選択・決定させ、その後の職業生活において自己実現できるように指導し、援助する活動をいう。ところが現状では、学力などによる振り分けが横行し、本来あるべき進路指導には程遠い。

そこで、こういった学校進路指導の現状を文部省の実施した実態調査などによって明らかにしてみたい。

また、将来職業につくための準備教育、つまり職業教育についても講述する予定である。

〔教科書〕 山田勇治著『会計教育論』（創成社）  
¥1,300

〔参考書〕 近藤大生・有本 章編著『職業と教育—職業指導論—』（福村出版） ¥1,500

## 産業概説

前田 幸一

日本の主要な諸産業を順次とりあげ、各産業についてその特性と歴史、現状と問題点を勉強していく。

〔教科書〕 宮沢健一・竹内 宏編『日本産業教室』（有斐閣） ¥1,400

〔参考書〕 日本興業銀行産業調査部編『日本産業読本』（東洋経済新報社） ¥1,800

## 世界史概説

中村 道雄

主にヨーロッパおよびアメリカ世界の歴史を概説する。参考書にはこの外高校時代の世界史教科書も利用される。

〔教科書〕 衣笠・田村・中村・廣實『概説西洋史』（東京創元社）

〔参考書〕 帝国書院編集部編『評密世界史地図』（十二訂版）（帝国書院）

## 世界史概説

渡辺 惇

アジアの歴史を地域的に東アジア、東南アジア、南アジア（インド）、西アジア、内陸アジアに分け、それぞれの歴史的世界の風土、歴史展開の特色等について講義する。

〔教科書〕 特に定めず、プリント・資料を配布する。

## 日本史概説

芥川 龍男

中世に焦点をおいて講義する。講義の中で参考文献などを紹介するが、積極的に読破して欲しい。評価はレポートおよびテストなどを総合的に見て評価する。

教科書・参考書はとくに指定しない。開講時に詳細な注意事項を話します。

## 日本史概説

波田野 富信

時間数の関係から、日本史全般を各分野にわたって講ずることは不可能に近いから、日本の歴史の流れの中からそれぞれ重要事項をとりあげて理解してもらおう。従って各々がそれぞれに前もって予習をしてきて欲しい。

〔参考書〕 『新稿 日本史概論』（吉川川弘文館）  
¥1,500

## 地誌学概説

今朝洞 重美

地誌学の本質論を説明しつつ、日本地誌と外国地誌を講義する。

## 地誌学概説

長野 覚

世界的視野において地理学の発達・概念を理解したのち、現代世界の地域特色を、自然環境やそれと関連性をもつ人文現象について考察する。

後期には幾つかの国を対象に、その国の地誌を学習する。受講にさいしては、できるだけ地図帳を併用してほしい。

〔教科書〕 藤岡謙二郎共著『世界地誌』（改訂版）（大明堂）

## 地誌学概説

渡邊 盾夫

読図の方法を理解したのちに、各国の地誌について日本地誌と比較しながら講義する。受講希望者は地図帳を持参して下さい。

## 自然地理学概説

早 船 元 峰

人間生活の舞台である大地の形成過程について講じ、人間と自然とのかかわりあいについて論じる。

さらに受講生に2.5万分の1、5万分の1の地形図を用意(10枚程度)させ、それらをもとに種々なる作業(土地利用図・切峰面図・帯状平行投影地形断面図等を作成)をさせてより一層の理解を深めさせる。トレース紙・方眼紙・色鉛筆・黒インク等各人用意すること。

## 人文地理学概説

高 木 久

地理学の思想・歴史を述べ、歴史地理学の立場から人文地理学の方法論を考察する。

「地理的な見方、考え方」の基礎の上に立って、人文地理学の各部門(地図、自然、人文関係)について概説し、人文地理学の理解と関心を深める。

## 社会学原論

渡 辺 源 樹

何よりも社会学は現実科学であるという視点をふまえ、つとめて人間の存在・行動の問題と関らしめながら、集団論・組織論などを中心として基礎理論にぞくする諸問題を講述するとともに、現代社会学の課題とその主要問題を体系的かつ具体的に講述する。

## 経済学原論

小 野 俊 夫

いわゆる近代経済学の立場から、近年の学問的成果をも考慮し、現代経済学の基本を解説し、複雑な現代経済を理解しうる力を養うことを目指す。

〔教科書〕 開講の際に指示する。

## 政治学原論

上 條 末 夫

開講時に指示する。

## 民法 I

山 崎 敏 彦

われわれの日常生活を規律する民法のうち、総則・物権法を扱う。その際、できるだけ多くの裁判例を示すことによって、よりよく理解していただけるよう努めたい。

聴講にあたっては、教科書のほか、小型のものでよから「六法」を持参されたい。

〔教科書〕 我妻=有泉『民法I』(一粒社)

## 哲学特講 I (東洋)

篠 原 壽 雄

中国の哲学・東洋思想を理解しようとする、儒教・仏教、そして道教の学習は欠かせない。そこで前期は老荘の学と道教を学びたい。後期には墨子の非命、非儒などの精神が韓非子にいかにか受容されたかなどを中心に、先秦の人びとの心にあるものを探りたい。ついで荘子を学び、併せて中国禅思想を考究したい。

〔教科書〕 『荘子』第一冊 (岩波文庫)

## 哲学特講 II (西洋)

國 嶋 一 則

人間は、何かを頼りとし支えとしなければ生きてゆけない。しかし日常、われわれは自己の人生の頼りとなり支えとなるものを自覚していない。それを自覚することは、自分がどのような生き方をしているのかを知ることである。つまり主義に拠り主張をもって生きることである。

歴史上の大きな主義を検討することによって、現代世界の有力な主義を明確にし、自己の持つべき主義を選択する手掛りとしたい。

〔参考書〕 その都度示す。

## 宗教学特講 I

松 田 文 雄

——宗教思想および用語の概説——、特に教職単位であることを考慮し、宗教思想の潮流、および宗教思想史上の基本的用語を概説する。今年度は日本仏教を取り上げる。

〔参考書〕 随時指示する。

## 宗教学特講Ⅱ

脇 本 平 也

—宗教現象の構造—宗教現象は、その内部にさまざまな構成要素をはらんだ複合的な体系をなしている。たとえば、宗教体験、思想・教義、儀礼、教団などの諸契機が構造的に関連しながらこれを形成している。そうした構造の分析と類型化を試みる。

〔教科書〕 脇本平也『宗教を語る—入門宗教学—』  
(日新出版)

## 宗教学特講Ⅲ

洗 建

現代社会における宗教の問題、とりわけ政教関係の問題をとりあげる。国家と宗教の関係を規定する法制度とその価値規範、更に底流をなす宗教文化との関係などについて考察する。

〔参考書〕 適時指示する。

## 教育史

磯 野 昌 蔵

わが国における青年期教育の発達を検討する。

## 宗教教育

櫻 井 秀 雄

宗教教育の原理を究明し、できるだけ実証的な調査資料によって宗教意識をさぐり、これに対する具体的方法について考察し、家庭・学校・社会教育のそれぞれにおける宗教教育の意義と実際を研究する。

〔教科書〕 日本宗教学会「宗教と教育に関する委員会」編『宗教教育の理論と実際』  
1985・10 (鈴木出版) 刊 ¥5,800

## 教育関係法規

船 木 正 文

本講義のねらいは、教育基本法を中心とする現行の教育関係法規を体系的に概観することにある。その際、今日生起しているさまざまな教育問題について具体的に取

上げ、教育関係法規にてらして説明していく予定である。  
〔参考書〕 『解説教育六法・昭和62年版』(三省堂)

## 図書館学Ⅰ

山 崎 慶 子

児童・生徒の学習活動や教養・趣味を豊かにするには教科書の他に各種の資料を必要とする。最も有効適切な資料は何か、どうしたらそれらをすべての生徒に提供できるか。増大する一方の出版物や各種の情報が増える現代社会において、それを選択し活用する力を高めるにはどうしたらよいか。また人間形成に役立つ読書のあり方などの追求を、教育の場の中心ともいべき学校図書館活動として考察していきたい。さらに生涯教育の場である公立図書館の使命や役割への理解を深めようようにしたい。

前期の講義内容は「学校図書館通論」と「学校図書館の管理と運用」を、後期は「学校図書館の利用指導」と「読書指導」である。

〔教科書〕 図書館教育研究会『新編 学校図書館通論』(学芸図書)

## 図書館学Ⅱ

源 昌 久

この講義においては、司書教諭の資格を修得する上で必要な諸科目の内、「図書の整理」、「図書の選択」、「図書以外の資料の利用」が主として論ぜられる。前期には、図書の目録・分類(資料組織法)に関する概念的フレーム・ワークおよび組織化のための基本的規則についてのべる。後期には、学校図書館での図書選択の基準、方法、目的を講述し、つぎに、図書以外の資料の利用方法を解説する。

〔教科書〕 図書教育研究会『新編学校図書館通論』(学芸図書)

日本図書館協会目録委員会編『日本目録規則 新版予備版』(日本図書館協会)

日本図書館協会目録委員会編『日本目録規則 新版予備版 追録および修正』

(日本図書館協会)

## 博物館学Ⅰ

倉 田 芳 郎

学芸員課程の必修科目であり、社会教育主事課程の選択必修科目でもある。「博物館実習Ⅲ(見学)」ならびに「実習Ⅳ(特講)」と有機的に関連をもたせるので、同年度に併せて受講していただきたい。また、後期は午

後いっぱい使って見学を行うことになるので、時間割を組むうえで、各自研究してもらいたい。なるべく2～3年生の時に受けておくことが望ましい。4年生で受けると、学芸員資格を卒業時に取得するのは難かしいかもしれない。本講義は博物館の基本のみを講ずるので、2単位である。社教主事の資格を取得しようとする方は、「博物館学Ⅱ」（2単位）も履修することが必要である。受講方法について、誤りの無いようにしたいので、4月第1週の時間は必ず出席すること。

## 博物館学Ⅱ

熊野正也

地域における歴史博物館をとりあげ、数々の実践を通じてその展示と諸活動の方法について講述する。

## 博物館実習Ⅰ（館務）

倉田 芳郎・清水 潤三

博物館で10間以上の学芸員についての実習を行う。学芸員課程の必修科目である。この科目は学芸員課程の総仕上げでもあり、無条件に、誰でも履修できるわけではないので、年度第1週のこの科目の時間に必ず出席すること。欠席した場合は来年度履修することになる。

## 博物館実習Ⅱ（収集）

倉田 芳郎・所 理喜夫  
葉貫 磨哉・太田喜美子

学芸員課程の必修科目である。詳しくは、年度第1週の講義時間に話すので、必ず出席すること。実習の種類・時期は下記の予定である。このうちの、1つを履修すればよい。

1. 考古学発掘調査 7月中旬から8月中旬
2. 民俗調査 8月下旬と2月中旬
3. 文書・石仏調査 9月下旬
4. 石仏調査 10月上旬
5. 遺跡分布調査 2月中下旬

## 博物館実習Ⅲ（見学）

倉田 芳郎・太田喜美子

学芸員課程の必修科目である。  
都内および都周辺の博物館を見学する。博物館・学芸員の使命・役割を識るためには教室の講義だけでは不足

である。そのため、現場で学芸員の方のご講義を承り、博物館運営上の諸問題について考えたい。実習の組分けを決定する関係上、今年度履修しようとする学生は、必ず4月第1週に出席すること。

## 博物館実習Ⅳ（特講）

（58年度以前入学生適用）熊野正也

博物館における専門職としての学芸員には、博物館側からと利用者側からとは一体何がのぞまれているか。過去・現在の学芸員のあり方から、これからの学芸員は具体的にどうあるべきかを追究する。と同時に、できるだけ実務を体験できるよう配慮していきたい。

## 視聴覚教育

赤堀正宜

学校教育や社会教育における視聴覚教材の利用について考える。

学校教育番組や社会教育番組の利用は、教育方法・内容の革新とつながり、教育工学の一部となっている。視聴覚教育の原理・具体的な利用方法、その教育的効果を明らかにしていく。

〔参考書〕 大内茂男・中野照海他編『視聴覚教育の理論と研究』（日本放送教育協会）

## 日本文化史Ⅱ

圭室文雄

日本文化史の流れのなかで、その支柱となっているのは宗教である。とくに時代の思想の主導を宗教がになった時期としては、大別して三つある。第一は鎌倉時代、第二は江戸時代、第三は明治時代である。そこで本年はこの三つの時期に焦点を合せながら、史料に拠って、先人達の生きざまを検討してみたいと思う。そして、その中から日本人の歴史における価値観をあきらかにしたい。

〔教科書〕 池田・大浜・圭室編『日本人の宗教の歩み』（大学教育社）

〔参考書〕 笠原一男編『日本宗教史Ⅱ』（山川出版社）

## 印度仏教文化史

奈良康明

いかなる社会であれ、その成員により獲得され、習熟

され、伝達されてゆく諸観念や慣習、儀礼等がある。かかる生活様式の統合的な体系を文化と呼んでいい。仏教の研究においても、例えば涅槃を中核におく高次の教理の研究も仏教文化の一側面を明らかにするものであることは疑われない。そうした高いレベルの観念や行法を一方におきつつ、他方に、各種民間信仰的な諸観念や儀礼、生活慣習等、日常レベルの生活様式を考察し、且つ、両レベルのかかわりあいを見るところにはじめて仏教文化が全的なすがたでとらえられるのではないか。本講座はこうした視座からインドの社会、宗教とかかわらせつつ、仏教文化の歴史にアプローチをこころみる。

〔参考書〕 辛島 昇編『インド入門』（東大出版会）  
奈良康明『仏教史Ⅰ—インド、東南アジア—』（山川出版）

## 西洋文化史Ⅰ

椽川 一朗

西洋都市史とくにドイツ中・近世都市史の講述。

## 西洋文化史Ⅱ

三小田 敏雄

今年度はギリシア・ローマの文化を取り上げる。今日われわれがギリシア文化と呼んでいるものは、いつごろから現われたのか、そしてその特質はどんなものか、をできるだけ翻訳史料をあたりながら調べ、遺跡や彫刻を通じて確認してみる。ローマ時代にオリエントの影響が増大し最後にキリスト教の伝播によって、中世文化が生まれるところまで講義する予定である。教科書および参考書は開講時に指示する。

## 仏教美術

林 良一

インドにおける古代初期よりガンダーラ期の仏像成立にいたるまでの展開および仏教美術の図像学について講述する。寺院の遺跡や仏菩薩等の尊像を、現地撮影のカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

〔教科書〕 林 良一著『ガンダーラ美術紀行』（時事通信社） ¥2,200

## 現代美術

宮崎 克己

1870年代のフランス印象派成立前後の様々な問題について考える。印象派を詳しく論ずるだけでなく、印象派が西洋の長い美術の伝統の中でどのような意味を持っていたか、また印象派が現代美術にどのような新しい道を拓かせたかを幅広く論ずる。出席者には、適宜、美術館、展覧会の見学を要求する。

## 禅美術

竹内 尚次

禅林美術の本質と虚像とは、紙一重の差である。その本質を探ることは難しいが不可能ではない。そこに在る高貴な精神性、つまり詩心を見て取ることである。

東洋美術としての日本美術の大半は佛教芸術で占められる。その歴史上の展開は、古代仏教美術・法隆寺金堂壁画を中心とする一群、平安時代の密教美術・兩界曼荼羅、浄土教美術・鳳凰堂板絵、宮廷美術絵巻などがある。

これに次いで、禅宗東渡による哲学性の深い禅林美術が鎌倉室町時代に展開する。私たちは、心の中心に禅林美術をおいて、他のジャンルと対比し乍ら、そのなかに内在するものを参尋したいと思います。欲を云へば、古美術作品の取扱いなどの実習を別な時間で行いたい。

〔教科書〕 竹内尚次著『近世禅林美術』（至文堂）

〔参考書〕 竹内尚次著『群馬の思想（風外）』（あさお社）

玉村竹二著『夢窓国師』（平楽寺書店）

## 美術史概説

林 良一

中国の南北朝より朝鮮の三国時代を経て、わが国の飛鳥期の仏教彫刻にいたる様式的展開について講述する。各地の寺院遺跡や遺品などのカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

## 西域美術史

林 良一

アフガニスタンより東西のトルキスタンにいたる西域美術を、仏教美術の東伝を中心に、各地の遺跡および遺品について講述する。現地の遺構や遺品のカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

〔教科書〕 林 良一著『ガンダラ美術紀行』（時事通信社） ¥2,200

### 考古学概説Ⅰ（日本）

倉田 芳 郎

日本考古学研究のための基礎知識について講義する。  
年度第1週目の授業には、必ず出席してほしい。

### 考古学概説Ⅱ（外国）

量 博 満

中国および東南アジア地域における考古学を概観する。必ずしも時代を逐って祖述するのではなく、研究史を踏まえたのちは、当該地域の先史学ないし考古学における今日の問題点をあげ、その吟味や検討を行うことによって、考古学という科学を理解しよう。なお、地域研究が人類史上の一般則の形成にどうかかわり、どんな寄与をなすのか、と考えるのも講師の問題意識のひとつである。参考書は、講義中に適時示されよう。

### 考古学特講Ⅰ

高 浜 秀

ハンガリーから中国の北方オルドス地方に至るユーラシア北方草原地帯には、紀元前8～7世紀以後、スキタイ系騎馬遊牧民文化、あるいは初期遊牧民文化と総称される一連の文化が広がっていた。講義では、これらの文化に関する諸問題を扱う。今回は特にオルドスの青銅器文化を中心にする予定である。

### 考古学特講Ⅲ

川 又 正 智

メソポタミア青銅器時代を中心に西アジア考古学の基礎的知識を学ぶ。あわせて西アジアからみたアジア史の流れを考えたい。

〔参考書〕 授業中に紹介する。

### 日 本 民 俗 学

山 折 哲 雄

柳田国男と折口信夫の民俗学について考察し、現代文化の諸相に光をあてる。

〔教科書〕 山折著『神と仏』（講談社新書）

### 仏 教 民 俗 学

和 田 謙 寿

集会や通夜・法事などに臨んだ際、必ず仏事などに關する質問を受けることがある。葬送習俗や靈魂に関する事柄、法名のつけ方や焼香の仕方、墓の建て方や年忌供養のしきたり、時には寺院の成立とその発展過程、野ぼとけの由来や伝説など、その質問の内容も色々である。このような時、相手に納得のつくような説明が出来たらさぞかし喜んでもらえる事であろう。このような時の心構えとして是非とも仏教民俗学の知識を身につけて置くことにしよう。住職をはじめ、郷土史や文化財の研究に従事しようとする者にとっては必須の学問であると言えよう。

〔教科書〕 和田謙寿著『仏教の地域発展』（仏教民俗研究会） ¥2,900

### 宗 教 人 類 学

佐々木 宏 幹

宗教がある社会においてどのような意義と役割をもつかという問題を考察することを主眼としながら、宗教と人生観・世界観との関係、宗教儀礼の象徴的性格などについて、とくに言及したい。

### 考 古 発 掘 実 習

寺 社 下 博

野外における考古発掘実習を行なう。20日間以上参加することが必要である。年度始めの講義時間に必ず出席のこと。

## 社会福祉概論

岡田 真

「いま一つ別の資格単位」としてでなく、自分の専攻の「関連科目」として学んでほしい。あなたの専攻する学問と福祉学とは「立立交差」（下記岡田著作P. 10）をするはずのものだ。

本講は、社会福祉のしくみ、分野などについて論及し、社会福祉の諸制度の現状と課題について、一応の体系的理解ができるように指導する。この点は、福祉学専攻一年生の同一科目と変らないが、本時は、高学年の、しかし専攻生ほどには数多く福祉学学科目を履修できない人たちのための時間である。そこで、以上に加えて、下記のことにつとめたい。

1. 本講座の各科目相互の関連の明確化
2. あなたの専攻の、専門福祉職務への役立て方
3. 「社会福祉方法総論」として専攻生には必修になっている内容のアウトライン

〔教科書〕 高橋重宏・宮崎俊策・定藤丈弘編著『ソーシャル・ワークを考える』（川島書店）  
岡田 真『コミュニティ・ワーク論』（大明堂）

〔参考書〕 太田義弘・佐藤豊道編『ソーシャル・ワーク』（海声社）

欠席したらその週のうちにノートを補っておくこと。  
教科書の章を追っての教科書解説的な授業は行なわない。

## 障害福祉論

原田 信一

主として、わが国における心身障害児（者）福祉の発展過程をその淵源にさかのぼりつつ講じたい。なかでも、とくに、思想面（社会的規範）と政策面等の二面的視角にたち、原点を探るとともに、さらに欧米先進諸国のそれとの対比から、わが国の心身障害福祉の見直しをはかり、新たな課題構築の素としてもらう。

〔教科書〕 星野他編『障害福祉論入門』（改訂版）（有斐閣）

〔参考書〕 林 邦雄他著『心身障害児（者）福祉』（田研出版）

## 社会福祉実習 I

岡田 真

### 実習施設機関の開拓期間

教務部窓口の開拓の資料があるし、担当教員等も積極的に協力する。

### オリエンテーション期間

1. 「明日の福祉」（NHK）の視聴方法の指導
  2. 自分の実習先につき、役割、機構などの下調べ
- フィールド期間

電話相談を遠慮なく。402 研究室は東京 418 — 9292、助手室は 9301。

### フィールド終了後

実習ノートを基に助言、共同討議。

### 注意

実習は、あなたの固有の専門を、福祉学との関連において検証できる場である。USA等の福祉学諸大学院は実習を特に重視している。プロ意識をもって履修してほしい。

- 〔参考書〕
- 1) 橋本泰子他編『社会福祉実習』（相川書房）
  - 2) 太田義弘・佐藤豊道編『ソーシャル・ワーク』（海声社）
  - 3) 『国民の福祉の動向』（昭和 59 年版、厚生統計協会）
  - 4) 『社会福祉六法』（第一法規）
  - 5) なお、「社会福祉実習」に関する資料コーナーがあるので活用してほしい。

## 社会福祉法制

小林 弘人

本講義は、憲法 25 条を具体化する社会保障・社会福祉に関する法を検討・整理・体系化することを目的とする。前期の前半は『社会学研究』15 号所収の「西ドイツにおける社会行政法」を資料にして、主として西ドイツにおける社会福祉に関する法の問題点を検討する。この検討を終えた後は、教科書『社会福祉の法を考える』に準拠して、当初の目的達成のための講義を行う。

〔教科書〕 小林弘人編著『社会福祉の法を考える』（川島書店・61 年 3 月刊行予定）

〔参考書〕 小川政亮著『社会事業法制』（ミネルヴァ書房）

## 公的扶助論

近藤 功

開講時に指示する。



## 児童福祉論

原 田 信 一

今日、児童をめぐる法律・制度は整備され、社会福祉分野においても、いちじるしい進歩をみた。しかし、現実面では必ずしもそうとばかりはいきれない。つまり、日々、目まぐるしく激動する社会で、引切り無しに生起する種々の児童福祉侵害問題に対応しきれない状態が今日の姿である。児童の人権無視にはじまり、公害・家庭崩壊・機能低下など限りなく出現し、まさしく児童福祉の危機的様相をみせている。そこで、本講においては、児童福祉を広い視座から考察し、児童への理解と併せて、児童に関連ある法制度にも言及しさらに、狭義の児童福祉事業（児童福祉法など）の関連にもふれ講じてゆきたい。

- 〔教科書〕 原田信一『現代児童福祉学』（学文社）  
〔参考書〕 高橋重宏編『児童福祉を考える』（川島書店）

## 老人福祉論

奥 山 正 司

老後・老人問題は、社会の変化を背景にして、その発生するプロセスと性格によって、大きくわかれる。すなわち、それは、老化に伴う経済的ニード、身体的ニード、精神的ニードとそれに対応する家族的扶養の不十分さからくる問題である。老人福祉対策は、それらの問題に対して、施設福祉対策と在宅福祉対策が、不十分ではあるが対応している。

講義の内容は、上記の点をふまえながら、老人問題の発生過程をマクロな視点とミクロな視点から明らかにし、そのうえで、老人福祉対策の過去から現状、さらには今後のあり方を考えることにする。

- 〔参考書〕 随時紹介する。

## 社会保障概論

藤 井 康

先ずわが国制度を把握するため、その主要な所得保障（年金保険、公的扶助、児童手当など）、医療保障その他について概観し、それぞれの問題点を挙げる。

ついでこれらをふまえて、その生成と発展に視点において、欧米諸国をも含めて、社会保障の体系、社会経済的条件、財政、国際比較などについて、論点を進める。

- 〔教科書〕 小沼正・地主重美・坂本哲哉編『社会保障概論』（川島書店）  
〔参考書〕 社会保障研究所編『社会保障の基本問題』（東京大学出版会）

社会保障研究所編『経済社会の変動と社会保障』（東京大学出版会）

## 地域福祉論

岡 田 真

CO（コミュニティ・オーガニゼーション）に時間配分の重点を置く。COはケースワークやグループワークと並んで福祉三大技術の一に位置するものであるから、「社会福祉方法総論」と極力同時に履修すること。

COの実体は、「地域の根廻し」の技術である。ただし、その適用はコミュニティ・ケアの展開、福祉計画充実などのためにであらねばならない。

他大学には「地域福祉論」で、福祉現実の地域的分析を行なう所もある。そして、福祉現実の科学的認識なくしては、ソーシャル・ワークはカラ廻りをしてしまう。だが本学ではその指導は都市社会学の一部で行なう。

公私の専門福祉活動は、自治体の公的計画に組込まれてこそ、オーソライズされるわけだが、ソーシャル・プランニングについても、都市社会学で講ずる。

従って同じ担当者の都市社会学を、ともに知ってくれることが望ましい。（もちろん本講義だけを履修する人に不利や理解困難が生じないように細心の工夫はするが）。

- 〔教科書〕 岡田 真『コミュニティ・ワーク論』（大明堂）  
〔参考書〕 岡田 真『都市化日本の学歴社会』（大明堂）  
太田義弘・佐藤豊道編『ソーシャル・ワーク』（海声社）  
他に最新の文献や人手困難な文献（コピーによる）

## ケースワーク論

高 橋 重 宏

ソーシャル・ワーク実践の専門技術の1つであるソーシャル・ケースワークについて、まず、ケースワークの意義、定義、歴史的展開過程、原理、ソーシャル・トリートメント過程、関連理論などについて論及する。さらに、ケースワークの臨床事例を紹介し、ソーシャル・ケースワークとは何かが、一応体系的に理解できるようにとめたい。

なお、後期の臨床事例研究では、小グループでのディスカッション、発表など、学生の主体的参加を求めるので留意しておくこと。

- 〔教科書〕 久保紘章・高橋重宏編著『ケースワークを考える』（川島書店）  
仲村優一編『ケースワーク教室』（有斐閣）

## グループワーク論

松本 栄二

開講時に指示する。

2. 疾病がもたらす心理, 社会的負担について考察する。
3. 援助を行うための社会資源にはどのようなものがあるか。関係法規とその適応を検討する。
4. 医療社会事業の方法について, ケースワーク, グループワーク, コミュニティワークの実際を学ぶ。

〔教科書〕 野村茂他『医療社会事業の実際』(光生館)

## 社会福祉事業発達史

林 千代

いつの時代にも, 生活の不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には, 常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に, 英国, 日本を中心に(部分的に米国にもふれる)社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法, 方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉, その本質は何か, その現状は等々を考えるためにこそ, 歴史を学ぶ意義がある。

〔教科書〕 今岡他編『社会福祉事業発達史』(ミネールヴァ書房)

〔参考書〕 随時紹介

## 社会福祉方法総論

高橋 重宏

今日の社会福祉は, 福祉サービスの提供者と利用者のあいだの対人的・非貨幣的支援活動のもつ比重が高まっている。本講義は, 社会福祉実践の専門技術(skill)の基礎について学ぶことが中心となる。

具体的には, ソーシャル・ワークの基礎知識及び関連理論, 歴史的展開過程, ソーシャル・ワーカーの専門性, 現代社会におけるその独自の社会的機能等を明確化させつつ, ソーシャル・ワークについての入門的解説を中心に展開したい。さらに, 臨床事例を用いながら, ソーシャル・ワーカーになるための基礎理解を深め, ソーシャル・ワーカーとしての専門職業的倫理観や基本的姿勢についても追求したい。

〔教科書〕 高橋重宏・宮崎俊策・定藤丈弘編著『ソーシャル・ワークを考える』(川島書店)

〔参考書〕 必要に応じて指示する。

## 母子福祉論

林 千代

私は, 婦人問題の視点から婦人福祉を組立てているが, それは, 性差別を根底に婦人の生存や生活が不安定化する局面, その解決へのプロセス・施策が主な内容になる。そして, 婦人の生存さえあやぶまれる状況の一つが母子家庭になった時なのである。それは, いわば婦人問題の集約であり, 施策の最も具体的な対応がせまられる状況である。このような問題意識に立って, 講義のあらすじを示すと次のようになる。(1)婦人(母子)福祉への歩み, (2)母子家庭とは, (3)母子家庭の生活実態とその困難, (4)母子福祉施策の現状と問題点。

〔教科書〕 講義ノートによる。

〔参考書〕 随時紹介。

## 社会福祉管理運営論

重田 信一

わが国における社会福祉実践の実態分析から, 福祉政策, 行政, 財政, 福祉施設運営, 地域住民の福祉活動のあり方等を検討し, その総合化の方向について考察を加えたい。なおこの講義においては, その前提としてのわが国における社会福祉実践の時代的展開の特徴, および欧米の類似制度・実践との比較検討もあわせて行いたい。

本講義の履修は, これから社会福祉の学習に入ろうとする学生諸君の事情も考察しておるので, 念のため附記しておく。

〔教科書〕 プリント, (教室にて無償配布する)。

〔参考書〕 多数あり, 講義の進行に沿って紹介する。

## 医療社会事業論

春見 静子

1. 医療制度の中での医療社会事業の位置づけを保険所, 病院, 施設それぞれについて考える。

## リハビリテーション論

原 田 信 一

リハビリテーション領域のなかで、いちじるしく遅れをみせているのが、社会リハビリテーションであるといわれる。この分野は、内蔵する問題が広汎・多岐に亘っているばかりか、いずれも困難な問題を抱えていることがいちじるしく遅滞をもたらす原因になっているといわれる。そこで本年はとくに、社会リハビリテーションに視点を絞り、その基本問題をふまえ、社会・文化的環境を考察し、政策と実践的方法論、それらを支える隣接科学面ならびにリハビリテーションの国際的展望等について概説したい。

〔教科書〕 講義ノートによる。

〔参考書〕 随時指示する。

## 社会教育概論

磯 野 昌 蔵

社会教育とは何かを次の諸点から検討する。

- 社会教育制度
- 学校教育と社会教育
- 社会教育関係団体

## 社会教育方法論

村 山 輝 吉

前年度に引きつづき、戦後のわが国における社会教育実践の代表例について方法論構築の観点から検討する。

## 社会教育行政財政

酒 匂 一 雄

- I. 社会教育の本質と社会教育行政
- II. 戦前の社会教育行政の歴史
- III. 戦後社会教育の理念と制度
  - (1)社会教育法制 (2)社会教育施設 (3)社会教育職員制度など
- IV. 社会教育行政を動かすもの
  - (1)経済政策と社会教育政策 (2)社会教育行政と住民参加
- V. 生涯教育と社会教育行政
- VI. 社会教育行政の動向と課題

〔教科書〕 必要によりプリント、資料を用意する。

〔参考書〕 確井正久編『新社会教育』（学文社）  
小林文人他『社会教育ハンドブック』（改訂版）（エイデル研究所）  
『社会教育行政必携』（昭和60年版）

## 教育社会学

熊 谷 一 乗

子どもが発達し教育が行われるさいに社会的要因は、どのように作用するのか、また教育は社会のなかでどのような機能をはたしているのか、といった点を明らかにすることをねらいとして、講義をすすめる。講義の内容は、①子どもの発達と社会、②集団の教育力と子ども、③教育と社会、④学校と子ども、という四つの領域から成り立っている。全体を通じて子どもの発達と教育の社会的連関を解明し、現代の深刻な教育上の諸問題の解決に取り組むための視点と方法を理解してもらおうことをめざしている。

〔教科書〕 熊谷一乗著『子どもの発達と社会——教育社会学の基礎——』（東信堂）

〔参考書〕 熊谷一乗著『現代の教育原理』（東信堂）

## 社会心理学

坪 井 健

社会心理学は、元来、社会学と心理学の境界領域にある現象を研究対象としてきた。従って、社会学的アプローチと心理学的アプローチが並存しており、必ずしも統一されたものになっていない。

本講義は、個人の心理（行動）に影響を与える社会的諸条件に関心を持つ心理学的アプローチにも留意しつつ、現実の社会における人々の心理（行動）に関心を持ち、社会過程を重視する社会学的アプローチを基調にして、社会生活をしている人々の社会心理諸現象の分析的な解明を目的とした。

〔参考書〕 講義の中で指示する。

## 社会教育施設

村 山 輝 吉

1. 社会教育施設とは何か
2. 社会教育施設にかかわる人々
3. 公民館
4. 図書館
5. 博物館
6. 社会体育施設
7. その他の社会教育施設・関連施設

## 8. 社会教育施設をめぐる動向と課題

### 児童文化

富田博之

「児童教化」の現代的形態としての〈子ども文化（児童文化）〉の成立過程（歴史）と現状を探り、併せて〈子ども文化〉の現場で働く人のための実習を行なう。

〈子ども文化〉の歴史では、主として、子どものためのコミュニケーション・メディアの発達史を扱い、その現状では、主として、子どものためのマス・コミの現状について学習。

実習は、身体とことばによる表現とコミュニケーションの方法の初歩を学習する。

〔参考書〕 講義や実習の中で指示する。

### 青少年問題研究

和田謙寿

校内暴力や家庭内暴力、薬物乱用など、年々少年の不良化や犯罪が増加していることは誠になげかわしい次第である。国家や地方公共団体はこれに対応して万全の策をつくしているが、焼石に水の現状である。この種の問題は理論だけで済ませられるものではなく、実際の面からの考察が必要である。今年は特に中学校および高等学校の教師をめざす者、ならびに青少年指導者を志す人々を対象として、その理論と現実との両者を見つめて考察する事にする。更に生活指導教諭を希望する者は、青少年問題研究室の研修生として入室されるのも一方法として考えられるので、その旨を授業のはじめに申し込まれる事を希望する。

〔教科書〕 和田謙寿著『少年補導の研究』（全防連）  
¥1,200

### 青少年指導実習

和田謙寿

将来、青少年指導者を希望する者、つまり、社会教育主事や社会福祉主事、少年指導委員・補導教諭などの業務に従事しようとする人たちには是非とも必要な講座である。本年は少年の非行問題を中心に授業を展開して行きたいと思う。特に教師になった場合は専攻をした学問は当然のこと、受持ち生徒の生活指導にも多大の比重で尽くさねばならぬので、非行対策の問題は重要な課題となる。

更に少年の問題に興味を持ち、研究しようと心掛ける者は、青少年問題研究室の研修生として入室されるのも一つの方法であろう。

### 社会教育演習

上岡安彦

秋期に埼玉県川口市内の公民館、図書館、幼児会館、青少年会館、婦人会館、児童文化センター、視聴覚ライブラリー等で一週間の社会教育実習を行います。

実習前は、社会教育実践記録として『成人教育への挑戦』を読み、実習後にはマクロの視点から『生涯教育』を読みます。

〔教科書〕 永田良行『成人教育への挑戦』（全日本社会教育連合会） ¥750  
エットーレ・ジェルビ『生涯教育』（東京創元社） ¥1,500

### 教育評価

大浜幾久子

生徒の発達を正しく測定し、評価することは、本来、教師の教育実践の中で重要な仕事である。教師は、評価を通して、生徒のつまづきを発見し、自らの実践を反省する。また生徒も、評価を手がかりとして、以後の自分の学習の方向を考える。ところが、教育評価ということばから多くの人がまず思い浮かべるのは、学力テスト・偏差値・通信簿・内申書等であり、これらは、大多数の父母・教師そして生徒にとって、今日の学校教育の矛盾の象徴として映っている。では、教育評価の本来の機能をとりもどすにはどうしたらよいのだろうか。教育評価の理論の歴史をたどり、また教育測定・評価の技法を実習を含めて学ぶことにより、この問題を考えていく。

〔参考書〕 梶田毅一『教育評価』（有斐閣双書）  
¥1,800  
中内敏夫・三井大相編『これからの教育評価』（有斐閣選書） ¥1,400

### 成人指導及青少年指導

酒匂一雄

子どもの発達にとって、家庭・地域のありかたを中心に講義する。

- I. 子どもの発達と家庭・地域。①遊びと性格・学力、②日常生活と学力の関連。
- II. 「地域の教育力」。①青少年の生活構造の変容、②中学生の発達課題と社会教育活動、③問題行動の克服と地域、④地域の教育・文化活動と「地域の教育力」。
- III. 「学校外教育」の展開。①「学校外教育」とは、②公民館で、③児童館で、④学童保育で、⑤学校と学校外教育、⑥青少年施策の動向から。

青年・成人の指導方法。

〔教科書〕 酒匂一雄他『子どもの発達と日常生活  
—学力と人格を育てる』（ぎょうせい）  
その他必要によりプリントを用意する。

## 生活指導

秋山達子

現代のおとなたちが、おとなの合理的な考えで、子どもたちへの対策を考えれば考えるほど、結果は逆になるような気がします。

想像力も育てずに自立させられてしまう子どもたちは、自分の不満や抑圧された本能的衝動の結果を、既成の学問の理論を借りて説明し、その解釈ですべてを割り切って、その中に逃げこみ、実際に自分の心に問い直すことにしていないのではないのでしょうか。

〔参考書〕 秋山さと子『ユング心理学』（講談社現代新書）

## 教育哲学

汐見稔幸

本年度はアメリカの教育哲学者J. Deweyの教育思想を検討する。教育についてややつこんで教えてみたいと思う人の参加を歓迎する。ゼミ形式で、四年生が多い場合は、日程的に工夫したい。

〔教科書〕 『学校と社会』および『民主主義と教育』（岩波文庫）

## 教育調査

大塚雄作

教育という営みは、生徒が抱える問題点を把握するところから始められる。その際に、さまざまな観点から、いろいろな調査が行われることになる。たとえば、生徒の授業の達成度や学力を知るために行われるテストや、生徒の家庭環境・性格・学習方法などを知るための質問紙調査などがその典型的な例としてあげられる。ここでは、まず、教育現場で最もよく利用されている「テスト」に関して、その作成法・得点の見方・標準的なテストの種類などについて概観し、さらに、それと比較しながら、質問紙調査などのその他の調査方法について触れていく。

〔参考書〕 「調査と測定」（新曜社） ¥2,800

## 教育学特講

熊谷一乗

講義は、現代教育の諸問題というテーマで行われる。現代の学校教育が当面する重要な問題として、子どもの問題行動、差別・選抜、同和教育の問題を人権尊重、人間の尊厳の確立の観点からとりあげ、これらの問題の背景と発生のメカニズムを検討し、解決の方途について論ずる。ついで教育改革に関する問題をとりあげて、各種の改革論を検討し、何がどのように改革されなければならないかを考察し、現代の教育問題に対する理解を深めることをめざす。

〔参考書〕 熊谷一乗著『学制改革の社会学』（東信堂）

## 政治学原論

福岡政行

開講時に指示する。

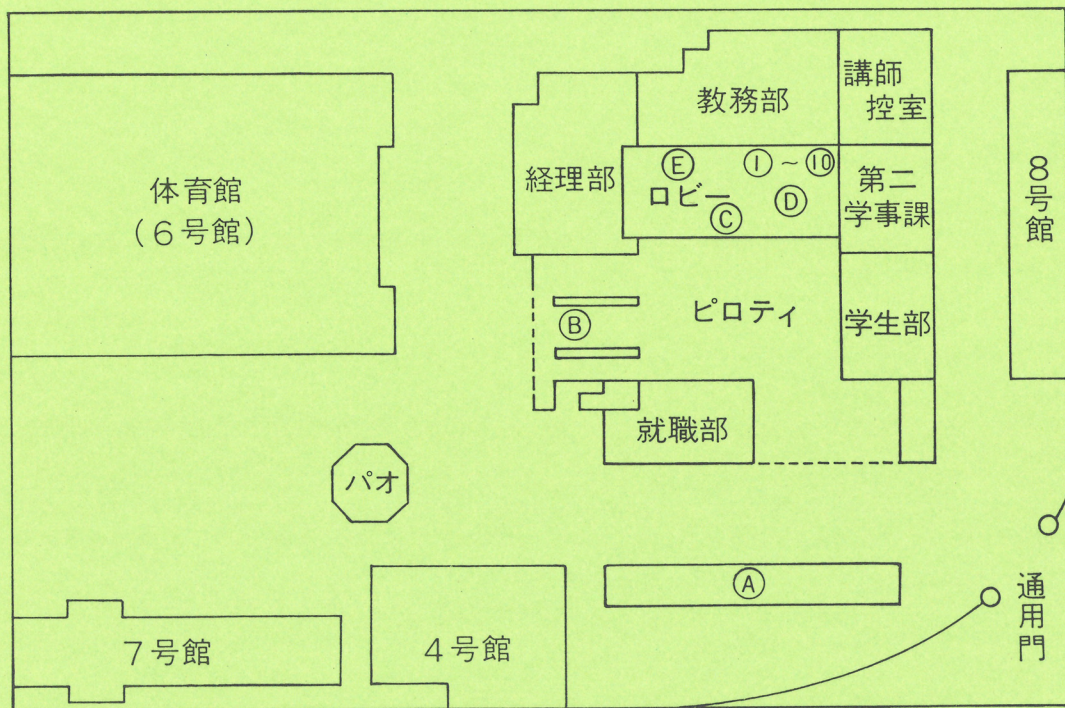








## 教務部窓口及び掲示板案内



- ①教職課程  
学校図書館司書教諭講座
- ②博物館学講座  
社会福祉主事講座  
社会教育主事講座
- ④証明書(教務関係)申込受付・発行  
健康診断書および  
在学証明書は学生部  
諸証明書申込用紙は経理部前にあります。

- ⑤諸届願 (休学・退学・復学・死亡  
改氏名・本籍地変更・保証人変更  
保証人住所変更・聴講)
- ⑥大学院関係・留学生関係  
学部演習 (仏教学部・経済学部)  
法学部・経営学部  
卒業論文(仏教学部・文学部)
- ⑦時間割変更・休講・外国語指定届  
卒業証書・転部科
- ⑨履修・試験・成績・学業相談

- 
- ①第1 掲示板(表面) ……公示・告示, 学生部関係連絡事項, 教務部関係(試験・教職・研究室等)連絡事項, その他
  - 第2 掲示板(裏面) —臨時掲示板—  
……………教務部関係連絡事項(12月~3月), 就職部関係連絡事項(9月~11月)
  - ②第3 掲示板—臨時掲示板—  
……………教務部関係連絡事項(12月~3月), 就職部関係連絡事項(9月~11月)
  - ③休講掲示板
  - ④授業時間表カウンター
  - ⑤大学院・留学生関係掲示板

